

平成29年度 第1回 開成町協働推進会議 次第

【日時】平成29年11月7日（火）10:00～

【場所】開成町民センター 中会議室B

- 1 委員長あいさつ
- 2 開成町協働推進計画実施計画の進捗状況について
- 3 開成町民活動サポートセンター（仮）の検討について
- 4 その他

【配付資料】

- | | |
|-------|--------------------------|
| 資料1 | 平成28年度協働推進計画実施計画評価方法について |
| 資料2-1 | 開成町協働推進計画実施計画 進捗状況概要 |
| 資料2-2 | 協働推進特別枠事業概要 |
| 資料3 | 開成町協働推進計画実施計画一覧 H28計画・実績 |
| 資料4 | 開成町協働推進計画実施計画一覧 H29計画 |
| 資料5 | 開成町協働推進計画実施計画評価シート |
| 資料6 | 開成町協働推進計画実施計画H29シート |
| 資料7 | サポセンってなあに？ |
| 資料8 | サポートセンターについて |
| 資料9 | ワークショップ開催結果 |

(参考資料)

開成町協働推進会議条例

開成町協働推進計画 実施計画の評価方法の見直し及び

進行管理シートと評価シートの様式変更について

1 開成町協働推進計画・実施計画の評価方法見直しについて

平成 28 年 10 月 21 日（金）に開催された「平成 28 年度開成町協働推進会議」において、今後の検討課題として「①ヒアリングの方法やシートの様式変更を含め、事業を仕分けるなど上半期・下半期等年 2 回の評価実施について」、「②定性的な事業の評価について（シートに説明欄を設ける等）」、「③進捗状況の公表について」の 3 点のご意見がありました。これらの会議結果を踏まえ、平成 28 年度評価に向けた評価方法の見直しをするものです。

2 評価方法の見直しについて

(1) 評価のタイミング

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月
評価					○進行管理 調査ヒア リング			○協働推進会議 ・ H28 評価 ・ H29 計画 ・ H29 評価（中間評価） ※8 月までに完了した事業 が対象

平成 29 年度は、8 月に進行管理調査ヒアリング、11 月に協働推進会議を開催します。

年一回の評価となることを踏まえつつ、事業の実施形態により、中間評価（4 月～8 月ヒアリング実施時点までに事業完了するもの）と全期評価（8 月ヒアリング実施後から 3 月末までに事業完了するもの）に振り分け、タイミングを合わせて評価を行うことで次年度の計画に反省点等を盛り込めるようにします。※

※中間評価の対象となる事業は、環境防災課「自然環境保全事業（ホテルの里づくり推進事業）」、産業振興課「町の花あじさい維持管理事業（あじさい剪定ボランティア）」「観光対策推進事業（開成あじさいまつり）」の 3 事業のみ。

(2) 定性的な事業評価

評価①において、目標数値がないものについては、当初予算の目標数値を基準にするなど何らかの数値を用いて評価する。どうしても数値評価できないもの（数値を把握できないもの含む）は、評価①のコメント欄に「数値評価できない理由」「事業の進捗状況とそれに基づく達成度」を記述したうえで、評点をつける。

例) 自発的に取り組んだボランティアの人数については、登録制とすることでかえって参加を躊躇してしまう方がいることから、町では特に人数を把握していない。しかしながら、自発的ボランティアの取り組みによって、子どもの見守りは適切に行われているため、4点とする。

(3) 進捗状況の公表

平成 29 年度分から評価結果一覧及び会議録を町ホームページで公開するとともに、各協働事業の取り組みについて、随時、広報や町 Facebook で周知する。

(4) 目的の共有

着地点を明確に定めることで、協働相手とより具体的に目的の共有を図るため、新たに評価④「協働の着地点」を設け、各事業を着地点ごとに「(1) 協働相手が自立して事業運営を行う（実行委員会等）、(2) 町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う（母子保健指導等）、(3) 町が実施する事業に多くの町民が参加する（町民集会等）、(4) その他（任意設定）」の 4 種に区分して、実現度合いによって評価する。

3 進行管理シート様式の見直しについて

平成 29 年度記載方法

「協働の着地点」記載欄を新設。

協働による事業を進めることにより、最終的にどのように事業を進めていきたいかを選択する欄を設け、「(1) 協働相手が自立して事業運営を行う（実行委員会等）、(2) 町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う（母子保健指導等）、(3) 町が実施する事業に多くの町民が参加する（町民集会等）、(4) その他（任意設定）」の 4 種に区分する。また、既存の記載欄「協働の内容（役割分担）」「協働の効果」についても、着地点に向けてどのように取り組んでいくのか具体的に記載する。

協働の着地点	(1) 協働相手が自立して事業運営を行う、(2) 町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3) 町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4) その他
--------	---

4 評価シート様式の見直しについて

平成 28 年度評価方法

評価①目標数値がない事業も評点をつける

協働の指標	指 標	多くの町民が関わりながら、子ども達の安全を確保する。							
	目 標 値	年 度		H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (予定)	H30 (予定)
		数値	単位:	—	—	—	—	—	—
手 法									
協働の内容 (役割分担)	行政 ・子どもたちの安全確保のため、町民一体となった見守り活動について啓発を進める。 町民 ・形にとらわれず、趣旨に沿った自主的な見守り活動を実践する。								
協働の着地点	(1)協働相手が自立して事業運営を行う、(2)町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3)町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4)その他						2		
平成28年度の 取り組み内容 及び効果等	評価①	登下校時の見守り活動は自発的に協力してもらっていることから、実際に活動している人数の把握を行っていない。しかしながら、自発的取組によって子どもの見守りは適切に行われているため4点とする。							
	評価②	子どもたちの安全確保のため、学校の登下校時の時間帯に多数の地域の方々に見守り活動について協力して頂けた。							
	評価③	登下校時の見守り、緊急時に子どもたちが避難する場所としての「こども110番のいえ」について協力して頂いている。 緊急時の役割等を理解していただき、新たに「こども110番のいえ」の協力依頼を行った結果、3件の協力者の申し出があった。							
	評価④	(2)町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う							
協働を進めるための課題と対策	登下校時の見守り活動について、責任の所在が不明確。								
平成28年度 協働の評価	評価①	指標(目標値)に対する評価点数	4/4点			総合評価	A	18/20点	
	評価②	目的を共有し、互いの役割分担ができたかどうかに対する評価点数	6/6点						
	評価③	協働相手の長所を理解し、協働相手の自主性を育み生かすことができたかに対する評価点数	5/6点						
	評価④	協働の着地点に向けてどの程度まで到達しているか	3/4点						

評価①コメント欄に理由を記載したうえで、評点をつける。

評価④を新設。

評価① 指標（目標値）に対する評価

評価② 目的を共有し、互いの役割分担ができたかどうかに対する評価

評価③ 協働相手の長所を理解し、協働相手の自主性を育み生かすことができたか

評価④ 協働の着地点まで、近づくことができているか

協働の着地点	(1) 協働相手が自立して事業運営を行う、(2) 町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3) 町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4) その他
--------	---

	評価① 指標	評価② 役割分担	評価③ 自主性の育成	評価④ 協働の着地点
A	4点（10.0%以上）	6点	6点	4点
B	3点（80%～99%）	5点	5点	3点
C	2点（50%～79%）	2点	2点	2点
D	1点（11%～49%）	1点	1点	1点
E	0点（10%以下）	0点	0点	0点

* 協働により重きを置く評価基準として、②③の評価のうち、A及びBの得点は1.5倍とする。

総合評価 ※評価④新設に伴い、各評価点数を修正。

18点以上	A
13点～17点	B
7点～12点	C
2点～6点	D
0点～1点	E

* 評価②、評価③、評価④についてはその理由をできるだけ定量的な記述でシートに記入する。

開成町協働推進計画 実施計画 進捗状況概要

「平成 28 年度進行管理・評価」及び「平成 29 年度計画」

1 進行管理と評価

「開成町協働推進計画第 5 章第 3 節進行管理と評価」に基づき、進行管理シートを活用し、協働推進会議を設置し、その会議において協働によるまちづくりを推進するための町の取り組みについて、評価をするとともに、必要に応じて見直しをすることとなっている。

平成 28 年度から引き続き、評価シートの見直しをするとともに、総合計画ヒアリングと時期を合わせて協働推進計画ヒアリングを実施した。また、平成 28 年度協働推進会議で出た意見を踏まえて、今回の会議までに平成 29 年度事業が完了するものについては、平成 29 年度事業分まで評価を実施した。

2 評価

平成 28 年度協働推進計画実施計画事業評価結果

評価	事業数
A	17
B	15
C	1
D	0
E	0
未実施	1
合計	34

全体的に高い評価

平成 26 年度から継続して実施計画策定と評価を実施しているため、一連のサイクルができてきている。平均点は 16 点で全体的に評価が高く、いずれの事業もおおむね順調に進行しているといえる。評価項目ごとに捉えても、突出して低評価となる項目はない。今回、新設した評価項目「評価④協働の着地点に向けてどの程度まで到達しているか」についても、4 点満点中平均点 3 点となっており、それぞれの事業が目指す形で協働が進んでいるといえる。

平成 27 年度未実施事業の進捗

事業名	進捗
道路緑化維持管理事業 (緑地管理のボランティア)	平成 29 年度中の要項作成に向けた資料収集を開始した。
環境美化啓発事業 (落書き落としキャンペーン)	町内公共施設に落書きがなかったことにより引き続き実施なしとなったが、ヒアリングにおいて「足柄大橋の橋げたなど県施設への落書きが見受けられることから、県と町、町民等による協働でキャンペーンに取り組んではどうか」といった意見も出た。

3 平成 29 年度計画及び今後の方針等

完了事業：1 事業

平成 29 年度も継続して事業を実施するものが多数を占めているが、“事業 No.15 生涯スポーツ推進事業（開成町チャレンジデー）”については、平成 28 年度をもって完了となるため、平成 29 年度計画には掲載しない。

新規掲載事業：2 事業

平成 29 年度より、“事業 No.12 土曜学校推進事業”と“事業 No.21 開成町消防組織化推進連絡協議会”を実施計画に取り上げ、進行管理することとなった。

協働推進特別枠の取扱い

協働推進特別枠で予算編成された事業については、総合計画に掲載されるものについては計画シートで管理し、それ以外については、協働推進会議において紹介するのみとする。

協働推進特別枠 事業概要

	事業	事業内容	実施実績
平成28年度	1 町民参画によるブランディングの推進	町民参画によるあじさいちゃんの活用や広報の紙面づくりに取り組みます。	あじさいまつり等のイベント時に、あじさいちゃんグッズ販売ブースのスタッフやステージ司会者として町民ボランティアが町PRを行った。
	2 子ども向けイベントの開催	子育て世代や町内企業、子育て情報誌発行者などとの協働により、企画段階から町民が参画する子ども向けイベントを開催します。	平成29年3月18日(土)、瀬戸屋敷において、おやこフェスを開催した。参加者200名。
	3 地域で進める健康づくり(食育)の推進	開成町飲食店組合との協働により、「(仮称)健康づくり応援店」による健康メニューのPR、地域の食材を利用した料理講習会等を開催します。	飲食店組合および地域の食に関わる団体等との協働により4回の料理講習会を開催し、延べ63名が受講した。飲食店組合加入店舗全53店舗に食育PRポスターを掲出。
	4 戦争体験の継承	開成町戦没者遺族会との協働により、戦争体験DVDの上映会や戦時中の食事体験を実施します。	平成29年3月25日(土)、戦没者慰霊祭において、戦時中の食事体験として「すいとん」の試食を実施した。出席者112名。
	5 地産地消の推進	農業者との協働により、あじさいまつり期間中に農産物を直売する休憩所を設置します。	第29回あじさいまつりにおいて、農産物を直売する休憩所を設置するとともに、試行的にキッチンカーを導入し、飲食店組合による地場産食品の販売を行った。
平成29年度	1 子ども向けイベントの開催	子育て世代や町内企業、子育て情報誌発行者などとの協働により、企画段階から町民が参画する子ども向けイベントを開催します。	
	2 地域防災サポーター認定制	自主防災会内での指導者的な役割を担うリーダーを育成するため、地域防災サポーター養成講座を開催し、地域防災サポーターの認定をします。	
	3 声の広報の作成・配布	目の不自由な方のために、おしらせ版の内容をボランティア等と協働で音訳する「声の広報」をカセットテープ等により配布します。	
	4 赤ちゃんの駅の指定	乳幼児を持つ子育て世代が、外出中に授乳やおむつ替えの必要が生じたときに、気兼ねなく利用できる設備を有する施設の出入りに、赤ちゃんの駅を示すステッカーを掲示します。町有施設はもとより、民間施設にも協力をお願いしていきます。	
	5 公園ボランティア等の育成	公園ボランティア等を対象にして、樹木医を講師とした研修会を開催してスキルアップを目指します。	

開成町協働推進計画 実施計画一覧 H28計画・実績

資料3

事業No.	事業名	課名	協働の相手	協働の形態	指標	単位	H28計画	H28実績	評価①/4点 (数値)	評価②/6点 (役割分担)	評価③/6点 (自主性)	評価④/4点 (着地点)	点数/20点	評価	評価理由	備考
1	協働のまちづくり推進事業 (町民活動応援事業)	自治活動応援課	町民公益活動団体	補助・助成	町民活動応援事業の採択事業(団体)数	事業	14	7	2	6	6	2	16	B	目標事業数には及ばなかったものの、町民が自主的・自発的に企画・立案した事業に対して、資金的な補助及び周知等のソフト面の支援を行った。	
2	広報広聴事業 (まちづくり町民集会)	企画政策課	自治会、町民	情報交換	恒常的な参加者の維持(町民集会の参加者数)	人	300	336	4	6	5	4	19	A	全13自治会で町民集会を開催したことにより、参加者が120人増となった。しかしながら、町民に対して「協働」の意識づけをしていく必要がある。	
3	地域情報化推進事業 (Facebookによる情報発信)	企画政策課	町民等	情報提供	町公式Facebookページに対する「いいね！」の数	件	900	980	4	5	5	3	17	B	写真だけでなく動画を効果的に活用し、行政が町民の知りたい情報、関心の高い情報を情報発信している。	
4	自治会運営推進事業 (地域リーダー育成研修会)	自治活動応援課	自治会、町民	その他 (研修)	研修会の受講者数(延べ人数)	人	90	89	3	6	5	4	18	A	参加者が参加しやすいよう、土日・平日それぞれに開催日を設定する等の工夫により、前年度より参加者を増やすことができた。	
5	自治会運営推進事業 (自治会加入促進)	自治活動応援課	自治会	事業協力	自治会加入率	率	90	81.9	3	6	6	3	18	A	自治会加入率の向上に向けて、町は庁内において自治会との連携が十分にとれている。	
6	男女共同参画推進事業 (かいせい男女共同参画推進ボランティア)	自治活動応援課	かいせい男女共同参画推進ボランティア	事業協力	かいせい男女共同参画推進ボランティアの人数	人	5	4	3	5	5	2	15	B	かいせい男女共同参画ボランティアの方は、自らの役割を十分に認識して、自主的に活動している。	
7	子育て支援事業 (ファミリー・サポート・センター事業)	子ども子育て支援室	町民	その他 (支援)	新規会員の登録者数	人	30	30	4	5	5	2	16	B	平成28年度から事務所をふらっと・かいせい内に移設した際のPR活動により、制度の認知度が高まり、会員増につながっている。	
8	母子保健事業 (母子保健推進員活動)	保険健康課	母子保健推進員	事業協力	3歳児健診受診率	%	98	97.2	3	5	6	4	18	A	行政が母子保健推進員を対象とした研修を行い、役割を自覚して活動できた。推進員が主体的に声掛け訪問や地域のおしゃべり会を開催した。	
9	小・中学生の地域活動への参加促進	教育総務課	町民	事業協力	小・中学生が地域と関わる事業数	事業	15	15	4	5	2	2	13	B	地域の方と小・中学生が積極的に関わり、地域との協働の場面が多く見られるようになった。教育課程が過密であり、カリキュラムの中に地域参画を図りづらい。	
10	コミュニティ・スクール推進事業	教育総務課	町民等	実行委員会・協議会	指定した園・学校の数	校	4	4	4	5	5	3	17	B	学校支援ボランティア、学校、町で協働して事業実施したが、学校運営協議会の委員は一年で交代してしまうため、協働の意識を育てにくい。	
11	児童・生徒安全対策事業	教育総務課	町民	実行委員会・協議会	多くの町民が関わりながら、子ども達の安全を確保する	-	-	-	4	6	5	3	18	A	登下校の時間帯において、見守り活動に多くの町民が自主的に参加した。	
12	健康づくり推進事業 (健康普及員活動)	保険健康課	健康普及員	事業協力	健康だと思ふ人の割合	%	-	73.3	3	6	5	4	18	A	任期二年目となり、各種保険事業への協力や事業方法等についての話し合いをへて、自主的に活動することができた。	
13	食育推進事業 (食生活改善推進員活動)	保険健康課	食生活改善推進員	事業委託	15歳未満の子どもの保護者を対象に行う食育に関する事業回数	回	18	18	4	5	5	4	18	A	行政が提示した課題に対して、解決に向けて役割分担して取り組むことができた。	
14	生涯スポーツ推進事業 (開成町チャレンジデー)	自治活動応援課	開成町チャレンジデー実行委員会等	実行委員会・協議会、事業協力	開成町チャレンジデーへの参加率(金メダル参加率55%以上を獲得する)	%人	55	60.6	4	6	6	4	20	A	町、町民、学校、企業等が目標に向かって一丸となり、それぞれが協力してスポーツに取り組み成果をあげることができた。	
15	生涯学習推進事業 (人材バンク制度)	教育総務課	町民	情報交換	人材バンク制度を生かした講座を開催する。	回	85	72	3	5	5	2	15	B	講師を務めた人材バンク登録者は意欲をもって活動したが、受講希望者が定員に満たなかったため、開催されない講座があった。	
16	高齢者等地域見守り推進事業	福祉課	町民、自治会、町社会福祉協議会等	事業協力、情報提供	「緊急通報装置設置推進事業」「救急医療情報キット配布事業」「徘徊高齢者SOSネットワーク事業」の利用者数(合計)	人	380	399	4	6	6	3	19	A	民生委員等から積極的に事業改善に関する提案をうけ、協議しながら事業を進めている。	
17	介護予防事業 (いきいき健康体操の普及)	保険健康課	いきいき健康体操指導員	事業協力	いきいき健康体操指導員数	人	60	69	3	6	6	4	19	A	行政と指導員が役割分担して自主的に活動することができている。研修会で学んだことをもとに指導員が自ら考えたプログラムで体操サロンを運営できた。	
18	災害対策推進事業 (災害時応援協定)	環境防災課	事業所	事業協力	災害時避難ビルの協定数	件	6	5	3	5	5	2	15	B	一時避難施設だけでなく、災害時の遺体安置場所に関する協定など多方面の連携を進めている。	
19	地域防災力強化事業 (防災リーダーの育成)	環境防災課	自治会、町民	事業協力	防災リーダー養成者数	人	90	92	4	5	5	2	16	B	講座を修了して防災リーダーとなる方が増えており、地域防災力の向上につながっているが、本来の自主防災会の訓練の指導・助言をできる人材の育成が不十分である。	
20	地域防災力強化事業 (町防災訓練の実施)	環境防災課	町民、自治会、消防団、関係機関	共催	防災訓練参加者数	人	4,500	4,611	4	5	5	3	17	B	雨天であったものの、全13自治防災会すべての訓練に文命中学校の生徒が参加する等、協働を意識して充実した訓練を実施した。	
21	災害時要援護者支援推進事業 (災害時要援護者登録制度)	福祉課	自治会、民生委員等	事業協力、情報提供	災害時における要援護者の支援体制が確立している自治会	会数	13	13	4	6	5	4	19	A	自治会や民生委員と密な連携をとり、協働して事業実施している。	
22	地域防犯力向上事業 (かいせい防犯まちづくり事業)	環境防災課	自治会、小中学校、防犯関係団体等	事業協力	防犯パトロール数	回	120	169	4	5	6	3	18	A	防犯パトロールの実施や防犯対策等を推進啓発することで相互での共通認識、防犯意識が向上し、町民が安全・安心して快適に生活できるまちづくりが実現できている。	
23	交通安全対策推進事業 (交通安全運動の推進)	環境防災課	警察、学校、交通指導隊、自治会	事業協力	交通安全街頭指導、交通安全教室の回数	回	40	40	4	6	6	3	19	A	警察、園、学校等が当事者として問題を捉え、自身で解決できない部分を他機関に投げかけ、より精査された意見を出す工夫が芽生え、成果として出てきている。	
24	自然環境保全事業 (ホテルの里づくり推進事業)	環境防災課	ホテルの里づくり研究会	補助・助成	ホテル観賞会の参加人数の増加	人	0	0	0	6	6	3	15	B	講師不在によりホテルの鑑賞会は開催できていないが、ホテルの里づくり研究会への補助は継続して行われている。	※評価①0点(指標となるホテルの鑑賞会を実施しなかったため)
25	環境美化活動推進事業 (かいせいクリーンデー)	環境防災課	町民、事業者等	事業協力	かいせいクリーンデーの参加者の増	人	9,400	9,895	4	6	5	3	18	A	住民、事業所の参加者が年々増えており、自主的に美化活動を実施している。	

開成町協働推進計画 実施計画一覧 H28計画・実績

資料3

事業No.	事業名	課名	協働の相手	協働の形態	指標	単位	H28計画	H28実績	評価①/4点 (数値)	評価②/6点 (役割分担)	評価③/6点 (自主性)	評価④/4点 (着地点)	点数/20点	評価	評価理由	備考
26	環境美化啓発事業 (落書き落としキャンペーン)	環境防災課	文命中学校	事業協力	落書き落としキャンペーン参加人数の増	人	-	-	-	-	-	-	0	-	町内公共施設に落書きがないことから、事業を実施しなかった。	
27	道路緑化維持管理事業 (緑地管理のボランティア)	街づくり推進課	町民、町民公益活動団体、事業者	事業協力	活動場所(団体等)の増	箇所	-	-	0	3	3	2	8	C	平成29年度中の要項作成に向けた資料収集を開始した。	※評価①0点(事業実施に至っていないため)
28	公園維持管理事業 (公園管理のボランティア)	街づくり推進課	町民、町民公益活動団体、事業者	事業協力	団体(人)の増	人	7	10	4	6	5	3	18	A	合意書を取り交わし、行政と公園ボランティアの目的を共有し、役割分担を明確にして自主的に活動した。	
29	町の花あじさい維持管理事業 (あじさいの里親)	産業振興課	あじさいの里親	事業協力	あじさいの里親になった個人・団体の数	団体	39	38	3	6	5	3	17	B	行政と里親が役割分担して事業に取り組み、意見交換会を通じて里親としての意識を促すことができた。	
30	町の花あじさい維持管理事業 (あじさい剪定ボランティア)	産業振興課	町民・団体	事業協力	剪定ボランティア数の増加	人	480	488	4	6	6	3	19	A	住民、事業所の参加者が年々増えており、自主的に美化活動を実施している。	
31	商工振興支援事業 (開成阿波おどり)	産業振興課	開成阿波おどり実行委員会	実行委員会・協議会	観光客数	人	12,000	11,000	4	6	5	2	17	B	行政・実行員会で役割分担をして企画立案から運営を行い、事業を進めることができた。	
32	観光対策推進事業 (開成あじさいまつり)	産業振興課	開成あじさい祭実行委員会	実行委員会・協議会	来園者数	人	210,000	210,000	4	5	5	2	16	B	行政・実行員会で役割分担をして企画立案から運営を行い、事業を進めることができた。	
33	観光対策推進事業 (瀬戸屋敷ひなまつり)	産業振興課	瀬戸屋敷ひなまつり実行委員会	実行委員会・協議会	来園者数	人	15,000	14,550	3	5	5	3	16	B	行政・実行員会で役割分担をして企画立案から運営を行い、事業を進めることができた。	
34	職員研修事業 (協働意識向上の研修)	総務課	自治会長等	その他 (職員研修)	「住民との協働研修」受講者数	人	2	1	4	6	6	4	20	A	目標外の研修も実施し、計14人が協働を進めるうえでの知識を習得した。	

開成町協働推進計画 実施計画一覧 H29計画

事業No.	事業名	課名	協働の相手	協働の形態	指標	単位	H29計画	H29実績	評価①/4点 (数値)	評価②/6点 (役割分担)	評価③/6点 (自主性)	評価④/4点 (着地点)	点数/20点	評価	評価理由	備考
1	協働のまちづくり推進事業 (町民活動応援事業)	自治活動応援課	町民公益活動団体	補助・助成	町民活動応援事業の採択事業(団体)数	事業	10						0			
2	広報広聴事業 (まちづくり町民集会)	企画政策課	自治会、町民	情報交換	恒常的な参加者の維持(町民集会の参加者数)	人	300						0			
3	地域情報化推進事業 (SNSによる情報発信)	企画政策課	町民等	情報提供	町公式Facebookページに対する「いいね！」の数	件	1100						0			
4	自治会運営推進事業 (地域リーダー育成研修会)	自治活動応援課	自治会、町民	その他 (研修)	研修会の受講者数(延べ人数)	人	100						0			
5	自治会運営推進事業 (自治会加入促進)	自治活動応援課	自治会	事業協力	自治会加入率	率	90						0			
6	男女共同参画推進事業 (かいせい男女共同参画推進ボランティア)	自治活動応援課	かいせい男女共同参画推進ボランティア	事業協力	かいせい男女共同参画推進ボランティアの人数	人	5						0			
7	子育て支援事業 (ファミリー・サポート・センター事業)	子ども子育て支援室	町民	その他 (支援)	新規会員の登録者数	人	30						0			
8	母子保健事業 (母子保健推進員活動)	保険健康課	母子保健推進員	事業協力	3歳児健診受診率	%	98						0			
9	小・中学生の地域活動への参加促進	教育総務課	町民	事業協力	小・中学生が地域と関わる事業数	事業	18						0			
10	コミュニティ・スクール推進事業	教育総務課	町民等	実行委員会・協議会	指定した園・学校の数	校	4						0			
11	児童・生徒安全対策事業	教育総務課	町民	実行委員会・協議会	多くの町民が関わりながら、子ども達の安全を確保する	-	-						0			
【新】12	土曜学校推進事業	教育総務課	町民・企業	事業協力	土曜学校の開催講座数	回	10						0			
13	健康づくり推進事業 (健康普及員活動)	保険健康課	健康普及員	事業協力	健康だと思ふ人の割合	%	-						0			
14	食育推進事業 (食生活改善推進員活動)	保険健康課	食生活改善推進員	事業委託	15歳未満の子どもの保護者を対象に行う食育に関する事業回数	回	20						0			
15	生涯学習推進事業 (人材バンク制度)	教育総務課	町民	情報交換	人材バンク制度を生かした講座を開催する。	回	80						0			
16	高齢者等地域見守り推進事業	福祉課	町民、自治会、町社会福祉協議会等	事業協力、 情報提供	「緊急通報装置設置推進事業」「救急医療情報キット配布事業」「徘徊高齢者SOSネットワーク事業」の利用者数(合計)	人	400						0			
17	介護予防事業 (いきいき健康体操の普及)	保険健康課	いきいき健康体操指導員	事業協力	いきいき健康体操指導員数	人	68						0			
18	災害対策推進事業 (災害時応援協定)	環境防災課	事業所	事業協力	災害時避難ビルの協定数	件	7						0			
19	地域防災力強化事業 (防災リーダーの育成)	環境防災課	自治会、町民	事業協力	防災リーダー養成者数	人	100						0			
20	地域防災力強化事業 (町防災訓練の実施)	環境防災課	町民、自治会、消防団、関係機関	共催	防災訓練参加者数	人	4,650						0			
【新】21	開成町消防組織化推進連絡協議会	環境防災課	消防団、各自治会、町内事業所、消防友の会、小田原市消防本部	事業協力	年度末の消防団員数	人	100						0			
22	災害時要援護者支援推進事業 (災害時要援護者登録制度)	福祉課	自治会、民生委員等	事業協力、 情報提供	災害時における要援護者の支援体制が確立している自治会	会数	13						0			
23	地域防犯力向上事業 (かいせい防犯まちづくり事業)	環境防災課	自治会、小中学校、防犯関係団体等	事業協力	防犯パトロール数	回	160						0			
24	交通安全対策推進事業 (交通安全運動の推進)	環境防災課	警察、学校、交通指導隊、自治会	事業協力	交通安全街頭指導、交通安全教室の回数	回	40						0			
25	自然環境保全事業 (ホテルの里づくり推進事業)	環境防災課	ホテルの里づくり研究会	補助・助成	ホテル観賞会の参加人数の増加	人	-	0	0	6	6	3	15	B	講師不在によりホテルの鑑賞会は開催できていないが、ホテルの里づくり研究会への補助は継続して行われている。	※評価①0点(指標となるホテルの鑑賞会を実施しなかったため)
26	環境美化活動推進事業 (かいせいクリーンデー)	環境防災課	町民、事業者等	事業協力	かいせいクリーンデーの参加者の増	人	9,900						0			

開成町協働推進計画 実施計画一覧 H29計画

事業No.	事業名	課名	協働の相手	協働の形態	指標	単位	H29計画	H29実績	評価①/4点 (数値)	評価②/6点 (役割分担)	評価③/6点 (自主性)	評価④/4点 (着地点)	点数/20点	評価	評価理由	備考
27	環境美化啓発事業 (落書き落としキャンペーン)	環境防災課	文命中学校	事業協力	落書き落としキャンペーン参加人数の増	人	-						0			
28	道路緑化維持管理事業 (緑地管理のボランティア)	街づくり推進課	町民、町民公益活動団体、事業者	事業協力	活動場所(団体等)の増	箇所	0						0			
29	公園維持管理事業 (公園管理のボランティア)	街づくり推進課	町民、町民公益活動団体、事業者	事業協力	団体(人)の増	人	11						0			
30	町の花あじさい維持管理事業 (あじさいの里親)	産業振興課	あじさいの里親	事業協力	あじさいの里親になった個人・団体の数	団体	41						0			
31	町の花あじさい維持管理事業 (あじさい剪定ボランティア)	産業振興課	町民・団体	事業協力	剪定ボランティア数の増加	人	500	555	4	6	6	3	19	A	住民、事業所の参加者が年々増えており、自主的に美化活動を実施している。	
32	商工振興支援事業 (開成阿波おどり)	産業振興課	開成阿波おどり実行委員会	実行委員会・協議会	観光客数	人	12,000						0			
33	観光対策推進事業 (開成あじさいまつり)	産業振興課	開成あじさい祭実行委員会	実行委員会・協議会	来園者数	人	210,000	187,000	3	5	5	2	15	B	行政・実行員会で役割分担をして企画立案から運営を行い、事業を進めることができた。	
34	観光対策推進事業 (瀬戸屋敷ひなまつり)	産業振興課	瀬戸屋敷ひなまつり実行委員会	実行委員会・協議会	来園者数	人	15,000						0			
35	職員研修事業 (協働意識向上の研修)	総務課	自治会長等	その他 (職員研修)	「住民との協働研修」受講者数	人	4						0			

生涯スポーツ推進事業 (開成町チャレンジデー)	自治活動応援課	開成町チャレンジデー実行委員会等	実行委員会・協議会、事業協力	開成町チャレンジデーへの参加率(金メダル参加率55%以上を獲得する)	%人	
----------------------------	---------	------------------	----------------	------------------------------------	----	--

※開成町チャレンジデー実行委員会において、平成29年度以降はチャレンジデー実施なしとなったため、平成29年度事業なし。

開 成 町 協 働 推 進 計 画

実施計画評価シート

平成28年度実施計画

平成29年10月



開成町協働推進計画 実施計画 評価シート

事業 No.	1							
事業名	協働のまちづくり推進事業(町民活動応援事業)							
所管部課	部 名	町民サービス部	課 名	自治活動応援課				
総合計画上の位置付け	1	政策	町民主体の自治と協働を進めるまち					
	1	施策	町民主役のまちづくりの推進					
	①	計画	協働によるまちづくりの推進					
関連計画等	開成町民活動応援事業実施要綱							
協働の相手	町民公益活動団体		協働の形態	補助・助成				
実施の時期	通年		事業開始年度	平成24年度				
決算額	平成28年度	900 千円	事業の方向性	継続(平成29年度まで)				
事業の概要	平成24年度から平成26年度までの3か年で「町民活動応援事業」を実施し、様々な分野で活動する団体等に対して資金面での支援をしてきたが、さらに町民公益活動を促進するため、平成27年度以降も制度を一部変更し、ステップアップコースとして平成29年度まで延長し、継続実施する。なお、応募事業の採択については、審査会を開催し審査のうえ決定する。							
全体計画(目的)	公共の利益に寄与する活動の活性化を図り、協働のまちづくりを促進することを目的に、町民が自発的・自主的に企画・立案し実施する町民活動事業に対して町が資金的な支援を行う。							
協働の指標	指 標	町民活動応援事業の採択事業(団体)数						
	目 標 値	年 度	H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (予定)	H30 (予定)
		数 値	単位:事業	8	10	8	7	10
手 法	広報誌、ホームページ等を活用し広く制度を周知するとともに、これまでの採択団体にも周知を図る。							
協働の内容(役割分担)	<p>行政</p> <p>(1)募集及び申請受付(おしらせ版、ホームページ等による募集、申請時の相談・受付)</p> <p>(2)審査会の開催、交付決定通知書の送付、各採択事業(団体)を広報媒体により周知</p> <p>(3)事業実績報告書の受付、事業報告会の開催</p> <p>町民公益活動団体</p> <p>(1)町民活動応援事業の申請</p> <p>(2)審査会での企画説明、事業の実施</p> <p>(3)事業終了後実績報告の提出、事業報告会での報告</p>							
協働の着地点	(1)協働相手が自立して事業運営を行う、(2)町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3)町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4)その他						4	
平成28年度の取り組み内容及び効果等	評価①	スタートアップ1団体、ステップアップ6団体に対して補助を行った。平成27年度の団体数から減少したものの、ステップアップ団体は事業を継続して実施することにより質の高い成果を出すことができた。						
	評価②	町民が自発的・自主的に企画・立案した事業に対して、補助することができた。きめ細かな制度の周知により、スタートアップ1団体の応募があった。審査会では、事業内容の公益性や内容の充実を図る指導が行われ、報告会では、事業実績が報告され団体間の情報共有を図る場となった。						
	評価③	それぞれの団体が自ら企画・立案した事業に対して補助することで、協働相手の自主性を生かすことができた。町は資金的な支援だけでなく、周知や事業報告会で団体同士の意見交換の場を設ける等のソフト面での支援も実施した。団体は、制度をうまく活用して事業を実施することができた。						
	評価④	採択団体に対しては、資金面や事業周知等の支援を行うことができたが、申請の煩雑さにより申請を断念する団体もある。						
協働を進めるための課題と対策	平成29年度で事業が終了した後のフォロー体制の確立(資金的な問題などから、応援事業終了後に活動ができなくなる団体がないように)							
平成28年度協働の評価	評価①	指標(目標値)に対する評価点数			2/4点		総合評価 B	16/20点
	評価②	目的を共有し、互いの役割分担ができたかどうかに対する評価点数			6/6点			
	評価③	協働相手の長所を理解し、協働相手の自主性を育み生かすことができたかに対する評価点数			6/6点			
	評価④	協働の着地点に向けてどの程度まで到達しているか			2/4点			
評価者	コメント	平成24年度から実施している事業であり、申請される町民公益活動団体も制度をうまく活用できるようになってきた。今後、資金的な援助だけに止まらず、事業内容や団体が実施するイベントの周知などソフト面でのサポートを充実させていきたい。						
	課 名	自治活動応援課	課(室・局)長氏名	遠藤 直紀				
確認者	部 名	町民サービス部	部長名	石井 護				

開成町協働推進計画 実施計画 評価シート

事業 No.	2							
事業名	広報広聴事業(まちづくり町民集会)							
所管部課	部 名	行政推進部	課 名	企画政策課				
総合計画上の位置付け	1	政策	町民主体の自治と協働を進めるまち					
	1	施策	町民主役のまちづくりの推進					
	②	計画	開かれた町政の推進					
関連計画等	開成町まちづくり町民集会実施要綱							
協働の相手	町民、自治会		協働の形態	情報交換				
実施の時期	年1回(各地区ごと)		事業開始年度	平成14年度以前				
決算額	平成28年度	0千円	事業の方向性	継続				
事業の概要	町の施策を町民に伝え、町政に対する理解を深めるとともに、町長と町民が直接対話する「まちづくり町民集会」を開催する。							
全体計画(目的)	町が各種計画等の策定段階から、町民の意見等に反映すること、町民と行政がともにまちづくりを進めていくという連帯意識と自治意識の高揚を図る機会とすることを目的とし、毎年テーマや実施時期をを検討し年1回以上開催する。テーマや開催時期にもよるが、基本的には各自治会を地区ごとにブロック分けして開催する。							
協働の指標	指 標	恒常的な参加者の維持(町民集会の参加者数)						
	目 標 値	年 度	H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (予定)	H30 (実績)
		数値	単位:件	418	113	216	336	300
手 法	参加促進を図るよう、関心を持って頂けるテーマの設定し、自治会を通じて、参加に向けての周知を広く図る。							
協働の内容(役割分担)	[行政] (1)テーマ・会場の設定、ちらしの作成、自治会長連絡協議会との調整等の準備 (2)開催当日の運営 [自治会] (1)回覧等により周知を図る。 (2)開催当日の受付等 [町民] (1)集会に参加し、情報や意見交換をする。							
協働の着地点	(1)協働相手が自立して事業運営を行う、(2)町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3)町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4)その他			3				
平成28年度 の取り組み内容 及び効果等	評価①	「開成町役場新庁舎建設について」「地域課題について」をテーマに、10月20日(木)から11月13日(日)の9日間で全13自治会にわたり開催し、計336名が参加した。テーマに関心が高かったのか、事前申込みしていない人の参加も多くみられ、地域が抱える課題についても活発な意見が交わされた。						
	評価②	町は会場の設定やちらしを作成し、自治会回覧等による町民への周知等、自治会を通じて町民集会の開催を広く周知するなど、役割分担がなされた。						
	評価③	町民集会を開催することにより、お互いに町政に対する理解を深め、行政と町民がともにまちづくりを進めていくという連帯意識の高揚が図られた。						
	評価④	関心の高いテーマ設定や、各自治会ででき細かく開催したことで、町民の参加者が増加した。						
協働を進めるための課題と対策	直接意見交換をすることによりお互いに町政に対する理解を深め、行政と町民がともにまちづくりを進めていくという連帯意識の高揚が図られてはいるが、「協働」の意識があるかどうか疑問であるため、町全体として協働の意識づけをしていく必要がある。							
平成28年度 協働の評価	評価①	指標(目標値)に対する評価点数	4/4点	総合評価 A 19/20点				
	評価②	目的を共有し、互いの役割分担ができたかどうかに対する評価点数	6/6点					
	評価③	協働相手の長所を理解し、協働相手の自主性を育み生かすことができたかに対する評価点数	5/6点					
	評価④	協働の着地点に向けてどの程度まで到達しているか	4/4点					
評価者	コメント	町民の関心が高いテーマ設定し、各自治会開催することででき細かな説明を行った。協働を進めるため、町民に意識づけをしていく必要がある。						
	課 名	企画政策課	課(室・局)長氏名	岩本 浩二				
確認者	部 名	行政推進部	部長名	秋谷 勉				

開成町協働推進計画 実施計画 評価シート

事業 No.	3							
事業名	地域情報化推進事業 (Facebookによる情報発信)							
所管部課	部 名	行政推進部	課 名	企画政策課				
総合計画上の位置付け	1	政策	町民主体の自治と協働を進めるまち					
	1	施策	町民主役のまちづくりの推進					
	②	計画	開かれた町政の推進					
関連計画等								
協働の相手	町民等		協働の形態	情報提供				
実施の時期	通年		事業開始年度	平成25年度				
決算額	平成28年度	0 千円	事業の方向性	継続				
事業の概要	町民との相互通信システムの構築の検討を進めるため、その礎として、まずは、Facebookによる情報発信を実施し、町民等からは発信情報に対するコメントを投稿してもらい取り組みを行う。Facebookには、毎日1つ以上の新鮮な情報を掲載する。							
全体計画(目的)	行政情報と町民の声の相互が入手しやすい環境が整うことにより、協働によるまちづくりの実現を図る。							
協働の指標	指 標	町公式Facebookページに対する「いいね！」の数						
	目 標 値	年 度	H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (予定)	H30 (予定)
		数 値	単 位: 件	230	450	755	980	1100
手 法	日々の出来事、旬な情報を厳選し、タイムリーに掲載する。							
協働の内容(役割分担)	<p>[行政] 町の魅力を町内外に発信し、まちづくりの旬の情報や広報紙等では取り上げられない日々の出来事に関する情報を提供する。 町公式Facebookページとあわせて、「あじさいちゃんFacebook」を運用し、親しみやすい情報提供を心がける。</p> <p>[町民等] 行政からの発信情報に対するコメント等を投稿する。</p>							
協働の着地点	(1)協働相手が自立して事業運営を行う、(2)町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3)町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4)その他			4				
平成28年度の取り組み内容及び効果等	評価①	町公式Facebookページに対する「いいね！」の数が、目標の900に対して、980を達成した。						
	評価②	閲覧者のリアクション(いいね！等)やシェアによる投稿の拡散、投稿へのコメントによる意見把握を取組みの目的としている。投稿の拡散については、1投稿あたりの平均リーチが1,064となっており、十分な効果を発揮している。						
	評価③	投稿内容を話題性、迅速性などの観点から選定するとともに、投稿に適した写真を選択することで、リアクションやシェアをしやすい投稿を心がけたことが、平均リーチの増大につながった。						
	評価④	写真だけでなく、動画を効果的に活用することで、町facebookページへの「いいね！」数が増大した。						
協働を進めるための課題と対策	町民の知りたい情報、関心の高い情報を中心に情報発信を行うため、町からのお知らせを発信するだけではなく、町民を巻き込んだ取組みとしていくことが課題となっている。							
平成28年度協働の評価	評価①	指標(目標値)に対する評価点数	4/4点	総合評価 B 17/20点				
	評価②	目的を共有し、互いの役割分担ができたかどうかに対する評価点数	5/6点					
	評価③	協働相手の長所を理解し、協働相手の自主性を育み生かすことができたかに対する評価点数	5/6点					
	評価④	協働の着地点に向けてどの程度まで到達しているか	3/4点					
評価者	コメント	フェイスブックでの情報発信が定着し、投稿に対する多くのリアクションやコメントを得ているが、協働相手である町民等が協働を意識しているとは言えないという点は課題である。						
	課 名	企画政策課	課(室・局)長氏名	岩本 浩二				
確認者	部 名	行政推進部	部長名	秋谷 勉				

開成町協働推進計画 実施計画 評価シート

事業 No.	4							
事業名	自治会運営推進事業(地域リーダー育成研修会)							
所管部課	部名	町民サービス部	課名	自治活動応援課				
総合計画上の位置付け	1	政策	町民主体の自治と協働を進めるまち					
	1	施策	町民主役のまちづくりの推進					
	③	計画	町民活動の支援					
関連計画等								
協働の相手	自治会、町民		協働の形態	その他(研修)				
実施の時期	年3回(8月～12月)		事業開始年度	平成25年度				
決算額	平成28年度	50千円	事業の方向性	継続				
事業の概要	協働のまちづくり推進事業の一環として、平成25年度から地域の人材育成を目的に、地域リーダー育成研修会(年間3日・6講座)を開催する。							
全体計画(目的)	自治会の役員の方や、地域のきずなづくりを実践したい方など、多くの自治会員に地域活動への参加促進の仕組みづくりや、地域課題の発見と解決の手法を学ぶことから、自治会の人材育成を支援し、地域活動の活性化を促進することを目的に、地域リーダー育成研修会を開催する。							
協働の指標	指 標	研修会の受講者数(延べ人数)						
	目標値	年 度	H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (予定)	H30 (予定)
		数値	単位:人	83	94	71	89	100
手 法	関心を持って頂けるテーマ及び講師を選定し、自治会を通じた参加依頼及びおしらせ版による周知により参加促進を図る。							
協働の内容(役割分担)	<p>行政</p> <p>(1)テーマ・講師の選定、日程調整等の準備。</p> <p>(2)自治会会議での参加依頼、おしらせ版へ募集記事の掲載</p> <p>(3)開催当日の準備・運営</p> <p>自治会・町民</p> <p>(1)研修会開催の周知、自治会役員からの参加要請</p> <p>(2)研修会で講座を受講し意見交換等をする。</p>							
協働の着地点	(1)協働相手が自立して事業運営を行う、(2)町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3)町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4)その他			4				
平成28年度の取り組み内容及び効果等	評価①	参加者が参加しやすいように講座により土日・平日それぞれに日程を設定し、また、講座数を平成26年度と同様6講座に戻したことから、前年度より参加者が増となった。						
	評価②	町は自治会長会議において研修の周知及び参加要請し、自治会は、各々の自治会において研修参加者を推薦し、全自治会から申し込みがあった。また、研修会当日は活発な意見交換が行われた。						
	評価③	町は研修に値する講師を探して研修会を開催するとともに広報等で周知を図り、自治会は役員はじめ将来リーダーとなる人材を推薦し、研修会を開催することにより、地域の人材を育成することができた。						
	評価④	各自治会から参加してもらい、積極的に研修に取り組んでいることから、少しずつ人材育成ができています。						
協働を進めるための課題と対策	将来、受講者に地域のリーダーを担っていただくことを期待しているが、若年層や女性の参加が少ないことが課題となっている。町のHPやFacebookを活用したPRや参加者のニーズにあった研修テーマを定めることに取り組んでいきたい。							
平成28年度協働の評価	評価①	指標(目標値)に対する評価点数	3/4点	総合評価 A 18/20点				
	評価②	目的を共有し、互いの役割分担ができたかどうかに対する評価点数	6/6点					
	評価③	協働相手の長所を理解し、協働相手の自主性を育み生かすことができたかに対する評価点数	5/6点					
	評価④	協働の着地点に向けてどの程度まで到達しているか	4/4点					
評価者	コメント	参加者は、自分が暮らす地域に関心を持ち、積極的に研修に参加していた。参加者や自治会のニーズにあった内容、開催時期で研修を開催していきたい。						
	課名	自治活動応援課	課(室・局)長氏名	遠藤 直紀				
確認者	部名	町民サービス部	部長名	石井 護				

開成町協働推進計画 実施計画 評価シート

事業 No.	5							
事業名	自治会運営推進事業(自治会加入促進)							
所管部課	部 名	町民サービス部	課 名	自治活動応援課				
総合計画上の位置付け	1	政策	町民主体の自治と協働を進めるまち					
	1	施策	町民主役のまちづくりの推進					
	③	計画	町民活動の支援					
関連計画等	自治会交付金交付要綱							
協働の相手	自治会		協働の形態	事業協力				
実施の時期	通年		事業開始年度					
決算額	平成28年度	12,169 千円	事業の方向性	継続				
事業の概要	自治会の加入率100%を目指し、自治会が抱える課題、特に自治会加入率の向上に向けた課題解決のため、行政と自治会が連携し、加入促進に取り組む。							
全体計画(目的)	協働のまちづくりを推進するため、協働の重要な担い手である自治会の加入率100%を目指す。							
協働の指標	指 標	自治会加入率						
	目 標 値	年 度	H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (予定)	H30 (予定)
		数値	単位:人	80.0	79.3	83.7	81.9	90
手 法	加入率が低下傾向にあるため、行政と自治会が連携し、加入率向上に向けて課題を解決する策を講じる。							
協働の内容(役割分担)	<p>行政</p> <p>(1)自治会加入促進マニュアルの更新 (2)自治会加入促進の協力に関する宅建協会との協力 (3)転入者に対し役場窓口で自治会加入の案内 (4)広報媒体による自治会活動の紹介</p> <p>自治会</p> <p>(1)役員等による戸別訪問等の自治会加入勧誘 (2)自治会内での助け合いによる運営(退会の防止) ※行政と自治会が連携し、自治会加入率の向上に向けて、課題解決や促進対策に取り組む。</p>							
協働の着地点	(1)協働相手が自立して事業運営を行う、(2)町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3)町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4)その他			1				
平成28年度の取り組み内容及び効果等	評価①	加入率は、昨年度より減となった。						
	評価②	加入率向上に向け、町は加入促進マニュアルを更新し、自治会へ配付。自治会では未加入者へちらしを配布するなど自治会加入促進に取り組んだ。						
	評価③	町と自治会が依存し合うことなく、お互い連携し、自治会加入率向上に向けて取り組んだ。また、自治会長会議の場で加入促進のための問題や課題について情報交換することができた。特にみなみ自治会の立ち上げ準備については、牛島自治会と住民説明会を共催するなど互いに協力して加入促進を進めた。						
	評価④	自治会加入率の向上に向けて、自治会との連携が十分にとれているので、引き続き協力していきたい。						
協働を進めるための課題と対策	加入率が低い単身者やアパートに居住している方が自治会に加入するように、一層、自治会と協力・連携して加入促進に取り組む必要がある。							
平成28年度協働の評価	評価①	指標(目標値)に対する評価点数	3/4点	総合評価 A 18/20点				
	評価②	目的を共有し、互いの役割分担ができたかどうかに対する評価点数	6/6点					
	評価③	協働相手の長所を理解し、協働相手の自主性を育み生かすことができたかに対する評価点数	6/6点					
	評価④	協働の着地点に向けてどの程度まで到達しているか	3/4点					
評価者	コメント	自治会加入率の向上に向けて、町は庁内において自治会との連携が十分にとれている。転入者向けの案内や勧誘訪問に取り組み、さらなる加入者増につなげていきたい。						
	課 名	自治活動応援課	課(室・局)長氏名	遠藤 直紀				
確認者	部 名	町民サービス部	部長名	石井 護				

開成町協働推進計画 実施計画 評価シート

事業 No.	6							
事業名	男女共同参画推進事業(かいせい男女共同参画推進ボランティア)							
所管部課	部 名	町民サービス部	課 名	自治活動応援課				
総合計画上の位置付け	1	政策	町民主体の自治と協働を進めるまち					
	1	施策	町民主役のまちづくりの推進					
	④	計画	対等な社会参画の推進					
関連計画等	第3次かいせい男女共同参画プラン							
協働の相手	かいせい男女共同参画推進ボランティア(町民)		協働の形態	事業協力				
実施の時期	年2～3回(会議等)		事業開始年度	平成14年				
決算額	平成28年度	176千円	事業の方向性	継続				
事業の概要	かいせい男女共同参画推進ボランティアの協力により、男女共同参画社会の早期実現に向けて、各種施策を地域に浸透させ、推進を図る。							
全体計画(目的)	かいせい男女共同参画推進ボランティアの協力により、講演会の開催や情報誌の発行などを通じて、町の男女共同参画推進を図る。							
協働の指標	指 標	かいせい男女共同参画推進ボランティア委嘱人数(定員10人)						
	目標値	年 度	H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (予定)	H30 (予定)
		数値	単位:人	3	3	4	4	5
手 法	かいせい男女共同参画推進ボランティアの活動成果を積極的に広報する。							
協働の内容(役割分担)	<p>行政</p> <p>①各種施策の推進を図る。</p> <p>②上記ボランティア活動に係る責任を有する。</p> <p>かいせい男女共同参画推進ボランティア(町民)</p> <p>①男女共同参画啓発情報誌の編集・発行</p> <p>②男女共同参画プランの各種事業への協力</p> <p>③男女共同参画の推進に資する自主活動</p>							
協働の着地点	(1)協働相手が自立して事業運営を行う、(2)町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3)町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4)その他		2					
平成28年度の取り組み内容及び効果等	評価①	かいせい男女共同参画推進ボランティアの人数について、平成27年度から増減がなかったものの、講演会でボランティアに興味ある方がオブザーバーとして会議に参加した。今後講演会やかけはしてボランティアの活動を紹介し、積極的に広報する。						
	評価②	「だれもがともにあらゆる分野で参画するまち」をめざし、近隣市町村が取り組んでいる事業などをかいせい男女共同参画推進ボランティアが調べ、町としても事業として取り組めるのか検討するなど、互いの役割がしっかりとできている。今後も、継続していく。						
	評価③	男女共同参画啓発情報誌「かけはし」の作成は、協働相手が自ら、記事、レイアウトなどを考え自主性を活かすことができた。講演会については、男女共同参画推進ボランティアが多くの方に来ていただけるようなテーマを自ら考え、町と連携をして取り組んだ。今後も協働相手が町民に向けて発信したいことを考えていただき、協働相手が主体となって事業を進めていきたい。						
	評価④	男女共同参画社会の実現に向けて、男女共同参画推進ボランティアと協力し、町民の多くの方に男女共同参画とは何か理解していただけるように、また、興味を持っていただける事業の運営を行っていく。						
協働を進めるための課題と対策	男女共同参画社会の実現に向けて取り組みにあたり、推進体制の強化が必要。							
平成28年度協働の評価	評価①	指標(目標値)に対する評価点数	3/4点	総合評価 B 15/20点				
	評価②	目的を共有し、互いの役割分担ができたかどうかに対する評価点数	5/6点					
	評価③	協働相手の長所を理解し、協働相手の自主性を育み生かすことができたかに対する評価点数	5/6点					
	評価④	協働の着地点に向けてどの程度まで到達しているか	2/4点					
評価者	コメント	登録しているかいせい男女共同参画推進ボランティアの方は、自らの役割を十分に認識して、自主的に活動している。町は、きめ細やかな広報などのソフト面のサポートにより活動をサポートしていく。						
	課 名	自治活動応援課	課(室・局)長氏名	遠藤 直紀				
確認者	部 名	町民サービス部	部長名	石井 護				

開成町協働推進計画 実施計画 評価シート

事業 No.	7							
事業名	子育て支援事業(ファミリー・サポート・センター事業)							
所管部課	部 名		課 名					
			子ども・子育て支援室					
総合計画上の位置付け	2	政策	未来を担う子どもたちを育むまち					
	1	施策	子育て環境の充実					
	2	計画	子育て支援の充実					
関連計画等	開成町子ども・子育て支援事業計画							
協働の相手	町民		協働の形態					
			その他(支援)					
実施の時期	通年		事業開始年度					
			平成26年度					
決算額	平成28年度	5,993 千円	事業の方向性					
			継続					
事業の概要	育児の援助を受けたい人と援助をしたい人が会員登録を行い、会員間で子どもの預かり等の相互援助活動を実施する。 【運営委託により平成26年9月に相互援助活動を開始】							
全体計画(目的)	相互援助活動を行うことで子育て支援体制の整備、児童福祉の向上及び地域におけるコミュニティの活性化を図る。							
協働の指標	指 標	新規会員の登録者数						
	目 標 値	年 度	H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (予定)	H30 (予定)
		数 値	単 位:人	-	61	38	44	30
手 法	広報、町ホームページ、マスコミ取材など積極的に活用するほか、会員間の口コミ等で登録者数を増加させる。							
協働の内容(役割分担)	行政 ・子育て支援体制を整備するとともに、事業のピーアールを行い援助が必要な会員の登録を進める。							
	町民 ・子育てに関する相互援助活動を通じ地域における新たな人間関係を構築し、地域コミュニティに参画していく。							
協働の着地点	(1)協働相手が自立して事業運営を行う、(2)町と協働相手が継続して協働し、事業運営を行う、(3)町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4)その他						1	
平成28年度 の取り組み内容 及び効果等	評価①	ぶらっと・かいせいの開所に合わせ広報紙や町ホームページ、マスコミ取材等で事業のピーアールを行った。子どもを預かる会員(まかせて会員・両方会員)講習会を2回実施するほか、会員交流会等も実施した。会員数は順調に伸び年度末に143名(お預り96、まかせて25、両方22)となった。						
	評価②	会員の主体的な取組により成立する事業であるが、会員の空き時間などを利用して送迎や預かりなど多岐にわたる相互援助活動となった。また、会員間の信頼関係を深めることを目的に会員交流会を1回開催するとともに、会員向け広報誌を発行した。						
	評価③	まかせて会員等の空き時間を活用して地域の子育て世帯の相互援助活動を実施した。相互援助活動以外でも、地域で顔見知りになったことで新たな人間関係が構築されたり、子ども同士の交流も行われるようになった。						
	評価④	平成28年度の年間相互援助活動は338件であり、前年度161件の2倍以上となっている。相互援助活動をきっかけとした新たな人間関係も構築されている。						
協働を進めるための課題と対策	今後も子育て支援の事業として利用希望者が増加すると思われるため、まかせて会員を増やすこと、相互援助活動内の事故防止等の普及啓発を行う。							
平成28年度 協働の評価	評価①	指標(目標値)に対する評価点数					4/4点	総合 評 価 B
	評価②	目的を共有し、互いの役割分担ができたかどうかに対する評価点数					5/6点	
	評価③	協働相手の長所を理解し、協働相手の自主性を育み生かすことができたかに対する評価点数					5/6点	
	評価④	協働の着地点に向けてどの程度まで到達しているか					2/4点	
評価者	コメント	平成26年度に開始して以来、順調に事業は進んでおり、平成28年度から事務所をぶらっと・かいせいに移設したことにより、さらに活動が活性化することを期待する。						
	課 名	子ども・子育て支援室	課(室・局)長氏名		中戸川 進二			
確認者	部 名	教育委員会事務局	部 長 名		加藤 順一			

開成町協働推進計画 実施計画 評価シート

事業 No.	8							
事業名	母子保健事業(母子保健推進員活動)							
所管部課	部名	保健福祉部			課名	保険健康課		
総合計画上の位置付け	2	政策	未来を担う子供たちを育むまち					
	1	施策	保育環境の充実					
	③	計画	母子保健の充実					
関連計画等	健康増進計画(食育推進計画含)・子ども子育て支援計画							
協働の相手	母子保健推進員			協働の形態	事業協力			
実施の時期	通年			事業開始年度	平成6年度			
決算額	平成28年度	525 千円		事業の方向性	継続			
事業の概要	町が行う母子保健事業の充実を図るため、協力体制を確立する。地域における母子の健康問題の把握とネットワークづくりと見守りを目的として活動する。(21名:任期は3年)							
全体計画(目的)	母子保健の研修を積みながら、町からの依頼で声かけ訪問(3か月・7か月・1歳6か月児)・離乳食講習会への託児協力・あじさい健診や子ども心の健康教室等の託児協力・地域での見守りや相談などを通年で行う。							
協働の指標	指 標	3歳児健診受診率:95%						
	目 標 値	年 度	H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (予定)	H30 (予定)
		数 値	単 位: %	100	100	98.8	97.2	98
手 法	健診の必要性を啓発していく。							
協働の内容(役割分担)	<u>行政(町):</u> 研修・母子保健の課題の情報提供と声掛け訪問協力依頼 <u>母子保健推進員:</u> 乳幼児声かけ訪問(3か月・7か月・1歳6か月児)・離乳食講習会・あじさい健診等母子保健事業の託児協力・地域での見守りや相談などを行う。							
協働の着地点	(1)協働相手が自立して事業運営を行う、(2)町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3)町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4)その他					2		
平成28年度の取り組み内容及び効果等	評価①	概ね達成できた						
	評価②	推進員としての役割を推進員が自覚し、活動できた。						
	評価③	地域の状況を知っている推進員が、声掛け訪問から地域のおしゃべり会の開催をするなど主体的に活動できた。						
	評価④	委員は3年間委嘱により、母子保健の理解を深めながら町の共通課題のもと活動をしている。						
協働を進めるための課題と対策	町の課題や健康問題を共通し、研修を行い実施方法等に対する意見等を事業前後で話し合うことで、来年度に活かせる内容の検討ができた。個々の意識や実践力、地域を診る視点について今後も研修を行う。次年度任期最終年度となるため、活動のまとめを行う。							
平成28年度協働の評価	評価①	指標(目標値)に対する評価点数			3/4点		総合評価	A
	評価②	目的を共有し、互いの役割分担ができたかどうかに対する評価点数			5/6点			
	評価③	協働相手の長所を理解し、協働相手の自主性を育み生かすことができたかに対する評価点数			6/6点			
	評価④	協働の着地点に向けてどの程度まで到達しているか			4/4点			
評価者	コメント	良好かつ適切に処理されている。						
	課名	保険健康課		課(室・局)長氏名	亀井 知之			
確認者	部名	保健福祉部		部長名	田辺 弘子			

開成町協働推進計画 実施計画 評価シート

事業 No.	9							
事業名	小・中学生の地域活動への参加促進							
所管部課	部 名		課 名	教育総務課				
総合計画上の位置付け	2	政策	未来を担う子ども達を育むまち					
	3	施策	学校教育の充実					
	①	計画	教育活動の充実					
関連計画等	教育振興基本計画							
協働の相手	町民		協働の形態	事業協力				
実施の時期	通年		事業開始年度					
決算額	平成28年度	0 千円	事業の方向性	拡大				
事業の概要	町内駅伝競走大会など小・中学生が地域の活動に参加するとともに、防災訓練のように地域の一員として貢献できる場面は多くある。このような機会を確保していく。							
全体計画(目的)	地域と関わる場面を通じ、子どもたちに地域の一員としての自覚の芽生えを促し、地域に貢献できる人材を育成する。							
協働の指標	指 標	小・中学生が地域と関わる事業数						
	目 標 値	年 度	H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (予定)	H30 (予定)
	手 法	数 値	11	11	13	15	18	22
協働の内容(役割分担)	<p>行政・教育機関</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども達が地域に参画する機会を多く設ける。 <p>地域・町民</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の一員として子ども達を受け入れ、活躍できる場を増やす。 							
協働の着地点	(1)協働相手が自立して事業運営を行う、(2)町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3)町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4)その他			2				
平成28年度の取り組み内容及び効果等	評価①	中学生が認知症サポーター養成講座を受講し、地域の認知症者への理解を深めた。						
	評価②	地域の方々にはゲストティチャーとして丁寧に子どもたちに接し、子どもたちも地域の一員として役割を果たそうという姿が多くみられた。						
	評価③	互いに接し積極的に関わり、地域との協働の場面が多くみられるようになった。特に防災訓練では、子どもたちが積極的に防災活動に参加し、地域の力となっていた。						
	評価④	(2)町と町民が協力して運営を行う事業が増えてきている。						
協働を進めるための課題と対策	学校の教育課程が過密であり、カリキュラムの中に地域活動への参加促進を図りづらい。教育課程外での活動(部活動)で一部の児童・生徒に対する協働促進を考えていく。							
平成28年度協働の評価	評価①	指標(目標値)に対する評価点数	4/4点	総合評価 B				
	評価②	目的を共有し、互いの役割分担ができたかどうかに対する評価点数	5/6点					
	評価③	協働相手の長所を理解し、協働相手の自主性を育み生かすことができたかに対する評価点数	2/6点					
	評価④	協働の着地点に向けてどの程度まで到達しているか	2/4点					
評価者	コメント	指標に対して実施事業数がまだ不足している。地域協働に対する意識を持ち、できる活動を考えていく必要がある。						
	課 名	教育総務課	課(室・局)長氏名	橋本 健一郎				
確認者	部 名	教育委員会事務局	部長名	加藤 順一				

開成町協働推進計画 実施計画 評価シート

事業 No.	10							
事業名	コミュニティ・スクール推進事業							
所管部課	部名	課名			教育総務課			
総合計画上の位置付け	2	政策	未来を担う子ども達を育むまち					
	3	施策	学校教育の充実					
	②	計画	教育体制の充実					
関連計画等	教育振興基本計画							
協働の相手	町民等			協働の形態	実行委員会・協議会			
実施の時期	通年			事業開始年度	平成22年度			
決算額	平成28年度	173千円		事業の方向性	拡大			
事業の概要	子どもたちの「生きる力」を育むことを目的に、学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)を平成22年4月に開成小学校、文命中学校に、平成24年5月には開成南小学校に導入。この制度は学校運営協議会を通じ学校運営に地域の人などが参画し、地域とともにある学校づくりをめざすものである。							
全体計画(目的)	幼稚園を含む、開成町の全ての公立園・学校において地域とともにある学校づくりをめざす。							
協働の指標	指標	指定した園・学校の数						
	目標値	年度	H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (予定)	H30 (予定)
		数値 単位:	3	3	4	4	4	4
手法	学校や地域とのコンセンサスを得て学校運営協議会を設置する。							
協働の内容(役割分担)	<p>行政</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・スクールの導入に向けての関係者への理解や協力を求め、全ての園・学校に学校運営協議会を設置した。 <p>教育機関</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会を立ち上げ、地域との協働による学校づくりを進める。 <p>町民</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会への参画等を通じ、学校運営に対して協力する。 							
協働の着地点	(1)協働相手が自立して事業運営を行う、(2)町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3)町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4)その他				2			
平成28年度の取り組み内容及び効果等	評価①	平成27年4月に開成幼稚園を指定したことにより、開成町立園・学校全てをコミュニティ・スクールとして指定した。						
	評価②	8月に開成町教育講演会と共催し、日本大学佐藤晴雄先生を招へいし、CSによる「地域住民の学校運営参画による学校改善への取り組み」というテーマ講演いただいた。その際学校教員等多くの方に参加いただき、より理解及び知識を深めた。						
	評価③	開成幼稚園学校運営協議会では、園での実態を見た中で、学習支援補助員(非常勤)人数確保が必要であると認識したため、これに関わる喚起を開成町教育委員会へ行った。						
	評価④	(2)相互協力し、運営に努めている。						
協働を進めるための課題と対策	地域との協働の中で、学校としての要望と、支援ボランティアとの意思疎通がうまくいかないこともある。地域の活力の掘り起しも含めた、コーディネーターとしての役割ができる体制を整えたい。							
平成28年度協働の評価	評価①	指標(目標値)に対する評価点数	4/4点			総合評価	B	
	評価②	目的を共有し、互いの役割分担ができたかどうかに対する評価点数	5/6点					
	評価③	協働相手の長所を理解し、協働相手の自主性を育み生かすことができたかどうかに対する評価点数	5/6点					
	評価④	協働の着地点に向けてどの程度まで到達しているか	3/4点					17/20点
評価者	コメント	開成町として、町内全ての公立園・学校をコミュニティ・スクールとして指定している利点を活かし学校・地域で協働して学校運営の向上につなげていく。						
	課名	教育総務課	課(室・局)長氏名	橋本 健一郎				
確認者	部名	教育委員会事務局	部長名	加藤 順一				

開成町協働推進計画 実施計画 評価シート

事業 No.	11							
事業名	児童・生徒安全対策事業							
所管部課	部名		課名	教育総務課				
総合計画上の位置付け	2	政策	未来を担う子ども達を育むまち					
	3	施策	学校教育の充実					
	②	計画	教育体制の充実					
関連計画等	教育振興基本計画							
協働の相手	町民		協働の形態	実行委員会・協議会				
実施の時期	通年		事業開始年度	平成17年度				
決算額	平成28年度	2,154 千円		事業の方向性	継続			
事業の概要	子どもたちの安全を確保するため、学校地域安全推進委員会を通じ、子ども達の安全対策について検討をし、児童生徒の通学時間を中心に地域の人々が町内の随所に立ち、登校指導(防犯・交通安全指導、あいさつ運動)を実施するなど見守り活動を実施している。							
全体計画(目的)	幼児・児童・生徒の安全を確保する。							
協働の指標	指標	多くの町民が関わりながら、子ども達の安全を確保する。						
	目標値	年度	H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (予定)	H30 (予定)
		数値	単位:	-	-	-	-	-
手法								
協働の内容(役割分担)	<p>行政</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの安全確保のため、町民一体となった見守り活動について啓発を進める。 <p>町民</p> <ul style="list-style-type: none"> 形にとらわれず、趣旨に沿った自主的な見守り活動を実践する。 							
協働の着地点	(1)協働相手が自立して事業運営を行う、(2)町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3)町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4)その他						2	
平成28年度の取り組み内容及び効果等	評価①	登下校時の見守り活動は自発的に協力してもらっていることから、実際に活動している人数の把握を行っていない。しかしながら、自発的取組によって子どもの見守りは適切に行われているため4点とする。						
	評価②	子どもたちの安全確保のため、学校の登下校時の時間帯に多数の地域の方々に見守り活動について協力して頂けた。						
	評価③	登下校時の見守り、緊急時に子どもたちが避難する場所としての「こども110番のいえ」について協力して頂いている。緊急時の役割等を理解していただき、新たに「こども110番のいえ」の協力依頼を行った結果、3件の協力者の申し出があった。						
	評価④	(2)町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う						
協働を進めるための課題と対策	登下校時の見守り活動について、責任の所在が不明確。							
平成28年度協働の評価	評価①	指標(目標値)に対する評価点数	4/4点		総合評価	A	18/20点	
	評価②	目的を共有し、互いの役割分担ができたかどうかに対する評価点数	6/6点					
	評価③	協働相手の長所を理解し、協働相手の自主性を育み生かすことができたかに対する評価点数	5/6点					
	評価④	協働の着地点に向けてどの程度まで到達しているか	3/4点					
評価者	コメント	子どもたちの安全確保について協働意識をもって行動いただいている。						
	課名	教育総務課	課(室・局)長氏名	橋本 健一郎				
確認者	部名	教育委員会事務局	部長名	加藤 順一				

開成町協働推進計画 実施計画 評価シート

事業 No.	12							
事業名	健康づくり推進事業(健康普及員活動)							
所管部課	部 名	保健福祉部		課 名	保険健康課			
総合計画上の位置付け	3	政策	健康を育み町民がいきいきと暮らせるまち					
	1	施策	健康づくりの推進					
	①	計画	地域ぐるみの健康づくりの推進					
関連計画等	健康増進計画(食育推進計画含)・高齢者保健福祉計画							
協働の相手	健康普及員			協働の形態	事業協力			
実施の時期	通年			事業開始年度	昭和54年度			
決算額	平成28年度	237 千円		事業の方向性	継続			
事業の概要	健康普及員と共に町民の健康づくり推進を行うことにより、町民の健康に関する知識の普及や、町保健事業への協力を行う。月1回の定例会において研修を町が行い、また保健事業(がん検診・あじさい健診・特定健診・生活習慣病予防の教室)への協力を行う。活動を通して町民の健康意識や課題について町と協議検討する。							
全体計画(目的)	地域住民の健康づくりの推進のため、町が実施する保健事業に協力し、健康づくりの意識啓発並びに住民の健康保持及び増進を図る。							
協働の指標	指 標	健康だと思ふ人の割合(健康増進計画)・・H23 81.9% H28目標85%						
	目標値	年 度	H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (予定)	H30 (予定)
		数値	単位: %	—	—	—	83.7	—
手 法	定期健康診査の受診を促し町民一人ひとりが健康で豊かな生活を送ることができるよう啓発支援する。(評価H28健康増進計画に伴う町民アンケート)							
協働の内容(役割分担)	<p>行政: 情報提供、研修・各種保健事業への協力依頼</p> <p>健康普及員: 地域に根づいた健康づくり運動を展開するために、開成町が実施する保健事業への協力や、健康づくりに関する正しい知識の普及啓発をする。また、地域の健康問題の適確な把握をする。</p>							
協働の着地点	(1)協働相手が自立して事業運営を行う、(2)町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3)町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4)その他					2		
平成28年度の取り組み内容及び効果等	評価①	概ね達成できた						
	評価②	年間計画に基づき、町の事業把握や事業協力が得られた。						
	評価③	任期2年目で小学校PTAや子育て中の母親に対する自主活動としての健康教育ができた。						
	評価④	2年間の実践と研修で、役割を認識し積極的に取り組んだ						
協働を進めるための課題と対策	町の課題や健康問題の共通認識が必要。各種保健事業に協力いただき、実施方法等に対する意見等を事業前後で話し合うことで、来年度に活かせる内容の検討ができた。							
平成28年度協働の評価	評価①	指標(目標値)に対する評価点数	3 / 4点		総合評価	A 18/20点		
	評価②	目的を共有し、互いの役割分担ができたかどうかに対する評価点数	6 / 6点					
	評価③	協働相手の長所を理解し、協働相手の自主性を育み生かすことに対する評価点数	5 / 6点					
	評価④	協働の着地点に向けてどの程度まで到達しているか	4/4点					
評価者	コメント	良好かつ適切に処理されている。						
	課 名	保険健康課	課(室・局)長氏名	亀井 知之				
確認者	部 名	保健福祉部	部長名	田辺 弘子				

開成町協働推進計画 実施計画 評価シート

事業 No.	13							
事業名	食育推進事業(食生活改善推進員活動)							
所管部課	部 名	保健福祉部			課 名	保険健康課		
総合計画上の位置付け	3	政策	健康を育み町民がいきいきと暮らせるまち					
	1	施策	健康づくりの推進					
	③	計画	食育の推進					
関連計画等	健康増進計画(食育推進計画含)・高齢者保健福祉計画							
協働の相手	食生活改善推進員			協働の形態	事業委託			
実施の時期	通年			事業開始年度	昭和39年度			
決算額	平成28年度	298 千円		事業の方向性	継続			
事業の概要	町が行う養成講座を修了後、推進員として食を通して心身ともに健康で豊かな人間性を育むことを目的に実践体験を取り入れた地域活動を行う。							
全体計画(目的)	食生活改善推進員としての知識と実践力を生かし、町民が生涯を通じて健康で豊かな食生活を送れるよう、地域で食育及び栄養改善活動を町とともに進める。							
協働の指標	指 標	15歳未満の子どもの保護者を対象に行う食育に関する事業回数						
	目標値	年 度	H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (予定)	H30 (予定)
		数値	単位:回	17	17	17	18	20
手 法	町の食の課題を専門的にまとめていく栄養士等の人材確保と食育をすすめる連絡協議会等の組織の仕組みをつくる。							
協働の内容(役割分担)	<p>行政: 推進員養成講座の実施により、推進員を養成する。推進員の現任研修の実施、食育や栄養改善事業について、町から事業を委託託する。栄養改善課題を共有する。</p> <p>食生活改善推進員: 県や町からの食改善事業委託を受け、実践活動を地域で展開する。また推進員として自ら考え隣近所での活動をする。</p>							
協働の着地点	(1)協働相手が自立して事業運営を行う、(2)町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3)町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4)その他					2		
平成28年度の取り組み内容及び効果等	評価①	概ね達成できた。						
	評価②	行政が課題を提示し、解決に向けた取り組みを分担できた。						
	評価③	役員を中心に役員会・定例会を重ね、すべての委託業務を完了している。						
	評価④	推進員として、自覚をもち、賛同できる食の事業には積極的にかかわっている。						
協働を進めるための課題と対策	推進員を増員し、マンパワーの確保が必要。							
平成28年度協働の評価	評価①	指標(目標値)に対する評価点数			4/4点		総合評価 A	
	評価②	目的を共有し、互いの役割分担ができたかどうかに対する評価点数			5/6点			
	評価③	協働相手の長所を理解し、協働相手の自主性を育み生かすことができたかに対する評価点数			5/6点			
	評価④	協働の着地点に向けてどの程度まで到達しているか			4/4点			
評価者	コメント	良好かつ適切に処理されている。						
	課 名	保険健康課		課(室・局)長氏名		亀井 知之		
確認者	部 名	保健福祉部		部長名		田辺 弘子		

開成町協働推進計画 実施計画 評価シート

事業 No.	14							
事業名	生涯スポーツ推進事業(開成町チャレンジデー)							
所管部課	部 名	町民サービス部	課 名	自治活動応援課				
総合計画上の位置付け	3	政策	健康を育み町民がいきいきと暮らせるまち					
	3	施策	スポーツの推進					
	①	計画	スポーツ・レクリエーション活動の充実					
関連計画等								
協働の相手	実行委員会(町民・自治会・学校・企業等)		協働の形態	実行委員会・協議会、事業協力				
実施の時期	毎年5月最終週水曜日		事業開始年度	平成26年度				
決算額	平成28年度	150千円	事業の方向性	完了				
事業の概要	世界規模で実施されるチャレンジデーへの参加を通じて、運動の習慣化を図るとともに、生涯にわたり町民の健康づくりと体力増進を図るきっかけを提供することで、日本一元気、日本一健康、日本一きれいなまちづくりを目指すことを目的とする。							
全体計画(目的)	実行委員会主催の種目に加え町民・自治会・学校・企業がそれぞれ計画し、実行することで町民の健康づくりと体力増進を図るきっかけとなるとともに、1つの目標に向かって一致団結することで、仲間意識や連帯感が生まれ、地域のコミュニティの強化や活性化につなげる。							
協働の指標	指 標	開成町チャレンジデーへの参加率(「金メダル」参加率55%以上を獲得する)						
	目 標 値	年 度	H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (予定)	H30 (予定)
		数 値	—	61.6 (10,226)	48.5 (8,156)	60.6 (10,409)	—	—
手 法	町民のニーズを的確に把握し、より関心の高い実行委員会プログラムを企画する。							
協働の内容(役割分担)	行政 ①実行委員会の運営 ②チャレンジデーにおける事業補助 実行委員会(町各種団体等) ①実行委員会の開催 ②実行委員会(各種目の企画・運営) 町民・自治会・学校・企業等 ①積極的な参加							
協働の着地点	(1)協働相手が自立して事業運営を行う、(2)町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3)町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4)その他			3				
平成28年度の取り組み内容及び効果等	評価①	学校、企業等への呼びかけを行ったほか、開成駅前でのチラシ配布等きめ細かな周知活動を行い、金メダルを獲得(参加率55%以上)することができた。						
	評価②	前年度の敗北をばねに、町と協働相手との連携が図られ、それぞれが意欲的に取り組むことができた。						
	評価③	前年度の課題となっていた周知活動不足を改善したことにより、多くの町民がチャレンジデーについて知識を得て参加することができた。						
	評価④	チャレンジデーに多くの町民が参加し、一丸となって取り組むことができた。						
協働を進めるための課題と対策	協働相手の自主性や意欲を育むためには、町の広報等のサポートを要する。次回は、町からのサポートを充実させて、新規参加者の増加、継続参加団体の意欲向上を図る。							
平成28年度協働の評価	評価①	指標(目標値)に対する評価点数	4/4点	総合評価 A 20/20点				
	評価②	目的を共有し、互いの役割分担ができたかどうかに対する評価点数	6/6点					
	評価③	協働相手の長所を理解し、協働相手の自主性を育み生かすことができたかに対する評価点数	6/6点					
	評価④	協働の着地点に向けてどの程度まで到達しているか	4/4点					
評価者	コメント	町と団体、参加者となる町民との連携が十分に図られ、結果を残すことができた。チャレンジデーは平成28年度で終了し、以降はスポ・レクフェスティバル等のスポーツイベントの充実を図る。						
	課 名	自治活動応援課	課(室・局)長氏名	遠藤 直紀				
確認者	部 名	町民サービス部	部長名	石井 護				

開成町協働推進計画 実施計画 評価シート

事業 No.	15							
事業名	生涯学習推進事業(人材バンク制度)							
所管部課	部名		課名 教育総務課					
総合計画上の位置付け	3	政策	健康を育み町民がいいきと暮らせるまち					
	4	施策	生涯学習の推進					
	①	計画	生涯学習推進体制の整備					
関連計画等	教育振興基本計画							
協働の相手	町民	協働の形態	情報交換					
実施の時期	通年	事業開始年度	平成8年度					
決算額	平成28年度	771千円	事業の方向性 継続					
事業の概要	住民の多様な学習要求に応じた生涯学習活動を推進するため、さまざまな技能をもつ人材を登録する制度(人材バンク)を設け、登録された人材を活用した学習講座をコーディネートしている。							
全体計画(目的)	町民ニーズに合った生涯学習活動を推進することにより、町民一人ひとりが生きがいをもって豊かで充実した人生を送ることができる。							
協働の指標	指標	人材バンク制度を生かした講座を開催する。						
	目標値	年度	H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (予定)	H30 (予定)
		数値	単位:回	—	—	97	72	80
手法								
協働の内容(役割分担)	<p>行政</p> <ul style="list-style-type: none"> ニーズとシーズを的確に把握し、それらの情報提供に努め生涯学習活動を支援する。 <p>町民</p> <ul style="list-style-type: none"> 特技、技能について積極的に人材登録する。 学んだ知識を生かして地域に貢献する。 							
協働の着地点	(1)協働相手が自立して事業運営を行う、(2)町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3)町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4)その他						1	
平成28年度の取り組み内容及び効果等	評価①	講師の体調不良による中止もあったが、受講希望者数が定員に満たず開催されなかった講座があった。同じ講師の教室やサークルがある場合には、そちらを紹介したこともあった。						
	評価②	講座募集のおしらせ版への掲載表現など、講師との事前連絡を密にし、わかりやすく気軽に参加してもらえるような工夫をした。						
	評価③	講師を務めた人材バンク登録者にとっても指導する満足感が得られ、次回の講座への意欲につながっている。						
	評価④	(1)講座をきっかけに、終了後もその講師が実施するサークル活動に参加する人もいた。						
協働を進めるための課題と対策	町民のニーズを把握するとともに、多様な人材を発掘し、登録を進める必要がある。また、人材発掘と同時に、定期的に登録者との連絡調整を図り、常にニーズに対応できる体制を整える。また土曜学校(あじさい塾)でも人材バンク登録者を活用した講座開催に努める。							
平成28年度協働の評価	評価①	指標(目標値)に対する評価点数	3/4点				総合評価	B
	評価②	目的を共有し、互いの役割分担ができたかどうかに対する評価点数	5/6点					
	評価③	協働相手の長所を理解し、協働相手の自主性を育み生かすことができたかに対する評価点数	5/6点					
	評価④	協働の着地点に向けてどの程度まで到達しているか	2/4点					
評価者	コメント	協働の取組みに対する、相手方への働きかけや相手の理解がまだ深まっていない現状がある						
	課名	教育総務課	課(室・局)長氏名	橋本 健一郎				
確認者	部名	教育委員会事務局	部長名	加藤 順一				

開成町協働推進計画 実施計画 評価シート

事業 No.	16							
事業名	高齢者等地域見守り推進事業							
所管部課	部 名	保健福祉部			課 名	福祉課		
総合計画上の位置付け	3	政策	健康を育み町民がいいきと暮らせるまち					
	6	施策	地域福祉の充実					
	②	計画	地域福祉活動の充実					
関連計画等	開成町福祉コミュニティプラン、開成町高齢者保健福祉計画							
協働の相手	町民、自治会、町社協等			協働の形態	事業協力、情報提供			
実施の時期	通年(平成27年度から)			事業開始年度	平成25年度			
決算額	平成28年度	765千円		事業の方向性	継続			
事業の概要	「緊急通報装置設置推進事業」、「救急医療情報キット配布事業」、「徘徊高齢者SOSネットワーク事業」を関連事業として一体的に推進するとともに、広報PRと、転入者に対する戸別訪問事業「かいせいようこそ訪問事業」により事業PRをする。また、県及び市町村共同事業で、生協、金融機関、郵便局、プロパンガス事業者等との協定事業である「地域見守り活動」の協力事業者の拡大を図る。							
全体計画(目的)	いつまでも住み慣れた場所で安心して暮らしていける地域をめざし、相談機能の充実と各事業を一体的に実施することにより、地域福祉の充実を図る。							
協働の指標	指 標	「緊急通報装置設置推進事業」「救急医療情報キット配布事業」「徘徊高齢者SOSネットワーク事業」の利用者数(合計)						
	目 標 値	年 度	H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (予定)	H30 (予定)
		単 位:人	249	337	364	399	400	400
手 法	役場窓口での高齢者等への案内、民生委員を通じての周知等							
協働の内容(役割分担)	町: 制度PRとともに、民生委員に「緊急通報装置設置推進事業」、「救急医療情報キット配布事業」、「徘徊高齢者SOSネットワーク事業」の3事業の利用者情報、「かいせいようこそ訪問事業」の対象転入者情報を提供する。 民生委員: 訪問事業を通じて「緊急通報装置設置推進事業」、「救急医療情報キット配布事業」、「徘徊高齢者SOSネットワーク事業」の見守り事業を個別周知するとともに、「かいせいようこそ訪問事業」による戸別訪問をする。							
協働の着地点	(1)協働相手が自立して事業運営を行う、(2)町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3)町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4)その他					2		
平成28年度の取り組み内容及び効果等	評価①	平成30年度に利用者数合計400人の目標は達成の見込みであるため、平成28年度の目標も達成とする。						
	評価②	平成26年度に民生委員児童委員協議会会報紙である「ほほえみ通信」に救急医療情報キット配布事業を掲載したことにより、配布者数が飛躍的に向上した。平成28年度も引き続き、民生委員との協働のもと新規利用者の発掘や事業改善を進めています。						
	評価③	「ほほえみ通信」での事業紹介をきっかけに民児協自ら、「救急医療情報キット」の中身であるシートの更新を配布者に促す活動が始まり、平成27年度より正式に年1回程度町より民児協に依頼し、シート更新の確認を行っている。						
	評価④	町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う						
協働を進めるための課題と対策	徘徊高齢者SOSネットワークの再構築が必要。現在のネットワークは平成12年に県が主体となり1市5町で構築されたものであり、現在は形骸化してしまっている部分が多い。また、民生委員等の位置づけがない。しかし、徘徊高齢者等の捜索や町内及び町外のネットワークを活用していくためには、民生委員等が果たす役割が大きい。いつまでも住み慣れた場所で安心して暮らしていける地域をめざし、個々の事業の連携を強化していくためにも徘徊高齢者SOSネットワークの抜本的な見直しを県に要望していく必要がある。							
平成28年度協働の評価	評価①	指標(目標値)に対する評価点数	4/4点				総合評価	A
	評価②	目的を共有し、互いの役割分担ができたかどうかに対する評価点数	6/6点					
	評価③	協働相手の長所を理解し、協働相手の自主性を育み生かすことができたかどうかに対する評価点数	6/6点					
	評価④	協働の着地点に向けてどの程度まで到達しているか	3/4点					
評価者	コメント	民生委員等からの事業改善に関する提案をいただき、改善に向けて協働しながら、普及啓発等の事業展開をすすめています。今回の評価であがっている課題には、町としても積極的に取り組んでいく予定です。						
	課 名	福祉課	課(室・局)長氏名	小宮 好徳				
確認者	部 名	保健福祉部	部長名	田辺 弘子				

開成町協働推進計画 実施計画 評価シート

事業 No.	17							
事業名	介護予防事業(かいせいいいき健康体操の普及)							
所管部課	部 名	保健福祉部			課 名	保険健康課		
総合計画上の位置付け	3	政策	健康を育み町民がいいきと暮らせるまち					
	7	施策	高齢者福祉の充実					
	②	計画	介護予防の推進					
関連計画等	開成町健康増進計画、開成町高齢者保健福祉計画							
協働の相手	いきいき健康体操指導員			協働の形態	事業協力			
実施の時期	通年			事業開始年度	平成18年度			
決算額	平成28年度	237 千円		事業の方向性	継続			
事業の概要	地域でいきいき健康体操指導員を中心に、かいせいいいき健康体操をはじめ、運動の普及活動を壮年期から高齢者を中心に展開する。							
全体計画(目的)	町民の健康づくりと介護予防を目的とする。							
協働の指標	指 標	いきいき健康体操指導員数(休会中の方を含む)						
	目 標 値	年 度	H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (予定)	H30 (予定)
		数 値	単 位:人	50	49	57	69	68
手 法	指導員養成講座を開催し指導員数を確保する。地域での体操サロンや、介護予防教室等で体操の普及啓発を図る。							
協働の内容(役割分担)	<p>行政</p> <p>1)町事業及び地域での介護予防事業の実施 2)「かいせいいいき健康体操」の普及啓発 3)いきいき健康体操指導員研修会の実施 4)いきいき健康体操指導員定例会等場の提供</p> <p>指導員</p> <p>1)様々な機会を捉えて「かいせいいいき健康体操」の普及活動をする。 2)研修会等を通じて介護予防や健康づくりに関する正しい知識の習得に努め、普及・啓発に努める。 3)町の介護予防事業の協力・支援活動を行う。</p>							
協働の着地点	(1)協働相手が自立して事業運営を行う、(2)町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3)町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4)その他					2		
平成28年度の取り組み内容及び効果等	評価①	新たに指導員を養成することができ、目標値60人に対し、69人となった。						
	評価②	日本一健康な町づくりプロジェクト等を通じて、町の健康課題を共有し、行政と指導員の担う部分を確認しながら事業展開ができた。						
	評価③	研修会でスキルアップを図り、その上で指導員が自ら考えたプログラムで体操サロンを運営することができた。研修で習得した内容をすぐ事業に反映できていた。						
	評価④	役員会、定例会、研修会等を通じて、情報共有、意見交換を十分にしながら、町と指導員とが目標に向かって進んでいる。						
協働を進めるための課題と対策	地区による開催状況の差があり、また指導員が地域でさらに活動できるようにするために、支え合う環境づくりを進めるために、新たな指導員の養成及びレベルアップへの取り組みが必要。本人の体調不良や孫の育児、家族の介護のためにいきいき健康体操指導員を退会せざるをえない方が増えている。							
平成28年度協働の評価	評価①	指標(目標値)に対する評価点数	3/4点		総合評価	A		
	評価②	目的を共有し、互いの役割分担ができたかどうかに対する評価点数	6/6点					
	評価③	協働相手の長所を理解し、協働相手の自主性を育み生かすことができたかに対する評価点数	6/6点					
	評価④	協働の着地点に向けてどの程度まで到達しているか	4/4点					
評価者	コメント	良好に処理されているが、今後も指導員養成に尽力する。						
	課 名	保険健康課	課(室・局)長氏名		亀井 知之			
確認者	部 名	保健福祉部	部長名		田辺 弘子			

開成町協働推進計画 実施計画 評価シート

事業 No.	18							
事業名	災害対策推進事業(災害時応援協定)							
所管部課	部 名	町民サービス部	課 名	環境防災課				
総合計画上の位置付け	4	政策	安全で安心して暮らせるまち					
	1	施策	災害に強いまちづくりの推進					
	①	計画	災害対策の充実					
関連計画等	開成町地域防災計画							
協働の相手	事業所		協働の形態	事業協力				
実施の時期	随時		事業開始年度	平成24年度				
決算額	平成28年度	1,533 千円	事業の方向性	継続				
事業の概要	町内民間企業等の協力を得て、災害時の一時避難施設の確保をする。							
全体計画(目的)	広域応援協定、民間企業等各種団体との災害応援協定の締結を進め、災害への対応力を強化する。							
協働の指標	指 標	災害時避難ビルの協定数						
	目 標 値	年 度	H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (予定)	H30 (予定)
		数値	単位:件	4	5	5	5	7
手 法	各事業所への個別の働きかけ、協定締結の依頼							
協働の内容(役割分担)	<p>行政</p> <p>(1)災害時の備蓄品の確保及び設置依頼</p> <p>(2)避難所看板の作成</p> <p>(3)広報誌等でのPR</p> <p>事業所</p> <p>(1)避難場所の確保</p> <p>(2)従業員への周知</p> <p>(3)地域との連携</p>							
協働の着地点	(1)協働相手が自立して事業運営を行う、(2)町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3)町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4)その他			2				
平成28年度の取り組み内容及び効果等	評価①	新たな災害時の一時避難施設の確保に向け町内事業所と協定締結に向けて交渉を実施した。						
	評価②	協定事業所と契約内容について確認を行い、実態に合った避難場所の変更等の見直しを行った。						
	評価③	協定の締結を広報等で周知し、事業所の社会貢献活動への取り組みを紹介した。						
	評価④	協定を締結するものの実際の災害に対応した訓練の実施など実際の災害発生時に対応するところでは今後の取り組みが必要。						
協働を進めるための課題と対策	協定を締結した事業所と、実際の災害を想定した訓練の実施など災害時の確認を行う必要がある。							
平成28年度協働の評価	評価①	指標(目標値)に対する評価点数	3/4点					
	評価②	目的を共有し、互いの役割分担ができたかどうかに対する評価点数	5/6点					
	評価③	協働相手の長所を理解し、協働相手の自主性を育み生かすことができたかどうかに対する評価点数	5/6点					
	評価④	協働の着地点に向けてどの程度まで到達しているか	2/4点					
評価者	コメント	災害時の一時避難施設としては、現在5事業所と協定を締結している。現在、一時避難施設について交渉を進めている。また、災害時の遺体の安置所に関する協定など新たに交渉を実施し多方面の連携を進めている。						
	課 名	環境防災課	課(室・局)長氏名	渡辺 雅彦				
確認者	部 名	町民サービス部	部長名	石井 護				

開成町協働推進計画 実施計画 評価シート

事業 No.	19								
事業名	地域防災力強化事業(防災リーダーの育成)								
所管部課	部 名	町民サービス部	課 名	環境防災課					
総合計画上の位置付け	4	政策	安全で安心して暮らせるまち						
	1	施策	災害に強いまちづくりの推進						
	②	計画	地域防災力の向上						
関連計画等	開成町地域防災計画								
協働の相手	各自治会、町民		協働の形態	事業協力					
実施の時期	年6回		事業開始年度	平成23年度					
決算額	平成28年度	4,517 千円	事業の方向性	継続					
事業の概要	町防災安全専門員等が講師となり、年間6回防災講座(応急手当、救命基礎講習会、避難所運営ゲーム、災害図上訓練等)を開催し、地域の防災リーダーを育成することで、地域防災力の向上につなげる。								
全体計画(目的)	町民一人ひとりが防災、危機管理の知識を深めていくことで、地域防災力の向上につなげ、更に自分自身とまわりの人々の生命財産を守る。								
協働の指標	指 標	防災リーダー養成者数							
	目 標 値	年 度	H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (予定)	H30 (予定)	
		数値	単 位: 人 数	49	63	81	92	100	110
手 法	より多くの方が参加しやすいように、開催日を土日等に設置し、自治会を通じて参加者を募っている。								
協働の内容(役割分担)	次の事業を実施し、防災リーダーの育成に努める。 行政 (1) 講座の設定、講師の調整等の準備 (2) 防災部長会議での参加者の募集、広報誌等による参加者募集 (3) 反復訓練が重要であるため修了者を対象としたフォローアップ講座の実施 自治会 (1) 参加者の選出、調整								
協働の着地点	(1) 協働相手が自立して事業運営を行う、(2) 町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3) 町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4) その他						1		
平成28年度の取り組み内容及び効果等	評価①	防災リーダーを養成するため、防災講座を年6回実施し目標値を上回った。							
	評価②	各自治会から選出された防災講座修了者が、自治会に戻り、防災部長の役を担うなど地域防災力の向上につながっている。							
	評価③	防災講座のプログラムは、受講者が聞き取り学習するだけでなく、受講者が実際に体験し、災害が発生した際に、地域で行動できるようになるプログラムを作っている。							
	評価④	防災知識を持った防災講座受講者が100人近くおり裾野は広がっているが、本来の自主防災会の訓練の指導・助言をできる方の育成が不十分である。							
協働を進めるための課題と対策	毎年、参加者が防災部長等自治会役員の割合が多く、地域の防災活動に直結しているが、実施日を土日に設定したことで多くの年齢層の参加があった。								
平成28年度協働の評価	評価①	指標(目標値)に対する評価点数					4/4点	総合評価 B	16/20点
	評価②	目的を共有し、互いの役割分担ができたかどうかに対する評価点数					5/6点		
	評価③	協働相手の長所を理解し、協働相手の自主性を育み生かすことができたかに対する評価点数					5/6点		
	評価④	協働の着地点に向けてどの程度まで到達しているか					2/4点		
評価者	コメント	毎年確実に防災講座修了者が増えており、防災部長等として地域の防災の中心となり活躍している。防災講座の受講者については、防災知識を持った方として地域で活躍いただいているが、本来の自主防災会の訓練の指導・助言をできる方の育成が不十分である。今後、自治会と協働した地域防災サポーターを要請する。							
	課 名	環境防災課	課(室・局)長氏名		渡辺 雅彦				
確認者	部 名	町民サービス部	部長名		石井 護				

開成町協働推進計画 実施計画 評価シート

事業 No.	20							
事業名	地域防災力強化事業(開成町防災訓練の実施)							
所管部課	部 名	町民サービス部	課 名	環境防災課				
総合計画上の位置付け	4	政策	安全で安心して暮らせるまち					
	1.	施策	災害に強いまちづくりの推進					
	②	計画	地域防災力の向上					
関連計画等	開成町地域防災計画							
協働の相手	町民、各自治会、消防団、関係機関	協働の形態	共催					
実施の時期	防災週間(8月30日～9月5日)内の日曜日	事業開始年度	昭和55年度					
決算額	平成28年度	4,517 千円	事業の方向性	継続				
事業の概要	町、自主防災会、消防団等の防災関係機関が連携、協力して、災害対応策、災害時の役割分担を確認し、広域避難所開設運営訓練など地域ぐるみの防災訓練を実施する。							
全体計画(目的)	東日本大震災などの大規模自然災害からの教訓を生かし、防災対応上の諸問題の把握、解決を図る。							
協働の指標	指 標	防災訓練参加者数						
	目 標 値	年 度	H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (予定)	H30 (予定)
		数値	単 位:	4,530	4,634	4,419	4,611	4,650
手 法	町と自主防災会及び消防団、中学校等関係機関との連携、働きかけをする。							
協働の内容(役割分担)	<p>行政</p> <p>(1)防災部長会議において、連携訓練の調整等の準備</p> <p>(2)消防団幹部会議において、自治会の訓練について調整</p> <p>(3)広報紙等により防災訓練参加の呼びかけ</p> <p>自治会</p> <p>(1)各自主防災会での訓練の調整</p> <p>(2)地域住民への周知</p> <p>(3)中学校との調整</p> <p>町民</p> <p>(1)自宅等の身の回りの確認を行うとともに各自治会の防災訓練に参加。</p> <p>関係機関</p> <p>(1)各自治会への訓練の指導及び連携等(例:消防団)</p>							
協働の着地点	(1)協働相手が自立して事業運営を行う、(2)町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3)町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4)その他		2					
平成28年度の取り組み内容及び効果等	評価①	9月4日(日)町、自主防災会、消防団、企業等が連携し、防災訓練を実施した。当日、開始直後に雨が降ったが、訓練参加者は昨年よりも増加し、目標値(4,500人)を達成した。						
	評価②	広域避難所開設運営訓練を牛島、宮台自主防災会の全参加者が参加し、開成幼稚園及び南部コミュニティセンターで開催した。訓練実施前から牛島、宮台両自治会長、防災部長と訓練について調整を行い、町と自主防災会が協働して広域避難所運営訓練を実施できた。						
	評価③	防災部長会議等において、意見交換、調整を図ることで、防災訓練についての町民の意識付けを図り、防災意識の向上につながった。						
	評価④	各自主防災会においてそれぞれの特色を活かした訓練を実施しており、訓練内容も防災関係機関と連携した訓練を重ね災害時における経験値を高めている。						
協働を進めるための課題と対策	防災訓練を実施するのにあたり事前に町、自主防災会、消防団等関係機関と調整を図っている。平成28年度はじめて牛島、宮台の参加者全員参加した広域避難所開設運営訓練を実施したが、事前に町と自主防災会で調整会議を実施し、共通認識を図ってきたが、訓練の参加者すべてに訓練の目的やそれぞれの役割等を伝えきれなかった。							
平成28年度協働の評価	評価①	指標(目標値)に対する評価点数	4/4点	総合評価 B 17/20点				
	評価②	目的を共有し、互いの役割分担ができたかどうかに対する評価点数	5/6点					
	評価③	協働相手の長所を理解し、協働相手の自主性を育み生かすことができたかどうかに対する評価点数	5/6点					
	評価④	協働の着地点に向けてどの程度まで到達しているか	3/4点					
評価者	コメント	全13自主防災会すべての訓練に文命中学校全校生徒が参加し、自主防災会において充実した訓練が実施された。平成28年度初めて牛島、宮台自治会の訓練参加者全員が参加しての避難所運営訓練を実施し、実践的な訓練を実施したことで課題が明らかになった。						
	課 名	環境防災課	課(室・局)長氏名	渡辺・雅彦				
確認者	部 名	町民サービス部	部長名	石井 護				

開成町協働推進計画 実施計画 評価シート

事業 No.	21							
事業名	災害時要援護者支援推進事業(災害時要援護者登録制度)							
所管部課	部名	保健福祉部	課名	福祉課				
総合計画上の位置付け	4	政策	安全で安心して暮らせるまち					
	1	施策	災害に強いまちづくりの推進					
	2	計画	地域防災力の向上					
関連計画等	開成町福祉コミュニティプラン・災害時要援護者登録制度マニュアル							
協働の相手	自治会、民生委員等		協働の形態	事業協力、情報提供				
実施の時期	通年(平成26年度～平成30年度)		事業開始年度	平成18年度				
決算額	平成28年度	0千円	事業の方向性	継続				
事業の概要	本人申出による災害時要援護者登録制度を平成18年度より自治会等との協働事業として実施しているが、登録制度の実効性の確保と登録数の拡充、町においての介護保険認定者や障害者等手帳保持者の名簿の整備を進めるとともに、要援護者拠点施設の運営のための住民の専門職有資格者の登録者の増を図る。							
全体計画(目的)	災害時における高齢者や障がい者などの避難や避難生活を円滑に行えるように日頃から体制を整備する。							
協働の指標	指標	災害時における要援護者の支援体制が確立している自治会						
	目標値	年度	H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (予定)	H30 (予定)
		数値	単位:会数	13	13	13	13	13
手法	町(福祉課、環境防災課)、町社協、自治会、民生委員の四者が連携して当該事業に係る事業を進める。							
協働の内容(役割分担)	<ul style="list-style-type: none"> ・行政(町) 要援護者登録制度及び専門職登録制度について広報PRやマニュアル作成等を行い、制度理解の促進と周知を図る。また、介護保険認定者や障害者等手帳保持者の全員名簿を整備し、要援護者登録制度への登録について個別に周知もする。 ・自治会 共助という立場で、自助の意識高揚を図り、福祉部や防災部の連携を図りながらその機能強化に努める。 ・民生委員 虚弱者や一人暮らし高齢者等への周知を図る。 							
協働の着地点	(1)協働相手が自立して事業運営を行う、(2)町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3)町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4)その他			2				
平成28年度の取り組み内容及び効果等	評価①	目標値は達成している。						
	評価②	町防災訓練にて、想定も含め、災害時要援護者と支援者に参加してもらっているが、拠点施設に集合後、備蓄品の確認、パーテーションやトイレの組み立て等を実際に避難支援者等にも体験してもらった。 また、登録強化月間後、要配慮者に対して登録勧奨の個別通知を実施した。						
	評価③	町防災訓練に合わせて、災害時要援護者の避難行動支援等の訓練を実施している。 また自治会を中心に新規登録者への周知や規登録者の更新を行っており、自治会未加入の方にも対応をお願いしている。自治会未加入の未登録者への周知などは、民生委員などを通じて行うなど、協働体制なしには、制度運用が難しく、各主体で連携をとり事業実施している。 今後は、モデル地区を設定したより実効性の高い訓練を実施していくことにより、協働体制を更に進めていく。						
	評価④	町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う						
協働を進めるための課題と対策	より実効性の高い訓練の実施。							
平成28年度協働の評価	評価①	指標(目標値)に対する評価点数	4/4点	総合評価 A				
	評価②	目的を共有し、互いの役割分担ができたかどうかに対する評価点数	6/6点					
	評価③	協働相手の長所を理解し、協働相手の自主性を育み生かすことができたかに対する評価点数	5/6点					
	評価④	協働の着地点に向けてどの程度まで到達しているか	4/4点					
評価者	コメント	今後の課題として、より実効性の高い訓練を町防災訓練等に合せモデル地区設定を行い、取組んでいきます。						
	課名	福祉課	課(室・局)長氏名	小宮 好徳				
確認者	部名	保健福祉部	部長名	田辺 弘子				

開成町協働推進計画 実施計画 評価シート

事業 No.	22							
事業名	地域防犯力向上事業(かいせい防犯まちづくり事業)							
所管部課	部 名	町民サービス部	課 名	環境防災課				
総合計画上の位置付け	4	政策	安全で安心して暮らせるまち					
	3	施策	防犯・交通安全体制の充実					
	①	計画	地域防犯力の向上					
関連計画等								
協働の相手	自治会、小中学校、開成駅前連絡所ボランティア安全サポーター等防犯関係団体		協働の形態	事業協力				
実施の時期	随時		事業開始年度	平成18年度				
決算額	平成28年度	7,777 千円	事業の方向性	継続				
事業の概要	毎月10日の防犯の日に町内を巡回するとともに、開成駅前連絡所ボランティア安全サポーターが、毎週2回程度開成駅前周辺のパトロールを実施する。 防犯教室、防犯講習会、広報等により、防犯意識の啓発を図る。							
全体計画(目的)	町民総ぐるみで防犯運動を展開することにより、犯罪のない安全で安心なまちづくりの推進のため、関係団体との協働により、町、警察、学校、自治会との協働に努める。							
協働の指標	指 標	防犯パトロール回数						
	目 標 値	年 度	H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (予定)	H30 (予定)
		数 値	単 位:回	116	116	163	169	160
手 法	防犯教室、防犯講習会の開催、防犯パトロールによる見回り等(安全サポーターによる週2回実施及び月1回防犯の日の見回りの実施)							
協働の内容(役割分担)	<p>行政、警察、学校、自治会、自主防犯組織が、一緒に安全で安心して暮らせるまちづくりの推進を実行していく。</p> <p>行政 (1)防犯情報の広報 (2)防犯灯の設置、維持管理 (3)自主防犯組織への支援 (4)警察と連携した防犯講習会の開催</p> <p>警察 (1)地域のパトロール、取り締まり (2)防犯広報活動 (3)町と連携した防犯講習会の開催</p> <p>学校等 (1)防犯教育の推進</p> <p>自治会 (1)生徒児童等の登校時の見守り</p> <p>開成駅前連絡所ボランティア安全サポーター等自主防犯組織 (1)防犯パトロールの実施</p>							
協働の着地点	(1)協働相手が自立して事業運営を行う、(2)町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3)町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4)その他						1	
平成28年度の取り組み内容及び効果等	評価①	目標値に対し、効果的な事業手法(広報掲載、メール配信、防災行政無線等)、仕掛け作り(県との合同セミナー)で上回ることが出来た。 また、自転車の盗難が多く、防犯団体等によるパトロールを強化した。						
	評価②	防犯パトロールの実施や防犯対策等を推進啓発することで相互での共通認識、防犯意識が向上し、町民が安全・安心して快適に生活できるまちづくりが実現できている。						
	評価③	自主防犯団体に対して、警察との協力で研修会を実施、また防犯だけではなく、自主的に交通に関しても研修会を実施したことでパトロール時の自転車の乗り方についての注意等、防犯団体として駐在のような役割を担えるように幅広い知識の習得することが出来た。						
	評価④	警察、自治会、自主防犯団体など連携し、防犯力の向上が図られている。						
協働を進めるための課題と対策	団体の若年層の加入が不可欠。どうしても通年で事業を実施してきている中で意見が例年通りであり、マンネリ化している。新たなことに挑戦することで新たな切り口で活動を活発化させるには自治会より若年層の方を自主防犯団体に入れ、子供向けの防犯教室等、地域で取り組むことを目標に進めていく必要がある。							
平成28年度協働の評価	評価①	指標(目標値)に対する評価点数	4/4点		総合評価	A		
	評価②	目的を共有し、互いの役割分担ができたかどうかに対する評価点数	5/6点					
	評価③	協働相手の長所を理解し、協働相手の自主性を育み生かすことができたかに対する評価点数	6/6点					
	評価④	協働の着地点に向けてどの程度まで到達しているか	3/4点					
評価者	コメント	関係各団体と緊密に連携し、効果的な事業手法によって防犯対策等の推進啓発活動を展開することができた。						
	課 名	環境防災課	課(室・局)長氏名		渡辺 雅彦			
確認者	部 名	町民サービス部	部長名		石井 護			

開成町協働推進計画 実施計画 評価シート

事業 No.	23							
事業名	交通安全対策推進事業(交通安全運動の推進)							
所管部課	部 名	町民サービス部	課 名	環境防災課				
総合計画上の位置付け	4	政策	安全で安心して暮らせるまち					
	3	施策	防犯・交通安全対策の充実					
	②	計画	交通安全対策の充実					
関連計画等	開成町交通安全計画							
協働の相手	警察、学校、交通指導隊、各自治会			協働の形態	事業協力			
実施の時期	通年			事業開始年度				
決算額	平成28年度	3,048 千円		事業の方向性	継続			
事業の概要	警察、学校、交通指導隊、学校、自主防災会など関係機関が連携、協力して1日、15日の交通安全日及び交通安全重点日に朝の街頭指導をする。交通指導隊、警察、学校、町が連携し、小学校4年生に自転車運転免許講習、夏には自転車の安全乗り方教室を実施する。							
全体計画(目的)	交通安全と円滑な総合安全対策を実施することで交通事故の防止を図る。							
協働の指標	指 標	交通安全街頭指導、交通安全教室の回数						
	目 標 値	年 度	H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (予定)	H30 (予定)
		数 値	単 位:回	32	33	39	40	40
手 法	町、警察、交通指導隊、自治会、学校等各種団体と連携し、交通安全運動を推進する。							
協働の内容(役割分担)	町 (1)広報誌、キャンペーン等により交通安全意識の高揚を図る。 (2)各種交通安全運動の推進		警察 (1)交通安全指導、取り締まり (2)交通環境の整備 交通指導隊 (1)交通安全指導 (2)自転車乗り方指導					
協働の着地点	(1)協働相手が自立して事業運営を行う、(2)町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3)町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4)その他			2				
	他							
平成28年度の取り組み内容及び効果等	評価①	通年事業の登校指導に加え、各学校の学期始まりに集中して3日間程度行うことを始めたことで指標を大きく上回ることが出来た。						
	評価②	警察、園学校等、現在各々が抱えている課題に対してどういった計画をして解決していくか、問題点の洗い出しから交通安全教室の内容を組み立てていくことで連携した。またそういった現状に関する意見を吸い上げることで町総ぐるみで取り組むことができるということ園学校の意識の中で変化が出つつある。						
	評価③	どういったことが問題なのか、どういった方法で解決していくのか等、協働相手に当事者として考えてもらうことで、自身で検討してきた意見に対し、足りない部分を他機関に投げかけをし、より精査された意見を出そうとする工夫が芽生えており、成果として出てきている。						
	評価④	警察、学校、交通指導隊、自主防災会など関係機関が連携、協力し町ぐるみで交通安全対策に取り組んでいる。						
協働を進めるための課題と対策	今後とも交通安全意識を高めて行くため、関係機関と連携を密にし協働を進めて行く。							
平成28年度協働の評価	評価①	指標(目標値)に対する評価点数	4/4点				総合評価	A
	評価②	目的を共有し、互いの役割分担ができたかどうかに対する評価点数	6/6点					
	評価③	協働相手の長所を理解し、協働相手の自主性を育み生かすことができたかに対する評価点数	6/6点					
	評価④	協働の着地点に向けてどの程度まで到達しているか	3/4点					
評価者	コメント	警察、園学校等が、それぞれの課題を洗い出し、交通安全教室の計画段階から連携することができた。交通安全街頭指導、交通安全教室の実施回数についても学期始めの時期に集中して実施することで昨年度を上回ることができた。						
	課 名	環境防災課	課(室・局)長氏名	渡辺 雅彦				
確認者	部 名	町民サービス部	部長名	石井 護				

開成町協働推進計画 実施計画 評価シート

事業 No.	24							
事業名	自然環境保全事業(ホタルの里づくり推進事業)							
所管部課	部 名	町民サービス部	課 名	環境防災課				
総合計画上の位置付け	5	政策	自然が豊かで環境に配慮するまち					
	4	施策	自然環境の保全と再生					
	1	計画	水とみどりの保全と創出					
関連計画等								
協働の相手	ホタルの里づくり研究会、町民		協働の形態	補助・助成				
実施の時期	通年		事業開始年度					
決算額	平成28年度	44千円	事業の方向性	継続				
事業の概要	ホタル観賞会の開催、ホタル養殖管理など、ホタルの保護・育成をする。							
全体計画(目的)	自然と共生、融合したまちづくりを町民とともに進めることにより、ホタルや魚などの生息地を増やし、さまざまな生き物を守り育てる。							
協働の指標	指 標	ホタル観賞会の参加人数の増加						
	目 標 値	年 度	H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29	H30
		数値	単位:人	31	0	0	0	-
手 法	HP・おしらせ版等での周知。							
協働の着地点	(1)協働相手が自立して事業運営を行う、(2)町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3)町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4)その他			1				
協働の内容(役割分担)	<ul style="list-style-type: none"> ・行政 ホタルの里づくり研究会に対し火山礫やカワニナの助成や補助金の交付 ホタル養殖管理の委託 ・ホタルの里づくり研究会 ホタル養殖管理や保護活動の実施 ホタル乱獲防止の巡回 ホタルの放流 							
平成28年度の取り組み内容及び効果等	評価①	ホタルの鑑賞会は、講師が不在のため実施しなかった。						
	評価②	ホタルの保護、育成について、それぞれの役割を実施できた。						
	評価③	研究会が自主的に活動した。						
	評価④	協働相手である研究会が自立して事業を運営している。						
協働を進めるための課題と対策	研究会の会員の年齢が高齢化しているため、新規の会員を増やすことが必要。							
平成28年度協働の評価	評価①	指標(目標値)に対する評価点数	0/4点	総合評価	B			
	評価②	目的を共有し、互いの役割分担ができたかどうかに対する評価点数	6/6点					
	評価③	協働相手の長所を理解し、協働相手の自主性を育み生かすことができたかに対する評価点数	6/6点					
	評価④	協働の着地点に向けてどの程度まで到達しているか	3/4点			15/20点		
評価者	コメント	平成28年度、研究会に支援して、活動も行われている。						
	課 名	環境防災課	課(室・局)長氏名	山口 健一				
確認者	部 名	町民サービス部	部長名	石井 護				

開成町協働推進計画 実施計画 評価シート

事業 No.	25							
事業名	環境美化活動推進事業(かいせいクリーンデー)							
所管部課	部 名	町民サービス部			課 名	環境防災課		
総合計画上の位置付け	5	政策	自然が豊かで環境に配慮するまち					
	5	施策	良好な生活環境の保全と形成					
	1	計画	協働による環境美化活動の推進					
関連計画等	きれいなまちをつくる条例							
協働の相手	町民、事業者			協働の形態	事業協力			
実施の時期	年2回(7月、3月)			事業開始年度				
決算額	平成28年度	0千円		事業の方向性	継続			
事業の概要	かいせいクリーンデーを夏(7月)と春(3月)に年2回実施する。							
全体計画(目的)	清潔で美しいまちづくりの実現に向けた取り組みを進めるため、町民、自治会、企業等の協働による環境美化活動を通して、環境美化意識の向上を図る。							
協働の指標	指 標	かいせいクリーンデーの参加者数の増						
	目 標 値	年 度	H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29	H30
		数値	単位:人	8,838	9,256	9,331	9,895	9,900
手 法	HP、おしらせ版や回覧、環境美化推進協議会を通して自治会、企業等にかいせいクリーンデーへの参加を呼びかける。							
協働の内容(役割分担)	<ul style="list-style-type: none"> ・行政 かいせいクリーンデーを年2回実施する。また、当日に防災無線等により参加を呼びかける。 ・町内パトロールを実施し、土砂やごみについて担当課及び収集業者と調整し回収をする。 ・町民 かいせいクリーンデーへの参加。 ・事業者 クリーンデー実施時期に合わせて、事業所内や周辺の美化活動を実施。 							
協働の着地点	(1)協働相手が自立して事業運営を行う、(2)町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3)町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4)その他					3		
平成28年度の取り組み内容及び効果等	評価①	参加者が昨年より564人増え、目標を達成できた。						
	評価②	町は環境美化に関する取り組みを広報等により周知し、住民は各地域で美化活動を実施している。						
	評価③	各自治会において、自主的に美化活動を実施している。						
	評価④	町が計画し、実施した事業に多くの町民、事業者が参加できた。						
協働を進めるための課題と対策	課題:クリーンデーの実施方法、日時が早く決定できない。 対策:右岸土地改良区との事前調整を早く行い、自治会に実施方法を事前に説明する。							
平成28年度協働の評価	評価①	指標(目標値)に対する評価点数	4/4点			総合評価	A	
	評価②	目的を共有し、互いの役割分担ができたかどうかに対する評価点数	6/6点					
	評価③	協働相手の長所を理解し、協働相手の自主性を育み生かすことができたかに対する評価点数	5/6点					
	評価④	協働の着地点に向けてどの程度まで到達しているか	3/4点					18/20点
評価者	コメント	住民、事業所の参加者が年々増えており、美化活動が浸透している。今後も庁内美化活動の必要性をPRする。						
	課 名	環境防災課	課(室・局)長氏名		山口 健一			
確認者	部 名	町民サービス部	部長名		石井 護			

開成町協働推進計画 実施計画 評価シート

事業 No.	26							
事業名	環境美化啓発事業(落書き落しキャンペーン)							
所管部課	部名	町民サービス部	課名	環境防災課				
総合計画上の位置付け	5	政策	自然が豊かで環境に配慮するまち					
	5	施策	良好な生活環境の保全と形成					
	2	計画	環境美化意識の向上					
関連計画等	開成町環境基本計画、きれいなまちをつくる条例							
協働の相手	中学生(文命中学校)		協働の形態	事業協力				
実施の時期	通年(不定期)		事業開始年度					
決算額	平成28年度	0千円	事業の方向性	継続				
事業の概要	町内公共施設の落書きされている箇所について、学生の地域貢献活動の一環として、事業を通じて環境美化への理解と行動を推進する。							
全体計画(目的)	まちをきれいにしようとする心を育み、清潔で美しい町づくりを実現する。							
協働の指標	指標	落書き落しキャンペーン参加人数の増						
	目標値	年度	H25(実績)	H26(実績)	H27(実績)	H28(実績)	H29(予定)	H30
		数値	単位:人	-	-	-	-	-
手法	HP、広報、おしらせ版での周知。教育機関へのPR。							
協働の内容(役割分担)	<ul style="list-style-type: none"> 行政 <ul style="list-style-type: none"> 日程調整、教育機関への呼びかけ、調査。 キャンペーン当日の運営、物品準備、場所の選定。 学校 <ul style="list-style-type: none"> キャンペーンへの参加。 							
協働の着地点	(1)協働相手が自立して事業運営を行う、(2)町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3)町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4)その他						3	
平成28年度の取り組み内容及び効果等	評価①	町内公共施設に落書きがないため、実施しなかった						
	評価②							
	評価③							
	評価④							
協働を進めるための課題と対策								
平成28年度協働の評価	評価①	指標(目標値)に対する評価点数				-/4点	総合評価	-
	評価②	目的を共有し、互いの役割分担ができたかどうかに対する評価点数				-/6点		
	評価③	協働相手の長所を理解し、協働相手の自主性を育み生かすことができたかに対する評価点数				-/6点		
	評価④	協働の着地点に向けてどの程度まで到達しているか				-/4点		
評価者	コメント	町の公共施設等に落書きがなく、きれいな町づくりの周知ができている。今後も落書きをしないよう、PRをする。						
	課名	環境防災課	課(室・局)長氏名	山口 健一				
確認者	部名	町民サービス部	部長名	石井 護				

開成町協働推進計画 実施計画 H28評価シート

事業 No.	27							
事業名	道路緑化維持管理事業(緑地管理のボランティア)							
所管部課	部 名	まちづくり部	課 名	街づくり推進課				
総合計画上の位置付け	6	政策	都市の機能と景観が調和するまち					
	2	施策	安全・安心な道路の整備					
	③	計画	人に優しい道づくり					
関連計画等								
協働の相手	町民、町民公益活動団体、事業者		協働の形態	事業協力(アダプトプログラム)				
実施の時期	通年		事業開始年度	平成28年度				
決算額	平成28年度	0 千円	事業の方向性	継続				
事業の概要	町道の緑地帯の管理について、町民等のボランティアによる里親制度を導入する。							
全体計画(目的)	町民等のボランティアにより町道の緑地帯の一部を里親として管理いただき、環境美化意識の高揚及び適切な緑地帯の管理を図る。							
協働の指標	指 標	活動場所(団体等)の増						
	目 標 値	年 度	H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (予定)	H30 (予定)
		数値	箇所	-	-	-	0	0
手 法	おしらせ版による広報、自治会・企業等への案内							
協働の内容(役割分担)	<u>行政</u> ボランティア制度整備のための、事例調査、研究及び検討を行う。 <u>町民等</u> 未周知。							
協働の着地点	(1)協働相手が自立して事業運営を行う、(2)町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3)町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4)その他			1				
平成28年度の取り組み内容及び効果等	評価①	制度未整備のため、0箇所。						
	評価②	制度整備に向けて近隣市町の事例調査、研究を行った。						
	評価③	自主性を持って活動できるような制度の検討を行った。						
	評価④	制度整備に向けて調査・検討を進めている。						
協働を進めるための課題と対策	早急に制度を整備する。(平成30年度に目標5箇所を達成するため、早期に制度を施行する必要がある。)							
平成28年度協働の評価	評価①	指標(目標値)に対する評価点数	0/4点	総合評価 C 8/20点				
	評価②	目的を共有し、互いの役割分担ができたかどうかに対する評価点数	3/6点					
	評価③	協働相手の長所を理解し、協働相手の自主性を育み生かすことができたかに対する評価点数	3/6点					
	評価④	協働の着地点に向けてどの程度まで到達しているか	2/4点					
評価者	コメント	早急に制度の整備を行い、制定後は広く周知すること。						
	課 名	街づくり推進課	課(室・局)長氏名	高橋 清一				
確認者	部 名	まちづくり部	部長名	芳山 忠				

開成町協働推進計画 実施計画 評価シート

事業 No.	28							
事業名	公園維持管理事業(公園管理のボランティア)							
所管部課	部名	まちづくり部	課名	街づくり推進課				
総合計画上の位置付け	6	政策	都市の機能と景観が調和するまち					
	4	施策	公園・緑地の整備・保全					
	②	計画	身近な緑の整備・保全					
関連計画等								
協働の相手	町民、町民公益活動団体、事業者	協働の形態	事業協力(アダプトプログラム)					
実施の時期	通年	事業開始年度	平成24年度					
決算額	平成28年度	20千円	事業の方向性	継続				
事業の概要	町内全公園において公園ボランティアによる維持管理を促進する。							
全体計画(目的)	町内にある都市公園、農村公園、児童遊園地、ポケットパークなど全ての公園を対象に、町民等のボランティアにより美化活動を行うことにより、公園への愛着心と環境美化意識の高揚が図られる。							
協働の指標	指標	団体(人)の増						
	目標値	年度	H25(実績)	H26(実績)	H27(実績)	H28	H29	H30
		数値	団体(人)	2	5	6	10	11
手法	おしらせ版による広報、自治会・企業等への案内							
協働の内容(役割分担)	行政 新規登録団体(人)のアダプトサインの設置、登録者への用具等の支給 公園ボランティア ごみ収集、除草・草刈、花壇等の維持管理等							
協働の着地点	(1)協働相手が自立して事業運営を行う、(2)町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3)町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4)その他			1				
平成28年度の取り組み内容及び効果等	評価①	4団体増加した。						
	評価②	役割分担を十分明確にし、合意書を取り交わすことにより、目的を共有した。						
	評価③	ボランティア活動に必要な用具類を支給することで、登録団体(人)が自主性を持って活動していただいた。						
	評価④	協働の着地点まで近づくため、引き続きフォローアップしていきたい。						
協働を進めるための課題と対策	協働相手の活動内容の把握に努め、適切な支援をする必要がある。							
平成28年度協働の評価	評価①	指標(目標値)に対する評価点数	4/4点	総合評価 18/20点				
	評価②	目的を共有し、互いの役割分担ができたかどうかに対する評価点数	6/6点					
	評価③	協働相手の長所を理解し、協働相手の自主性を育み生かすことができたかに対する評価点数	5/6点					
	評価④	協働の着地点に向けてどの程度まで到達しているか	3/4点					
評価者	コメント	今後も、積極的な周知を行い、増加を図れるように努力すること。						
	課名	街づくり推進課	課(室・局)長氏名	高橋 清一				
確認者	部名	まちづくり部	部長名	芳山 忠				

開成町協働推進計画 実施計画 評価シート

事業 No.	29							
事業名	町の花あじさい維持管理事業(あじさいの里親)							
所管部課	部 名	まちづくり部		課 名	産業振興課			
総合計画上の位置付け	6	政策	都市の機能と景観が調和するまち					
	4	施策	公園・緑地の整備保全					
	③	計画	町の花あじさいの維持管理					
関連計画等								
協働の相手	あじさいの里親			協働の形態	事業協力(アダプトプログラム)			
実施の時期	通年			事業開始年度	平成20年			
決算額	平成28年度	20千円		事業の方向性	継続			
事業の概要	町の花であるあじさいの里親に住民等になってもらい、年間を通して管理をしてもらう。							
全体計画(目的)	里親になることにより、あじさいへの愛着を深め、花の維持管理をする意識向上につなげる。また、町の花あじさいを町内外多くの方に認知されることで、開成町のイメージアップを図る。							
協働の指標	指 標	あじさいの里親になった個人・団体の数						
	目 標 値	年 度	H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (予定)	H30 (予定)
		数値	単位:団体	35	35	36	38	41
手 法	各団体をはじめ、町内外への広く周知するため、ホームページ等活用。							
協働の内容(役割分担)	<p>行政</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里親の方へのあじさいの管理用品を支給する。 ・町民へあじさい里親制度の周知を行う。 <p>里親</p> <ul style="list-style-type: none"> ・与えられた場所の定期管理および担当区域の美化作業を行う。 							
協働の着地点	(1)協働相手が自立して事業運営を行う、(2)町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3)町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4)その他				1			
平成28年度の取り組み内容及び効果等	評価①	各種イベント時における制度のPRにより、新規の申込みが2団体あった。						
	評価②	新規申込団体に対し、管理に必要な物品を支給した。里親は定められた区域の定期的な維持管理(草刈り及び美化清掃)を行った。						
	評価③	里親があじさいの維持管理を行い、行政がその活動に対し必要なサポートを行ったことで、住民の町へのシビックプライドの醸成と町政への参画意識の形成につなげたことで、協働の町づくりを推進することができた。						
	評価④	里親と町との意見交換会を行うことで、文字通り「里親」として管理するあじさいに接してもらえるよう、里親の意識を促すことができた。						
協働を進めるための課題と対策	<p>課題: 更なる里親数の増加に向けて、あじさいの里親制度の周知徹底を図る。</p> <p>対策: おしらせ版、広報及び町HPへ掲載するとともに、町主催の各種イベント時におけるチラシ配布。</p>							
平成28年度協働の評価	評価①	指標(目標値)に対する評価点数	3/4点			総合評価	B	
	評価②	目的を共有し、互いの役割分担ができたかどうかに対する評価点数	6/6点					
	評価③	協働相手の長所を理解し、協働相手の自主性を育み生かすことができたかに対する評価点数	5/6点					
	評価④	協働の着地点に向けてどの程度まで到達しているか	3/4点					
評価者	コメント	協働の指標を達成するためには里親の数を今年と来年で7団体増やさなければならぬので、ターゲットを決めて依頼をするなどの積極的な活動が必要。協働の着地点としては、里親の一部に主体性が芽生えているので全体への波及を期待したい。						
	課 名	産業振興課	課(室・局)長氏名	遠藤 孝一				
確認者	部 名	まちづくり部	部長名	芳山 忠				

開成町協働推進計画 実施計画 評価シート(H28)

事業 No.	30							
事業名	町の花あじさい維持管理事業(あじさい剪定ボランティア)							
所管部課	部名	まちづくり部	課名 産業振興課					
総合計画上の位置付け	6	政策	都市の機能と景観が調和するまち					
	4	施策	公園・緑地の整備保全					
	③	計画	町の花あじさいの維持管理					
関連計画等								
協働の相手	町民・各団体	協働の形態	事業協力(アダプトプログラム)					
実施の時期	年1回(7月)	事業開始年度	平成8年					
決算額	平成28年度	5千円	事業の方向性 継続					
事業の概要	あじさいまつり期間終了後、あじさいの花の剪定をボランティアで行う。							
全体計画(目的)	あじさいの里内のあじさい剪定を、町民等のボランティアを募って行うことで、あじさいが町の花であることの認知度を高め、町民であることのシビックプライドを醸成し、住民の町制への参画意欲を形成する。							
協働の指標	指標	剪定ボランティア数の増加						
	目標値	年度	H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (予定)	H30 (予定)
		数値	単位:人	539	462	442	488	500
手法	ホームページ等を利用した周知やあじさいまつり会場での周知の実施							
協働の内容(役割分担)	<p>行政</p> <p>(1)剪定作業に必要な備品の確保 (2)剪定ボランティアの募集周知</p> <p>剪定ボランティア</p> <p>(1)剪定作業</p>							
協働の着地点	(1)協働相手が自立して事業運営を行う、(2)町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3)町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4)その他						1.	
平成28年度の取り組み内容及び効果等	評価①	近年参加人数が減少傾向にあった剪定ボランティア事業であったが、イベント時に積極的にPRしてきたのが奏功し、増加傾向にある。						
	評価②	ボランティアには短時間ながら集中して剪定をしてもらうことができた。町は、熱中症対策のために交差入りのキーパーを要所に配置するなどボランティアが活動しやすい環境づくりに努めた。						
	評価③	あじさいの里親には里親として管理しているあじさいを、あじさいまつり出店者には出店エリアの周辺のあじさいを剪定してもらうように作業エリアを割り振った。						
	評価④	分担箇所剪定後、他の団体等のフォローに回る人が多くなり、毎年剪定がなかなか終わらない箇所も早めに終えることができた。						
協働を進めるための課題と対策	「体験」を求めて色々な事業に参加する人が多くなる傾向にある中、体験要素を色濃く持つあじさい剪定ボランティアの参加者数が減少を続けている。「体験」をキーワードにした事業周知を進める。							
平成28年度協働の評価	評価①	指標(目標値)に対する評価点数	4/4点				総合評価	A
	評価②	目的を共有し、互いの役割分担ができたかどうかに対する評価点数	6/6点					
	評価③	協働相手の長所を理解し、協働相手の自主性を育み生かすことができたかに対する評価点数	6/6点					
	評価④	協働の着地点に向けてどの程度まで到達しているか	3/4点					
評価者	コメント	参加者は、毎年恒例行事的に参加していただいている団体が主である。今後、町内企業等への協力の呼びかけに注力する。また、あじさいまつり出店者については受益者負担の観点から協力要請を強化する。						
	課名	産業振興課	課(室・局)長氏名	遠藤 孝一				
確認者	部名	まちづくり部	部長名	芳山 忠				

開成町協働推進計画 実施計画 評価シート

事業 No.	31							
事業名	商工振興支援事業(開成町阿波おどり)							
所管部課	部 名	まちづくり部	課 名	産業振興課				
総合計画上の位置付け	7	政策	個性豊かな産業と文化を育成するまち					
	1	施策	商工業の振興					
	①	計画	商工業の振興					
関連計画等	開成阿波おどり実行委員会規約							
協働の相手	開成阿波おどり実行委員会		協働の形態	実行委員会・協議会				
実施の時期	年1回		事業開始年度	平成9年				
決算額	平成28年度	2,200 千円	事業の方向性	継続				
事業の概要	開成阿波おどり実行委員会と開成阿波おどり連協会が協力して、阿波おどりの企画立案を行い、開成三大祭である「開成町阿波おどり」を開催する。							
全体計画(目的)	町民相互並びに近隣地域との交流を深め、更に観光資源としても対外的にPRをし、町商工のより一層の振興を図ることを目的とする。							
協働の指標	指 標	観光客数						
	目標値	年 度	H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (予定)	H30 (予定)
		数値 単位:人	10,000	11,000	11,000	11,000	12,000	12,000
手 法	町民相互並びに近隣地域との交流を深め、更に観光資源としても対外的にPRをする。							
協働の内容(役割分担)	<p>行政</p> <p>(1)町内外連の阿波おどりへの誘致をする。</p> <p>(2)実行委員会の事務及び会計を処理する。</p> <p>(3)実行委員会へ補助金を支出する。</p> <p>(4)開成町商工振興会や町内の商店等の出店場所を確保する。</p> <p>実行委員会</p> <p>(1)開成阿波おどりの企画立案をする。</p> <p>(2)開成阿波おどりの運営に携わる。</p>							
協働の着地点	(1)協働相手が自立して事業運営を行う、(2)町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3)町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4)その他			1				
平成28年度の取り組み内容及び効果等	評価①	行政・実行委員会で周知を行い、目標値を達成することができた。						
	評価②	行政・実行委員会で役割分担をして企画立案から運営を行い、阿波おどりを滞りなく開催することができた。						
	評価③	実行委員会を2回開催し、実行委員の意見を集め、運営に反映をさせることができた。						
	評価④	実行委員や関係団体がそれぞれの役割を認識できた。						
協働を進めるための課題と対策	実行委員会の自主性が欠けるところがあるため、目的の共有や役割分担を明確化し、実行委員会の自主性を育んでいく。							
平成28年度協働の評価	評価①	指標(目標値)に対する評価点数	4/4点	総合評価 B 17/20点				
	評価②	目的を共有し、互いの役割分担ができたかどうかに対する評価点数	6/6点					
	評価③	協働相手の長所を理解し、協働相手の自主性を育み生かすことができたかに対する評価点数	5/6点					
	評価④	協働の着地点に向けてどの程度まで到達しているか	2/4点					
評価者	コメント	平成29年度は第30回の節目の年であるため、運営方法や広報事業を見直して、さらに町民・自治会連・自治会に親しまれる体制を構築する。また、メディアの活用を有効にし、広報できるよう進めてほしい。						
	課 名	産業振興課	課(室・局)長氏名	辻藤 孝一				
確認者	部 名	まちづくり部	部長名	芳山 忠				

開成町協働推進計画 実施計画 評価シート(H28)

事業 No.	32							
事業名	観光対策推進事業(開成町あじさいまつり)							
所管部課	部名	まちづくり部	課名	産業振興課				
総合計画上の位置付け	7	政策	個性豊かな産業と文化を育成するまち					
	4	施策	観光の推進					
	①	計画	年間を通じた観光事業の推進					
関連計画等	開成町あじさいまつり実行委員会会則							
協働の相手	開成町あじさいまつり実行委員会		協働の形態	実行委員会・協議会				
実施の時期	6月開催(実行委員会は年3回)		事業開始年度	昭和63年度				
決算額	平成28年度	4,100 千円	事業の方向性	継続				
事業の概要	町の観光資源であるあじさいを核として開成町を広く対外的にPRし、町民参加のもと、魅力と個性の創出の場として活用し、地域産業の発展につなげることを目的に、開成町あじさいまつり実行委員会を組織し、開成あじさいまつりを開催する。							
全体計画(目的)	開成町あじさいまつり実行委員会会議を開催し、開成町あじさいまつりの企画立案及び運営をすることにより、町全体であじさいまつりを盛り上げる。							
協働の指標	指標	来園者数						
	目標値	年・度	H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (予定)	H30 (予定)
		数値 単位:人	205,000	182,000	216,000	210,000	210,000	210,000
手法	ホームページの活用や企業の協力、PRイベントの開催。							
協働の内容(役割分担)	行政 (1)実行委員会の事務及び会計の処理 (2)実行委員会へ補助金を支出 実行委員会 (1)あじさいまつりの企画立案 (2)あじさいまつりの運営に携わる。							
協働の着地点	(1)協働相手が自立して事業運営を行う、(2)町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3)町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4)その他			1				
平成28年度の取り組み内容及び効果等	評価①	行政・実行委員会でキャンペーンを実施し多くの方に周知する事ができた。						
	評価②	行政・実行委員会で役割分担をして企画立案から運営を行い、あじさいまつりを滞りなく開催することができた。キッチンカーを試行的に導入して飲食物の提供をする環境の充実化を図り、関係団体における当事者意識を高め、イベントを行政・実行委員会が一緒になって盛り上げることが大切であるという共通理解を促した。						
	評価③	実行委員会を3回開催し、実行委員の意見を集め、運営に反映をさせることができた。						
	評価④	町各種団体の協力を得られた。						
協働を進めるための課題と対策	行政の役割分担の比率が多く、実行委員会の自主性が欠けてしまっているため、役割分担を見直ししていく。							
平成28年度協働の評価	評価①	指標(目標値)に対する評価点数	4/4点	総合評価 B 16/20点				
	評価②	目的を共有し、互いの役割分担ができたかどうかに対する評価点数	5/6点					
	評価③	協働相手の長所を理解し、協働相手の自主性を育み生かすことができたかに対する評価点数	5/6点					
	評価④	協働の着地点に向けてどの程度まで到達しているか	2/4点					
評価者	コメント	30回にむけてのイベントの企画立案を早期にし、動き出しを早くし、タイムスケジュールに沿ってこの先軸となる案の作成をし、菟野町等の協力の要請は早めにする。先にタスクリストを作成し、仕事の落ちがないように進める必要がある。						
	課名	産業振興課	課(室・局)長氏名	遠藤 孝一				
確認者	部名	まちづくり部	部長名	芳山 忠				

開成町協働推進計画 実施計画 評価シート

事業 No.	33							
事業名	観光対策推進事業（瀬戸屋敷ひなまつり）							
所管部課	部 名	まちづくり部	課 名	産業振興課				
総合計画上の位置付け	7	政策	個性豊かな産業と文化を育成するまち					
	4	施策	観光の推進					
	②	計画	広域観光の推進					
関連計画等	瀬戸屋敷ひなまつり実行委員会規約							
協働の相手	瀬戸屋敷ひなまつり実行委員会	協働の形態	実行委員会・協議会					
実施の時期	年1回(2月)	事業開始年度	平成20年度					
決算額	平成28年度	0千円	事業の方向性	継続				
事業の概要	瀬戸屋敷を活用して、伝統的な年中行事であるひなまつりを後世に伝承する。							
全体計画(目的)	地域の活性化に繋がる魅力ある誘客事業を実施し、地域の産業の発展及び振興に資することを目的とする。							
協働の指標	指 標	来園者数						
	目標値	年 度	H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (予定)	H30 (予定)
		数値	単位:人	12,468	14,082	16,745	14,550	15,000
手 法	地域の活性化に繋がる魅力ある誘客事業を実施する。							
協働の内容(役割分担)	<p>瀬戸屋敷を活用して、「瀬戸屋敷ひなまつり」を運営し、町内外から多くの来園者を誘致し、町の観光資源の発信をしている。</p> <p>行政 (1)実行委員会の事務及び会計処理 (2)実行委員会へ補助金を交付</p> <p>実行委員会 (1)瀬戸屋敷ひなまつりの企画立案 (2)瀬戸屋敷ひなまつりの運営に携わる。</p>							
協働の着地点	(1)協働相手が自立して事業運営を行う、(2)町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3)町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4)その他			1				
平成28年度の取り組み内容及び効果等	評価①	行政・実行委員会が協力してPR活動をすることができた。						
	評価②	行政・実行委員会で役割分担をして企画立案から運営を行い、瀬戸屋敷ひなまつりを滞りなく開催することができた。						
	評価③	瀬戸屋敷ひなまつりの準備、運営の役割分担を明確化し、それぞれの役割に取り組めた。						
	評価④	実行委員や関係団体の自主性を促すことができた。						
協働を進めるための課題と対策	実行委員会主導で運営をするところまで至っていないため、自主性を高めていく。							
平成28年度協働の評価	評価①	指標(目標値)に対する評価点数	3/4点	総合評価	B			
	評価②	目的を共有し、互いの役割分担ができたかどうかに対する評価点数	5/6点					
	評価③	協働相手の長所を理解し、協働相手の自主性を育み生かすことができたかに対する評価点数	5/6点					
	評価④	協働の着地点に向けてどの程度まで到達しているか	3/4点					
評価者	コメント	春先のイベントとして定着した雛まつりは、今後地域の連携を深め、特にメディアを活用し、広く広報をし、開成町を代表するまつりの1つとして発信していきたい。また、瀬戸屋敷を会場として利用することで町民に親しまれる観光施設にしていきたい。						
	課 名	産業振興課	課(室・局)長氏名	遠藤 孝一				
確認者	部 名	まちづくり部	部長名	芳山 忠				

開成町協働推進計画 実施計画 評価シート

事業 No.	34							
事業名	職員研修事業(協働意識向上のための研修)							
所管部課	部名	行政推進部	課名	総務課				
総合計画上の位置付け	8	政策	効率的な自治体経営を進めるまち					
	1	施策	効率的な自治体運営の推進					
	③	計画	適正な人事管理と人材育成					
関連計画等	開成町人材育成方針、開成町職員研修基本計画							
協働の相手	自治会長等(講師として)		協働の形態	その他(職員研修)				
実施の時期	年3回		事業開始年度	平成17年度				
決算額	平成28年度	研修負担金を含む千円	事業の方向性	継続				
事業の概要	神奈川県市町村振興協会市町村研修センターが実施する「住民との協働研修」などの協働に係る研修を職員に受講させる。また、自治会長等を講師とした地域づくりに関する庁内研修を実施する。							
全体計画(目的)	年3回開講される神奈川県市町村振興協会市町村研修センターの「住民との協働研修」を中堅職員の必須研修とすることで、その後従事する各種事業を住民との協働による展開に結びつけたり変容させたりなどの効果を生み、よりよいまちづくりの一助とする。 このほかの協働に係る職員研修のあっせんや企画運営など、上記研修と同様の効果をめざす。							
協働の指標	指標	「住民との協働研修」受講人数						
	目標値	年度	H25(実績)	H26(実績)	H27(実績)	H28(実績)	H29(予定)	H30(予定)
		数値	単位:人	2	5	2	1	4
手法	研修計画の周知徹底、協働に係る研修の掘り起し							
協働の内容(役割分担)	○必須研修…研修計画に協働に関する研修を盛り込む。職員の受講促進、受講手続、派遣 ○その他…研修の掘り起し、あっせん。企画運営							
協働の着地点	(1)協働相手が自立して事業運営を行う、(2)町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3)町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4)その他							
平成28年度の取り組み内容及び効果等	評価①	目標値2人に対して受講者は1人だったが、目標設定した市町村研修センターの派遣とは別に、大井町と合同で担当マネージャー職を対象に「協働研修」を実施し、19人が受講した。これにより住民等との協働についての知識をより深めることができたため、評価は4点とする。						
	評価②	受講の際は、目標設定を行った上で受講した。						
	評価③	受講後に目標設定に対する評価、また研修受講の報告により、研修効果を高め、研修内容の実践につなげられた。						
	評価④	研修を受けたことにより、理解が深まり事業着手への一助となっている。						
協働を進めるための課題と対策	研修受講予定者が、業務の都合で研修を受講できないことがあるので、予定通りの実施が課題となっている。							
平成28年度協働の評価	評価①	指標(目標値)に対する評価点数	4/4点				総合評価	A
	評価②	目的を共有し、互いの役割分担ができたかどうかに対する評価点数	6/6点					
	評価③	協働相手の長所を理解し、協働相手の自主性を育み生かすことができたかに対する評価点数	6/6点					
	評価④	協働の着地点に向けてどの程度まで到達しているか	4/4点					
評価者	コメント	目標値2人に対して、目標外の研修を含め14人受講し、職員が協働を進める上での知識を習得することができた。						
	課名	総務課	課(室・局)長氏名	山口 哲也				
確認者	部名	行政推進部	部長名	秋谷 勉				

開成町協働推進計画

実施計画 H29

平成29年10月



開成町協働推進計画 実施計画 H29

事業 No.	1							
事業名	協働のまちづくり推進事業(町民活動応援事業)							
所管部課	部 名	町民サービス部			課 名	自治活動応援課		
総合計画上の位置付け	1	政策	町民主体の自治と協働を進めるまち					
	1	施策	町民主役のまちづくりの推進					
	①	計画	協働によるまちづくりの推進					
関連計画等	開成町民活動応援事業実施要綱							
協働の相手	町民公益活動団体			協働の形態		補助・助成		
実施の時期	通年			事業開始年度		平成24年度		
予算額	平成29年度	600 千円		事業の方向性		平成29年度で完了		
事業の概要	平成24年度から平成26年度までの3か年で「町民活動応援事業」を実施し、様々な分野で活動する団体等に対して資金面での支援をしてきたが、さらに町民公益活動を促進するため、平成27年度以降も制度を一部変更し、ステップアップコースとして平成29年度まで延長し、継続実施する。なお、応募事業の採択については、審査会を開催し審査のうえ決定する。							
全体計画(目的)	公共の利益に寄与する活動の活性化を図り、協働のまちづくりを促進することを目的に、町民が自発的・自主的に企画・立案し実施する町民活動事業に対して町が資金的な支援を行う。							
協働の指標	指 標	町民活動応援事業の採択事業(団体)数						
	目標値	年 度	H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (予定)	H30 (予定)
		数値	単位:事業	8	10	8	7	10
手 法	広報誌、ホームページ等を活用し広く制度を周知するとともに、これまでの採択団体にも周知を図る。							
協働の内容(役割分担)	<p>行政</p> <p>(1)募集及び申請受付(おしらせ版、ホームページ等による募集、申請時の相談・受付)</p> <p>(2)審査会の開催、交付決定通知書の送付、各採択事業(団体)を広報媒体により周知</p> <p>(3)事業実績報告書の受付、事業報告会の開催</p> <p>町民公益活動団体</p> <p>(1)町民活動応援事業の申請</p> <p>(2)審査会での企画説明、事業の実施</p> <p>(3)事業終了後実績報告の提出、事業報告会での報告</p>							
協働の着地点	4	(1)協働相手が自立して事業運営を行う、(2)町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3)町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4)その他						
協働の効果	町民が自発的・自主的に企画・立案し実施する公共の利益に寄与する活動に対し、資金的支援を行うことで、町民公益活動団体の活性化を図り、協働のまちづくりを一層進めていくことができる。							

開成町協働推進計画 実施計画 H29

事業 No.	2							
事業名	広報広聴事業(まちづくり町民集会)							
所管部課	部 名	行政推進部			課 名	企画政策課		
総合計画上の位置付け	1	政策	町民主体の自治と協働を進めるまち					
	1	施策	町民主役のまちづくりの推進					
	②	計画	開かれた町政の推進					
関連計画等	開成町まちづくり町民集会実施要綱							
協働の相手	町民、自治会			協働の形態	情報交換			
実施の時期	年1回(各地区ごと)			事業開始年度	平成14年度以前			
予算額	平成29年度	0千円		事業の方向性	継続			
事業の概要	町の施策を町民に伝え、町政に対する理解を深めるとともに、町長と町民が直接対話する「まちづくり町民集会」を開催する。							
全体計画(目的)	町が各種計画等の策定段階から、町民の意見等に反映すること、町民と行政がともにまちづくりを進めていくという連帯意識と自治意識の高揚を図る機会とすることを目的とし、毎年テーマや実施時期をを検討し年1回以上開催する。テーマや開催時期にもよるが、基本的には各自治会を地区ごとにブロック分けして開催する。							
協働の指標	指 標	恒常的な参加者の維持(町民集会の参加者数)						
	目標値	年 度	H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (予定)	H30 (予定)
		数値	単位:人	418	113	216	336	300
手 法	参加促進を図るよう、関心を持って頂けるテーマの設定し、自治会を通じて、参加に向けての周知を広く図る。							
協働の内容(役割分担)	[行政] (1)テーマ・会場の設定、ちらしの作成、自治会長連絡協議会との調整等の準備 (2)開催当日の運営 [自治会] (1)回覧等により周知を図る。 (2)開催当日の受付等 [町民] (1)集会に参加し、情報や意見交換をする。							
協働の着地点	3	(1)協働相手が自立して事業運営を行う、(2)町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3)町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4)その他						
協働の効果	町民の町政に対する意見や要望を的確に把握することができる。							

開成町協働推進計画 実施計画 H29

事業 No.	3							
事業名	地域情報化推進事業(SNSによる情報発信)							
所管部課	部名	行政推進部			課名	企画政策課		
総合計画上の位置付け	1	政策	町民主体の自治と協働を進めるまち					
	1	施策	町民主役のまちづくりの推進					
	②	計画	開かれた町政の推進					
関連計画等								
協働の相手	町民等			協働の形態	情報提供			
実施の時期	通年			事業開始年度	平成25年度			
予算額	平成29年度	0千円		事業の方向性	継続			
事業の概要	町民との相互通信システムの構築の検討を進めるため、その礎として、まずは、Facebookによる情報発信を実施し、町民等からは発信情報に対するコメントを投稿してもらい取り組みを行う。Facebookには、毎日1つ以上の新鮮な情報を掲載する。							
全体計画(目的)	行政情報と町民の声の相互が入手しやすい環境が整うことにより、協働によるまちづくりの実現を図る。							
協働の指標	指標	町公式Facebookページに対する「いいね！」の数						
	目標値	年度	H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (予定)	H30 (予定)
		数値	単位:件	230	450	755	980	1100
手法	日々の出来事、旬な情報を厳選し、タイムリーに掲載する。							
協働の内容(役割分担)	<p>[行政] 町の魅力を町内外に発信し、まちづくりの旬の情報や広報紙等では取り上げられない日々の出来事に関する情報を提供する。 Facebookだけでなく、インスタグラム、ツイッターなど、ターゲットにあわせ、様々なSNSを活用し発信していく。</p> <p>[町民等] 行政からの発信情報に対するコメント等を投稿する。</p>							
協働の着地点	4	(1)協働相手が自立して事業運営を行う、(2)町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3)町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4)その他						
協働の効果	町民と行政との情報の共有を進めることにより、町民参画意識が高まり、協働によるまちづくりの実現が図れる。							

開成町協働推進計画 実施計画 H29

事業 No.	4							
事業名	自治会運営推進事業(地域リーダー育成研修会)							
所管部課	部 名	町民サービス部			課 名	自治活動応援課		
総合計画上の位置付け	1	政策	町民主体の自治と協働を進めるまち					
	1	施策	町民主役のまちづくりの推進					
	③	計画	町民活動の支援					
関連計画等								
協働の相手	自治会、町民			協働の形態	その他(研修)			
実施の時期	年3回(8月～12月)			事業開始年度	平成25年度			
予算額	平成29年度	40 千円		事業の方向性	継続			
事業の概要	協働のまちづくり推進事業の一環として、平成25年度から地域の人材育成を目的に、地域リーダー育成研修会(年間3日・6講座)を開催する。							
全体計画(目的)	自治会の役員の方や、地域のきずなづくりを実践したい方など、多くの自治会員に地域活動への参加促進の仕組みづくりや、地域課題の発見と解決の手法を学ぶことから、自治会の人材育成を支援し、地域活動の活性化を促進することを目的に、地域リーダー育成研修会を開催する。							
協働の指標	指 標	研修会の受講者数(延べ人数)						
	目 標 値	年 度	H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (予定)	H30 (予定)
		数値	単位:人	83	94	71	89	100
手 法	関心を持って頂けるテーマ及び講師を選定し、自治会を通じた参加依頼及びおしらせ版による周知により参加促進を図る。							
協働の内容(役割分担)	<p>行政</p> <p>(1)テーマ・講師の選定、日程調整等の準備。(今年度は防災講座[危機管理担当]と一部連携して実施)</p> <p>(2)自治会会議での参加依頼、おしらせ版、HP、Facebookへ募集記事の掲載</p> <p>(3)開催当日の準備・運営</p> <p>自治会・町民</p> <p>(1)研修会開催の周知、自治会役員からの参加要請</p> <p>(2)研修会で講座を受講し意見交換等をする。</p>							
協働の着地点	4	(1)協働相手が自立して事業運営を行う、(2)町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3)町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4)その他						
協働の効果	地域(自治会)の人材育成を支援することで、地域における町民公益活動の活性化につなげる。							

開成町協働推進計画 実施計画 H29

事業 No.	5								
事業名	自治会運営推進事業(自治会加入促進)								
所管部課	部 名	町民サービス部			課 名	自治活動応援課			
総合計画上の位置付け	1	政策	町民主体の自治と協働を進めるまち						
	1	施策	町民主役のまちづくりの推進						
	③	計画	町民活動の支援						
関連計画等	自治会交付金交付要綱								
協働の相手	自治会			協働の形態	事業協力				
実施の時期	通年			事業開始年度					
予算額	平成29年度	12,169 千円		事業の方向性	継続				
事業の概要	自治会の加入率100%を目指し、自治会が抱える課題、特に自治会加入率の向上に向けた課題解決のため、行政と自治会が連携し、加入促進に取り組む。								
全体計画(目的)	協働のまちづくりを推進するため、協働の重要な担い手である自治会の加入率100%を目指す。								
協働の指標	指 標	自治会加入率							
	目標値	年 度		H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (予定)	H30 (予定)
		数値	単位:人	80.0	79.3	83.7	81.9	90	90
手 法	加入率が低下傾向にあるため、行政と自治会が連携し、加入率向上に向けて課題を解決する策を講じる。								
協働の内容(役割分担)	<p>行政</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)自治会加入促進マニュアル、ちらしの作成 (2)自治会加入促進の協力に関する宅建協会との協力 (3)転入者に対し役場窓口で自治会加入の案内 (4)広報媒体による自治会活動の紹介 (5)みなみ自治会設立のための側面支援(HPへの情報掲載、打合せ等) <p>自治会</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)役員等による戸別訪問等の自治会加入活動 (2)自治会内での助け合いによる運営(退会の防止) <p>※行政と自治会が連携し、自治会加入率の向上に向けて、課題解決や促進対策に取り組む。</p>								
協働の着地点	1	(1)協働相手が自立して事業運営を行う、(2)町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3)町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4)その他							
協働の効果	協働に重要な担い手である自治会の加入率を向上することで、自治会(地域)の活動が活性化する。								

開成町協働推進計画 実施計画 H29

事業 No.	6							
事業名	男女共同参画推進事業(かいせい男女共同参画推進ボランティア)							
所管部課	部 名	町民サービス部			課 名	自治活動応援課		
総合計画上の位置付け	1	政策	町民主体の自治と協働を進めるまち					
	1	施策	町民主役のまちづくりの推進					
	④	計画	対等な社会参画の推進					
関連計画等	第3次かいせい男女共同参画プラン							
協働の相手	かいせい男女共同参画推進ボランティア(町民)			協働の形態	事業協力			
実施の時期	年2～3回(会議等)			事業開始年度	平成14年			
予算額	平成29年度	194 千円		事業の方向性	継続			
事業の概要	かいせい男女共同参画推進ボランティアの協力により、男女共同参画社会の早期実現に向けて、各種施策を地域に浸透させ、推進を図る。							
全体計画(目的)	かいせい男女共同参画推進ボランティアの協力により、講演会の開催や情報誌の発行などを通じて、町の男女共同参画推進を図る。							
協働の指標	指 標	かいせい男女共同参画推進ボランティア委嘱人数(定員10人)						
	目 標 値	年 度	H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (予定)	H30 (予定)
		数 値	単 位:人	3	3	4	4	5
手 法	かいせい男女共同参画推進ボランティアの活動成果を積極的に広報する。							
協働の内容(役割分担)	<p>行政</p> <ul style="list-style-type: none"> ①各種施策の推進を図る。 ②上記ボランティア活動に係る責任を有する。 <p>かいせい男女共同参画推進ボランティア(町民)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①男女共同参画啓発情報誌の編集・発行 ②男女共同参画プランの各種事業への協力 ③男女共同参画の推進に資する自主活動 <p>※今年度は、講演会ではなくワークショップ(ワールドカフェ方式)を開催し、講演会とは違う視点で男女共同参画を考えていく。</p>							
協働の着地点	1	(1)協働相手が自立して事業運営を行う、(2)町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3)町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4)その他						
協働の効果	男女が対等な社会参画が実現できる。							

開成町協働推進計画 実施計画 H29

事業 No.	7							
事業名	子育て支援事業(ファミリー・サポート・センター事業)							
所管部課	部 名				課 名	子ども・子育て支援室		
総合計画上の位置付け	2	政策	未来を担う子どもたちを育むまち					
	1	施策	子育て環境の充実					
	2	計画	子育て支援の充実					
関連計画等	開成町子ども・子育て支援事業計画							
協働の相手	町民			協働の形態	その他(支援)			
実施の時期	通年			事業開始年度	平成26年度			
予算額	平成29年度	16,734 千円		事業の方向性	継続			
事業の概要	育児の援助を受けたい人と援助をしたい人が会員登録を行い、会員間で子どもの預かり等の相互援助活動を実施する。 【運営委託により平成26年9月に相互援助活動を開始】							
全体計画(目的)	相互援助活動を行うことで子育て支援体制の整備、児童福祉の向上及び地域におけるコミュニティの活性化を図る。							
協働の指標	指 標	新規会員の登録者数						
	目標値	年 度	H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (予定)	H30 (予定)
		数値	単位:人	-	61	38	44	30
手 法	広報等を通じ事業をピーアールしていく。							
協働の内容(役割分担)	行政 ・子育て支援体制を整備するとともに、事業のピーアールを行い援助が必要な会員の登録を進める。 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> 町民 ・子育てに関する相互援助活動を通じ地域における新たな人間関係を構築し、地域コミュニティに参画していく。							
協働の着地点	1	(1)協働相手が自立して事業運営を行う、(2)町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3)町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4)その他						
協働の効果	主体的な地域における子育て相互援助活動を構築する。							

開成町協働推進計画 実施計画 H29

事業 No.	8							
事業名	母子保健事業(母子保健推進員活動)							
所管部課	部 名	保健福祉部			課 名	保険健康課		
総合計画上の位置付け	2	政策	未来を担う子供たちを育むまち					
	1	施策	保育環境の充実					
	③	計画	母子保健の充実					
関連計画等	健康増進計画(食育推進計画含)・子ども子育て支援計画							
協働の相手	母子保健推進員			協働の形態	事業協力			
実施の時期	通年			事業開始年度	平成6年度			
予算額	平成29年度	525 千円		事業の方向性	継続			
事業の概要	町が行う母子保健事業の充実を図るため、協力体制を確立する。地域における母子の健康問題の把握とネットワークづくりと見守りを目的として活動する。(21名:任期は3年)							
全体計画(目的)	母子保健の研修を積みながら、町からの依頼で声かけ訪問(3か月・7か月・1歳6か月児)・離乳食講習会への託児協力・あじさい健診や子ども心の健康教室等の託児協力・地域での見守りや相談などを通年で行う。							
協働の指標	指 標	3歳児健診受診率:95%						
	目標値	年 度	H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (予定)	H30 (予定)
		数値	単位:%	100	100	98.8	97.2	98
手 法	健診の必要性を啓発していく。							
協働の内容(役割分担)	<p>行政(町): 研修・母子保健の課題の情報提供と声掛け訪問協力依頼。また、今年度は子育て中親子が安心して外出できるまちづくり推進として「赤ちゃんの駅事業」を行うための、地域資源の把握調査を依頼。</p> <p>母子保健推進員: 乳幼児声かけ訪問(3か月・7か月・1歳6か月児)・離乳食講習会・あじさい健診等母子保健事業の託児協力・地域での見守りや相談などを行う。町内の子育て資源の現状調査を行う。</p>							
協働の着地点	2	(1)協働相手が自立して事業運営を行う、(2)町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3)町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4)その他						
協働の効果	声掛け訪問等で直接育児中の親子と接する機会が多い推進員の意見を聞くことや、町からの必要な情報を丁寧に伝達していくことで、全体の母子保健の向上につながる。							

開成町協働推進計画 実施計画 H29

事業 No.	9							
事業名	小・中学生の地域活動への参加促進							
所管部課	部 名				課 名	教育総務課		
総合計画上の位置付け	2	政策	未来を担う子ども達を育むまち					
	3	施策	学校教育の充実					
	①	計画	教育活動の充実					
関連計画等	教育振興基本計画							
協働の相手	町民			協働の形態		事業協力		
実施の時期	通年			事業開始年度				
予算額	平成29年度	0 千円		事業の方向性		拡大		
事業の概要	町内駅伝競走大会など小・中学生が地域の活動に参加するとともに、防災訓練のように地域の一員として貢献できる場面は多くある。このような機会を確保していく。							
全体計画(目的)	地域と関わる場面を通じ、子どもたちに地域の一員としての自覚の芽生えを促し、地域に貢献できる人材を育成する。							
協働の指標	指 標	小・中学生が地域と関わる事業数						
	目 標 値	年 度	H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (予定)	H30 (予定)
		数 値	単位:事業	11	11	13	15	18
手 法	さまざまな場面で小・中学生が地域と関わる場面を確保する。							
協働の内容(役割分担)	<p><u>行政・教育機関</u> ・子ども達が地域に参画する機会を多く設ける。</p> <p><u>地域・町民</u> ・地域の一員として子ども達を受け入れ、活躍できる場面を増やす。</p>							
協働の着地点	2	(1)協働相手が自立して事業運営を行う、(2)町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3)町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4)その他						
協働の効果	町長の目指す明るい挨拶が交わされる町づくりに近づける。子どもたちが元気で活気があり、それが地域に波及していくことで地域全体が活気づくことにつながる。							

開成町協働推進計画 実施計画 H29

事業 No.	10							
事業名	コミュニティ・スクール推進事業							
所管部課	部 名					課 名	教育総務課	
総合計画上の位置付け	2	政策	未来を担う子ども達を育むまち					
	3	施策	学校教育の充実					
	②	計画	教育体制の充実					
関連計画等	教育振興基本計画							
協働の相手	町民等			協働の形態	実行員会・協議会			
実施の時期	通年			事業開始年度	平成22年度			
予算額	平成29年度	456 千円		事業の方向性	継続			
事業の概要	<p>子どもたちの「生きる力」を育むことを目的に、学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)を平成22年4月に開成小学校、文命中学校に、平成24年5月には開成南小学校に導入、平成27年4月に開成幼稚園導入し、開成町内の公立園学校全てに導入した。この制度は学校運営協議会を通じ学校運営に地域の人などが参画し、地域とともにある学校づくりをめざすものである。</p>							
全体計画(目的)	幼稚園を含む、開成町の全ての公立園・学校において地域とともにある学校づくりをめざす。							
協働の指標	指 標	指定した園・学校の数						
	目 標 値	年 度	H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (予定)	H30 (予定)
		数値	単位:	3	3	4	4	4
手 法	学校や地域とのコンセンサスを心得て学校運営協議会を設置する。							
協働の内容(役割分担)	<p><u>行政</u> ・コミュニティ・スクールの導入に向けての関係者への理解や協力を求め、全ての園・学校に学校運営協議会を設置した。</p> <p><u>教育機関</u> ・学校運営協議会を立ち上げ、地域との協働による学校づくりを進める。</p> <p><u>町民</u> ・学校運営協議会への参画等を通じ、学校運営に対して協力する。</p>							
協働の着地点	2	(1)協働相手が自立して事業運営を行う、(2)町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3)町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4)その他						
協働の効果	学校・地域相互のコミュニケーションの活発化を通じた学校と地域との連帯・協力の促進により、学校を核とした地域づくりが期待される。							

開成町協働推進計画 実施計画 H29

事業 No.	11							
事業名	児童・生徒安全対策事業							
所管部課	部 名		課 名	教育総務課				
総合計画上の位置付け	2	政策	未来を担う子ども達を育むまち					
	3	施策	学校教育の充実					
	②	計画	教育体制の充実					
関連計画等	教育振興基本計画							
協働の相手	町民			協働の形態	実行委員会・協議会			
実施の時期	通年			事業開始年度	平成17年度			
予算額	平成29年度	2,246 千円		事業の方向性	継続			
事業の概要	子どもたちの安全を確保するため、学校地域安全推進委員会を通じ、子ども達の安全対策について検討をし、児童生徒の通学時間を中心に地域の人々が町内の随所に立ち、登校指導(防犯・交通安全指導、あいさつ運動)を実施するなど見守り活動を実施している。							
全体計画(目的)	幼児・児童・生徒の安全を確保する。							
協働の指標	指 標	多くの町民が関わりながら、子ども達の安全を確保する。						
	目 標 値	年 度	H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (予定)	H30 (予定)
		数 値	単 位:	-	-	-	-	-
手 法								
協働の内容(役割分担)	<p>行政 ・子どもたちの安全確保のため、町民一体となった見守り活動について啓発を進める。</p> <p>町民 ・形にとらわれず、趣旨に沿った自主的な見守り活動を実践する。</p>							
協働の着地点	2	(1)協働相手が自立して事業運営を行う、(2)町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3)町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4)その他						
協働の効果	町民一体となった見守り活動を行うことで、子ども達の安全確保に資する。							

開成町協働推進計画 実施計画 H29

事業 No.	12									
事業名	土曜学校推進事業									
所管部課	部 名					課 名	教育総務課			
総合計画上の位置付け	2	政策	健康を育み町民がいきいきと暮らせるまち							
	4	施策	生涯学習の推進							
	①	計画	生涯学習推進体制の整備							
関連計画等	教育振興基本計画									
協働の相手	町民・企業				協働の形態		事業協力			
実施の時期	通年				事業開始年度		平成28年度			
予算額	平成29年度		646千円		事業の方向性		継続			
事業の概要	学校での教育課程以外の時間に、子どもたちが教育活動や体験活動ができるよう、教育委員会が主体となって体系的・継続的に実施する事業。									
全体計画(目的)	児童生徒が、地域や社会等を知る機会を設けるとともに、道徳心の育成、自主的な学習意欲の向上、体力づくり等をサポートし、学力や体力の向上を図る。									
協働の指標	指 標		土曜学校の開催講座数。							
	目 標 値		年 度		H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (予定)	H30 (予定)
			数値	単位:回	—	—	—	15	10	—
手 法										
協働の内容(役割分担)	<p><u>行政</u> ・協力者や事業所との調整を図るとともに、事業の実施日や内容を充実させ、魅力ある企画づくりを行う。</p> <p><u>町民・企業</u> ・子ども向けの教育活動や体験活動の提案や支援をする。</p>									
協働の着地点	2	(1)協働相手が自立して事業運営を行う、(2)町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3)町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4)その他								
協働の効果	子どもたちへさまざまな教育活動や体験活動の機会を提供することができる。									

開成町協働推進計画 実施計画 H29

事業 No.	13							
事業名	健康づくり推進事業(健康普及員活動)							
所管部課	部 名	保健福祉部			課 名	保険健康課		
総合計画上の位置付け	3	政策	健康を育み町民がいきいきと暮らせるまち					
	1	施策	健康づくりの推進					
	①	計画	地域ぐるみの健康づくりの推進					
関連計画等	健康増進計画(食育推進計画含)・高齢者保健福祉計画							
協働の相手	健康普及員			協働の形態		事業協力		
実施の時期	通年			事業開始年度		昭和54年度		
予算額	平成29年度	237 千円		事業の方向性		継続		
事業の概要	健康普及員と共に町民の健康づくり推進を行うことにより、町民の健康に関する知識の普及や、町保健事業への協力をを行う。月1回の定例会において研修を町が行い、また保健事業(がん検診・あじさい健診・特定健診・生活習慣病予防の教室)への協力をを行う。活動を通して町民の健康意識や課題について町と協議検討する。							
全体計画(目的)	地域住民の健康づくりの推進のため、町が実施する保健事業に協力し、健康づくりの意識啓発並びに住民の健康保持及び増進を図る。							
協働の指標	指 標	健康だと思う人の割合(健康増進計画)						
	目 標 値	年 度	H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (予定)	H30 (予定)
		数 値	単 位: %	—	—	—	83.7	—
手 法	定期健康診査の受診を促し町民一人ひとりが健康で豊かな生活を送ることができるよう啓発支援する。(評価H35健康増進計画に伴う町民アンケート)H35 目標85%							
協働の内容(役割分担)	<p>行政: 情報提供、研修・各種保健事業への協力依頼、未病センターの普及啓発</p> <p>健康普及員: 健康増進計画及び未病センター推進の一躍を担う健康普及員は2年任期の1年目。地域に根づいた健康づくり運動を展開するために、開成町が実施する保健事業への協力や、健康づくりに関する正しい知識の普及啓発をする。また、運動の推進を担い、研修等で学んだことを地域に還元していく取り組みを行う。</p>							
協働の着地点	2	(1)協働相手が自立して事業運営を行う、(2)町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3)町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4)その他						
協働の効果	普及員として研修を積むことで、町の課題を地域のどのような場所を利用して実施したらよいか、積極的に考え実施に向け町とともに検討出来た。							

開成町協働推進計画 実施計画 H29

事業 No.	14							
事業名	食育推進事業(食生活改善推進員活動)							
所管部課	部 名	保健福祉部			課 名	保険健康課		
総合計画上の位置付け	3	政策	健康を育み町民がいきいきと暮らせるまち					
	1	施策	健康づくりの推進					
	③	計画	食育の推進					
関連計画等	健康増進計画(食育推進計画含)・高齢者保健福祉計画							
協働の相手	食生活改善推進員			協働の形態		事業委託		
実施の時期	通年			事業開始年度		昭和39年度		
予算額	平成29年度	298,000円		事業の方向性		継続		
事業の概要	町が行う養成講座を修了後、推進員として食を通して心身ともに健康で豊かな人間性を育むことを目的に実践体験を取り入れた地域活動を行う。							
全体計画(目的)	食生活改善推進員としての知識と実践力を生かし、町民が生涯を通じて健康で豊かな食生活を送れるよう、地域で食育及び栄養改善活動を町とともに進める。							
協働の指標	指 標	15歳未満の子どもの保護者を対象に行う食育に関する事業回数						
	目 標 値	年 度	H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (予定)	H30 (予定)
		数 値	単 位:回	17	17	17	18	20
手 法	食育をすすめる連絡協議会等とおして、町の状況・課題を共有し協働事業に反映させる。また、現任教育を行うことで、推進員としての知識・スキルを向上を支援する。							
協働の内容(役割分担)	<p>行政： 推進員養成講座の実施により、推進員を養成する。推進員の現任研修の実施、食育や栄養改善事業について、町から事業を委託託する。栄養改善課題を共有する。また、食・栄養に関する情報を随時提供していく。</p> <p>食生活改善推進員： 県や町からの食改善事業委託を受け、実践活動を地域で展開する。また推進員として自ら考え隣近所での活動をする。</p>							
協働の着地点	2	(1)協働相手が自立して事業運営を行う、(2)町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3)町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4)その他						
協働の効果	行政と推進員が協働することで、より多くの町民にきめ細やかに、生涯にわたり健全な食生活ができるように「食の知識」と「食を選択する力」を身につけることができる。							

開成町協働推進計画 実施計画 H29

事業 No.	15									
事業名	生涯学習推進事業(人材バンク制度)									
所管部課	部 名					課 名	教育総務課			
総合計画上の位置付け	3	政策	健康を育み町民がいきいきと暮らせるまち							
	4	施策	生涯学習の推進							
	①	計画	生涯学習推進体制の整備							
関連計画等	教育振興基本計画									
協働の相手	町民			協働の形態		情報交換				
実施の時期	通年			事業開始年度		平成8年度				
予算額	平成29年度		928 千円		事業の方向性		継続			
事業の概要	住民の多様な学習要求に応じた生涯学習活動を推進するため、さまざまな技能をもつ人材を登録する制度(人材バンク)を設け、登録された人材を活用した学習講座をコーディネートしている。									
全体計画(目的)	町民ニーズに合った生涯学習活動を推進することにより、町民一人ひとりが生きがいをもって豊かで充実した人生を送ることができる。									
協働の指標	指 標		人材バンク制度を生かした講座を開催する。							
	目 標 値		年 度		H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (予定)	H30 (予定)
			数値	単位:回	—	—	97	72	80	—
手 法										
協働の内容(役割分担)	<p>行政</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニーズとシーズを的確に把握し、それらの情報提供に努め生涯学習活動を支援する。 <p>町民</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特技、技能について積極的に人材登録する。 ・学んだ知識を生かして地域に貢献する。 									
協働の着地点	1	(1)協働相手が自立して事業運営を行う、(2)町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3)町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4)その他								
協働の効果	町民ニーズに合った生涯学習活動の実践ができる。									

開成町協働推進計画 実施計画 H29

事業 No.	16							
事業名	高齢者等地域見守り推進事業							
所管部課	部 名	保健福祉部			課 名	福祉課		
総合計画上の位置付け	3	政策	健康を育み町民がいきいきと暮らせるまち					
	6	施策	地域福祉の充実					
	②	計画	地域福祉活動の充実					
関連計画等	開成町福祉コミュニティプラン・開成町高齢者保健福祉計画							
協働の相手	町民、自治会、町社協等			協働の形態	事業協力、情報提供			
実施の時期	通年(平成27年度から)			事業開始年度	平成25年度			
予算額	平成29年度	704 千円		事業の方向性	継続			
事業の概要	「緊急通報装置設置推進事業」、「救急医療情報キット配布事業」、「徘徊高齢者SOSネットワーク事業」を関連事業として一体的に推進するとともに、広報PRと、転入者に対する戸別訪問事業「かいせいようこそ訪問事業」により事業PRをする。また、県及び市町村共同事業で、生協、金融機関、郵便局、プロパンガス事業者等との協定事業である「地域見守り活動」の協力事業者の拡大を図る。							
全体計画(目的)	いつまでも住み慣れた場所で安心して暮らしていける地域をめざし、相談機能の充実と各事業を一体的に実施することにより、地域福祉の充実を図る。							
協働の指標	指 標	「緊急通報装置設置推進事業」「救急医療情報キット配布事業」「徘徊高齢者SOSネットワーク事業」の利用者数(合計)						
	目 標 値	年 度	H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (予定)	H30 (予定)
		数値	単位:人	249	337	364	399	400
手 法	役場窓口での高齢者等への案内、民生委員を通じての周知等							
協働の内容(役割分担)	<p>町: 制度PRとともに、民生委員に「緊急通報装置設置推進事業」、「救急医療情報キット配布事業」、「徘徊高齢者SOSネットワーク事業」の3事業の利用者情報、「かいせいようこそ訪問事業」の対象転入者情報を提供する。</p> <p>民生委員: 訪問事業を通じて「緊急通報装置設置推進事業」、「救急医療情報キット配布事業」、「徘徊高齢者SOSネットワーク事業」の見守り事業を個別周知するとともに、「かいせいようこそ訪問事業」による戸別訪問をする。</p> <p>「県市町村地域見守り事業」の協力事業者: 戸別訪問時の居宅の異変等における通報協力及び情報提供をする。</p>							
協働の着地点	2	(1)協働相手が自立して事業運営を行う、(2)町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3)町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4)その他						
協働の効果	新規利用者への事業周知など、福祉対象者と一番近い地域での活動を行っている民生委員と協働を推進していくことにより、事業展開を効果的に推進することができる。							

開成町協働推進計画 実施計画 H29

事業 No.	17							
事業名	介護予防事業(かいせいいきいき健康体操の普及)							
所管部課	部 名	保健福祉部			課 名	保険健康課		
総合計画上の位置付け	3	政策	健康を育み町民がいきいきと暮らせるまち					
	7	施策	高齢者福祉の充実					
	②	計画	介護予防の推進					
関連計画等	開成町健康増進計画、開成町高齢者保健福祉計画							
協働の相手	いきいき健康体操指導員			協働の形態	事業協力			
実施の時期	通年			事業開始年度	平成18年度			
予算額	平成29年度	186 千円		事業の方向性	継続			
事業の概要	地域でいきいき健康体操指導員を中心に、かいせいいきいき健康体操をはじめ、運動の普及活動を壮年期から高齢者を中心に展開する。							
全体計画(目的)	町民の健康づくりと介護予防を目的とする。							
協働の指標	指 標	いきいき健康体操指導員数(休会中の方を含む)						
	目標値	年 度	H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (予定)	H30 (予定)
		数値	単位:人	50	49	57	69	68
手 法	指導員養成講座を開催し指導員数を確保する。地域での体操サロンや、介護予防教室等で体操の普及啓発を図る。							
協働の内容(役割分担)	行政 1 町事業及び地域での介護予防事業の実施 2 かいせいいきいき健康体操の普及啓発 3 いきいき健康体操指導員研修会の実施 4 いきいき健康体操指導員定例会等の場の提供 指導員 1 様々な機会を捉えて、かいせいいきいき健康体操の普及啓発をする。 2 研修会等を通じて介護予防や健康づくりに関する正しい知識の習得に努め、普及・啓発に努める。 3 町の介護予防事業の協力・支援活動を行う。							
協働の着地点	2	(1)協働相手が自立して事業運営を行う、(2)町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3)町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4)その他						
協働の効果	地域ぐるみで健康普及活動をすることにより、健康づくりと介護予防の効果が得られる。							

開成町協働推進計画 実施計画 H29

事業 No.	18									
事業名	災害対策推進事業(災害時応援協定)									
所管部課	部 名	町民サービス部			課 名	環境防災課				
総合計画上の位置付け	4	政策	安全で安心して暮らせるまち							
	1	施策	災害に強いまちづくりの推進							
	①	計画	災害対策の充実							
関連計画等	開成町地域防災計画									
協働の相手	事業所				協働の形態		事業協力			
実施の時期	随時				事業開始年度		平成24年度			
予算額	平成29年度		1,959 千円		事業の方向性		継続			
事業の概要	町内民間企業等の協力を得て、災害時の一時避難施設の確保をする。									
全体計画(目的)	広域応援協定、民間企業等各種団体との災害応援協定の締結を進め、災害への対応力を強化する。									
協働の指標	指 標		災害時避難ビルの協定数							
	目 標 値		年 度		H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (予定)	H30 (予定)
			数値	単位:件	4	5	5	5	7	8
手 法		各事業所への個別の働きかけ、協定締結の依頼								
協働の内容(役割分担)	行政 (1)災害時の備蓄品の確保及び設置依頼 (2)避難所看板の作成 (3)広報誌等でのPR 事業所 (1)避難場所の確保 (2)従業員への周知 (3)地域との連携 (4)災害時の協定に基づく訓練									
協働の着地点	2	(1)協働相手が自立して事業運営を行う、(2)町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3)町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4)その他								
協働の効果	協定の締結により、町災害体制の充実が図られ、事業所の社会貢献が図られる。									

開成町協働推進計画 実施計画 H29

事業 No.	19							
事業名	地域防災力強化事業(防災リーダーの育成)							
所管部課	部 名	町民サービス部			課 名	環境防災課		
総合計画上の位置付け	4	政策	安全で安心して暮らせるまち					
	1	施策	災害に強いまちづくりの推進					
	②	計画	地域防災力の向上					
関連計画等	開成町地域防災計画							
協働の相手	各自治会、町民			協働の形態	事業協力			
実施の時期	年6回			事業開始年度	平成23年度			
予算額	平成29年度	4,839 千円		事業の方向性	継続			
事業の概要	町防災安全専門員等が講師となり、年間6回防災講座(応急手当、救命基礎講習会、避難所運営ゲーム、災害図上訓練等)を開催し、地域の防災リーダーを育成することで、地域防災力の向上につなげる。							
全体計画(目的)	町民一人ひとりが防災、危機管理の知識を深めていくことで、地域防災力の向上につなげ、更に自分自身とまわりの人々の生命財産を守る。							
協働の指標	指 標	防災リーダー養成者数						
	目 標 値	年 度	H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (予定)	H30 (予定)
		数値	単位:人数	49	63	81	92	100
手 法	より多くの方が参加しやすいように、開催日を土日等に設置し、自治会を通じて参加者を募っている。							
協働の内容(役割分担)	<p>次の事業を実施し、防災リーダーの育成に努める。</p> <p>行政</p> <p>(1)講座の設定、講師の調整等の準備</p> <p>(2)防災部長会議での参加者の募集、広報誌等による参加者募集</p> <p>自治会</p> <p>(1)参加者の選出、調整</p> <p>(2)地域に戻り指導的な立場を担う</p>							
協働の着地点	1	(1)協働相手が自立して事業運営を行う、(2)町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3)町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4)その他						
協働の効果	各自治会から選出された受講者の方が、自治会に戻って地域の防災のリーダー的な存在になることにより、地域防災力の向上につながる。							

開成町協働推進計画 実施計画 H29

事業 No.	20							
事業名	地域防災力強化事業(開成町防災訓練の実施)							
所管部課	部 名	町民サービス部			課 名	環境防災課		
総合計画上の位置付け	4	政策	安全で安心して暮らせるまち					
	1	施策	災害に強いまちづくりの推進					
	②	計画	地域防災力の向上					
関連計画等	開成町地域防災計画							
協働の相手	町民、各自治会、消防団、関係機関			協働の形態	共催			
実施の時期	防災週間(8月30日～9月5日)内の日曜日			事業開始年度	昭和55年度			
予算額	平成29年度	4,839 千円		事業の方向性	継続			
事業の概要	町、自主防災会、消防団等の防災関係機関が連携、協力して、災害対応対策、災害時の役割分担を確認し、広域避難所開設運営訓練など地域ぐるみの防災訓練を実施する。							
全体計画(目的)	東日本大震災などの大規模自然災害からの教訓を生かし、防災対応上の諸問題の把握、解決を図る。							
協働の指標	指 標	防災訓練参加者数						
	目標値	年 度	H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (予定)	H30 (予定)
		数値 単位:	4,530	4,634	4,419	4,611	4,650	
手 法	町と自主防災会及び消防団、中学校等関係機関との連携、働きかけをする。							
協働の内容(役割分担)	<p>行政</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 防災部長会議において、連携訓練の調整等の準備 (2) 消防団幹部会議において、自治会の訓練について調整 (3) 広報誌等により防災訓練参加の呼びかけ <p>自治会</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 各自主防会での訓練の調整 (2) 住民への周知 (3) 中学校との調整 <p>町民</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 自宅等の身の回りの確認を行うとともに各自治会の防災訓練に参加。 <p>関係機関</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 各自治会への訓練の指導及び連携等。(例;消防団) (2) 自衛隊に災害派遣要請を行い、自治会と協働して炊き出し(給食訓練)を実施。 (3) 町内事業所等と災害時の協定に基づく訓練の実施。(生活必需物資の調達など) 							
協働の着地点	2	(1) 協働相手が自立して事業運営を行う、(2) 町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3) 町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4) その他						
協働の効果	町内全域で防災訓練を実施することにより、また、防災部長会議等において、意見交換、調整をすることで、災害時における自助・公助・共助の意識付けを図り、防災意識の向上につながる。協定に基づく訓練を実施することにより、町内事業所等との役割、手順、課題等が検証できる。							

開成町協働推進計画 実施計画 H29

事業 No.	21								
事業名	消防団等活動推進事業(開成町消防組織強化推進連絡協議会)								
所管部課	部 名	町民サービス部			課 名	環境防災課			
総合計画上の位置付け	4	政策	安全で安心して暮らせるまち						
	2	施策	消防・救急体制の充実						
	②	計画	消防力の充実						
関連計画等	開成町地域防災計画								
協働の相手	消防団、各自治会、町内事業所、消防友の会、小田原市消防本部			協働の形態	事業協力				
実施の時期	通年			事業開始年度	平成29年度				
予算額	平成29年度	17,431 千円		事業の方向性	新規				
事業の概要	町、消防団、自治会、消防友の会、町内事業所などの関係機関が密接に連携して、開成町消防組織強化推進連絡協議会を設立し、意見交換会で情報共有を図り、自治会夏祭りなど様々な機会をとらえ、町をあげて消防団員の確保を行う。								
全体計画(目的)	開成町消防組織強化推進連絡協議会において、消防団員の確保、消防団の抱える課題を克服することで、地域防災力の強化を目的とする。								
協働の指標	指 標	年度末の消防団員数							
	目 標 値	年 度		H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (予定)	H30 (予定)
		数 値	単 位: 回	97	99	97	95	100	104
手 法	町、消防団、自治会、消防友の会、町内事業所などの関係機関が密接に連携して、様々な機会をとらえ、町をあげて消防団員の確保を行う。								
協働の内容(役割分担)	<p>町</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 開成町消防組織強化推進連絡協議会の運営。 (2) 広報紙、キャンペーン等により消防団活動のPRを実施。 (3) 消防団協力事業所の募集活動を行う。 <p>消防団</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 自治会、事業所などと協働して消防団員募集活動の実施。 (2) 自治会の防災訓練等への協力、指導を行う。 <p>自治会</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 消防団員募集の場の提供、団員候補者の紹介を行う。 (2) 消防団活動への協力。 <p>町内事業所</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 消防団員募集、啓発活動の場の提供。 <p>消防友の会</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 消防団と連携した消防団員募集活動、キャンペーン等の実施を行う。 								
協働の着地点	2	(1) 協働相手が自立して事業運営を行う、(2) 町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3) 町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4) その他							
協働の効果	町、消防団、自治会、町内事業所、消防友の会等が連携して、消防団員募集活動に取り組むことで、消防団員数の増加が図られ、消防団と自治会が顔の見える関係を構築することで、地域防災力の一層の向上が図られる。								

開成町協働推進計画 実施計画 H29

事業 No.	22							
事業名	災害時要援護者支援推進事業(災害時要援護者登録制度)							
所管部課	部 名	保健福祉部			課 名	福祉課		
総合計画上 の位置付け	4	政策	安全で安心して暮らせるまち					
	1	施策	災害に強いまちづくりの推進					
	2	計画	地域防災力の向上					
関連計画等	開成町福祉コミュニティプラン・災害時要援護者登録制度マニュアル							
協働の相手	自治会、民生委員等			協働の形態	事業協力、情報提供			
実施の時期	通年(平成26年度～平成30年度)			事業開始年度	平成18年度			
予算額	平成29年度	0千円		事業の方向性	継続			
事業の概要	本人申出による災害時要援護者登録制度を平成18年度より自治会等との協働事業として実施しているが、登録制度の実効性の確保と登録数の拡充、町においての介護保険認定者や障害者等手帳保持者の名簿の整備を進めるとともに、要援護者拠点施設の運営のための住民の専門職有資格者の登録者の増を図る。							
全体計画 (目的)	災害時における高齢者や障がい者などの避難や避難生活を円滑に行えるように日頃から体制を整備する。							
協働の指標	指 標	災害時における要援護者の支援体制が確立している自治会						
	目標値	年 度	H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (予定)	H30 (予定)
		数値	単位:会数	13	13	13	13	13
手 法	町(福祉課、環境防災課)、町社協、自治会、民生委員の四者が連携して当該事業に係る事業を進める。							
協働の内容 (役割分担)	<ul style="list-style-type: none"> ・行政(町) 要援護者登録制度及び専門職登録制度について広報PRやマニュアル作成等を行い、制度理解の促進と周知を図る。また、介護保険認定者や障害者等手帳保持者の全員名簿を整備し、要援護者登録制度への登録について個別に周知もする。 ・自治会 共助という立場で、自助の意識高揚を図り、福祉部や防災部の連携を図りながらその機能強化に努める。 ・民生委員 虚弱者や一人暮らし高齢者等への周知を図る。 							
協働の着地点	2	(1)協働相手が自立して事業運営を行う、(2)町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3)町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4)その他						
協働の効果	新規登録者の募集や支援者の設定、個別計画の作成などの名簿更新作業段階から自治会や自主防災組織等と協働して行うことにより、大規模災害発生時の対応等に生かすことができる。							

開成町協働推進計画 実施計画 H29

事業 No.	23							
事業名	地域防犯力向上事業(かいせい防犯まちづくり事業)							
所管部課	部 名	町民サービス部			課 名	環境防災課		
総合計画上の位置付け	4	政策	安全で安心して暮らせるまち					
	3	施策	防犯・交通安全体制の充実					
	①	計画	地域防犯力の向上					
関連計画等								
協働の相手	自治会、小中学校、開成駅前連絡所ボランティア安全サポーター等防犯関係団体			協働の形態	事業協力			
実施の時期	随時			事業開始年度	平成18年度			
予算額	平成29年度	8,377 千円		事業の方向性	継続			
事業の概要	毎月10日の防犯の日に町内を巡回するとともに、開成駅前連絡所ボランティア安全サポーターが、毎週2回程度開成駅前周辺のパトロールを実施する。 防犯教室、防犯講習会、広報等により、防犯意識の啓発を図る。							
全体計画(目的)	町民総ぐるみで防犯運動を展開することにより、犯罪のない安全で安心なまちづくりの推進のため、関係団体との協働により、町、警察、学校、自治会との協働に務める。							
協働の指標	指 標	防犯パトロール回数						
	目 標 値	年 度	H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (予定)	H30 (予定)
		数 値	単 位:回	116	116	163	169	160
手 法	防犯教室、防犯講習会の開催、防犯パトロールによる見回り等(安全サポーターによる週2回実施及び月1回防犯の日の見回りの実施)							
協働の内容(役割分担)	<ul style="list-style-type: none"> ○行政 <ul style="list-style-type: none"> (1) 防犯情報の広報 (2) 防犯灯の設置、維持管理 (3) 自主防犯組織への支援 (4) 警察と連携した防犯講習会の開催 ○警察 <ul style="list-style-type: none"> (1) 地域のパトロール、取り締まり (2) 防犯広報活動 (3) 町と連携した防犯講習会の開催 ○学校等 <ul style="list-style-type: none"> (1) 防犯教育の推進 ○自治会 <ul style="list-style-type: none"> (1) 生徒児童等の登校時の見守り ○開成駅前連絡所ボランティア安全サポーター等自主防犯組織 <ul style="list-style-type: none"> (1) 防犯パトロールの実施 (2) 県地域モデル事業と連携した「かいせい防犯対策総ぐるみ実行委員会」の立ち上げ 							
協働の着地点	1	(1) 協働相手が自立して事業運営を行う、(2) 町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3) 町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4) その他						
協働の効果	警察、園、学校等各防犯関係団体が、それぞれの課題を洗い出し、計画段階から連携することで各防犯事業の活性化が図られる。							

開成町協働推進計画 実施計画 H29

事業 No.	24							
事業名	交通安全対策推進事業(交通安全運動の推進)							
所管部課	部 名	町民サービス部			課 名	環境防災課		
総合計画上の位置付け	4	政策	安全で安心して暮らせるまち					
	3	施策	防犯・交通安全対策の充実					
	②	計画	交通安全対策の充実					
関連計画等	開成町交通安全計画							
協働の相手	警察、学校、交通指導隊、各自治会			協働の形態	事業協力			
実施の時期	通年			事業開始年度				
予算額	平成29年度	3,245 千円		事業の方向性	継続			
事業の概要	警察、学校、交通指導隊、学校、自主防災会など関係機関が連携、協力して1日、15日の交通安全日及び交通安全重点日に朝の街頭指導をする。交通指導隊、警察、学校、町が連携し、小学校4年生に自転車運転免許講習、夏には自転車の安全乗り方教室を実施する。							
全体計画(目的)	交通安全と円滑な総合安全対策を実施することで交通事故の防止を図る。							
協働の指標	指 標	交通安全街頭指導、交通安全教室の回数						
	目標値	年 度	H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (予定)	H30 (予定)
		数値	単位:回	32	33	39	40	40
手 法	町、警察、交通指導隊、自治会、学校等各種団体と連携し、交通安全運動を推進する。							
協働の内容(役割分担)	<p><u>町</u></p> <p>(1) 広報誌、キャンペーン等により交通安全意識の高揚を図る。</p> <p>(2) 各種交通安全運動の推進</p> <p>(3) 旗振り教室を開催し、交通指導の質を向上させる。</p> <p><u>警察</u></p> <p>(1) 交通安全指導、取り締まり</p> <p>(2) 交通環境の整備</p> <p><u>交通指導隊</u></p> <p>(1) 交通安全指導</p> <p>(2) 自転車乗り方指導</p> <p><u>学校等</u></p> <p>(1) 交通安全教育の推進</p> <p><u>自治会</u></p> <p>(1) 生徒児童等の登校時の安全指導</p>							
協働の着地点	2	(1) 協働相手が自立して事業運営を行う、(2) 町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3) 町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4) その他						
協働の効果	警察、町交通指導隊、園学校、教育委員会等の様々な組織が連携して、交通安全運動に取り組むことで、交通事故件数の減少につながるほか、旗振り教室など様々な団体に指導することで、団体の交通指導に対するスキルが上がる。また自治会等と連携することで安全教育の普及が進む。							

開成町協働推進計画 実施計画 H29

事業 No.	25							
事業名	自然環境保全事業(ホタルの里づくり推進事業)							
所管部課	部 名	町民サービス部			課 名	環境防災課		
総合計画上の位置付け	5	政策	自然が豊かで環境に配慮するまち					
	4	施策	自然環境の保全と再生					
	1	計画	水とみどりの保全と創出					
関連計画等								
協働の相手	ホタルの里づくり研究会、町民			協働の形態	補助・助成			
実施の時期	通年			事業開始年度				
予算額	平成29年度	87 千円		事業の方向性	継続			
事業の概要	ホタル観賞会の開催、ホタル養殖管理など、ホタルの保護・育成をする。							
全体計画(目的)	自然と共生、融合したまちづくりを町民とともに進めることにより、ホタルや魚などの生息地を増やし、さまざまな生き物を守り育てる。							
協働の指標	指 標	ホタル観賞会の参加人数の増加						
	目 標 値	年 度	H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (実績)
		数値	単位:人	31	0	0	0	-
手 法	HP・おしらせ版等での周知。							
協働の内容(役割分担)	<ul style="list-style-type: none"> ・行政 ホタルの里づくり研究会に対し火山礫やカワニナの助成や補助金の交付 ホタル養殖管理の委託 ・ホタルの里づくり研究会 ホタル養殖管理や保護活動の実施 ホタル乱獲防止の巡回 ホタルの放流 							
協働の着地点	1	(1)協働相手が自立して事業運営を行う、(2)町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3)町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4)その他						
協働の効果	ホタルの保護、育成が図られる。							

開成町協働推進計画 実施計画 評価シート(H29)

事業 No.	25								
事業名	自然環境保全事業(ホタルの里づくり推進事業)								
所管部課	部 名	町民サービス部		課 名	環境防災課				
総合計画上の位置付け	5	政策	自然が豊かで環境に配慮するまち						
	4	施策	自然環境の保全と再生						
	1	計画	水とみどりの保全と創出						
関連計画等									
協働の相手	ホタルの里づくり研究会、町民			協働の形態	補助・助成				
実施の時期	通年			事業開始年度					
決算額	平成29年度	44 千円		事業の方向性	継続				
事業の概要	ホタル観賞会の開催、ホタル養殖管理など、ホタルの保護・育成をする。								
全体計画(目的)	自然と共生、融合したまちづくりを町民とともに進めることにより、ホタルや魚などの生息地を増やし、さまざまな生き物を守り育てる。								
協働の指標	指 標	ホタル観賞会の参加人数の増加							
	目標値	年 度	H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H28 (実績)	H30	
		数値	単位:人	31	0	0	0	0	-
手 法	HP・おしらせ版等での周知。								
協働の着地点	(1)協働相手が自立して事業運営を行う、(2)町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3)町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4)その他					1			
協働の内容(役割分担)	<ul style="list-style-type: none"> ・行政 ホタルの里づくり研究会に対し火山礫やカワニナの助成や補助金の交付 ・ホタル養殖管理の委託 ・ホタルの里づくり研究会 ホタル養殖管理や保護活動の実施 ホタル乱獲防止の巡回 ホタルの放流 								
平成28年度 の取り組み内 容及び効果等	評価①	ホタルの鑑賞会は、講師が不在のため実施しなかった。							
	評価②	ホタルの保護、育成について、それぞれの役割を実施できた。							
	評価③	研究会が自主的に活動した。							
	評価④	(1)協働相手である研究会が自立して事業運営を実施している。							
協働を進めるための課題と対策	研究会の会員の年齢が高齢化しているため、新規の会員を増やすことが必要。								
平成28年度 協働の評価	評価①	指標(目標値)に対する評価点数					0/4点	総合評 価	B
	評価②	目的を共有し、互いの役割分担ができたかどうかに対する評価点数					6/6点		
	評価③	協働相手の長所を理解し、協働相手の自主性を育み生かすことができたかに対する評価点数					6/6点		
	評価④	協働の着地点に向けてどの程度まで到達しているか					3/4点		
評価者	コメント	平成29年度、研究会に支援して、活動も行われている。							
	課 名	環境防災課	課(室・局)長氏名		山口 健一				
確認者	部 名	町民サービス部	部長名		石井 護				

開成町協働推進計画 実施計画 H29

事業 No.	26							
事業名	環境美化活動推進事業(かいせいクリーンデー)							
所管部課	部 名	町民サービス部		課 名	環境防災課			
総合計画上の位置付け	5	政策	自然が豊かで環境に配慮するまち					
	5	施策	良好な生活環境の保全と形成					
	1	計画	協働による環境美化活動の推進					
関連計画等	きれいなまちをつくる条例							
協働の相手	町民、事業者		協働の形態		事業協力			
実施の時期	年2回(7月、3月)		事業開始年度					
予算額	平成29年度	0千円		事業の方向性	継続			
事業の概要	かいせいクリーンデーを夏(7月)と春(3月)に年2回実施する。							
全体計画(目的)	清潔で美しいまちづくりの実現に向けた取り組みを進めるため、町民、自治会、企業等の協働による環境美化活動を通して、環境美化意識の向上を図る。							
協働の指標	指 標	かいせいクリーンデーの参加者数の増						
	目 標 値	年 度	H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (予定)	H30
		数値	単位:人	8,838	9,256	9,331	9,895	9,900
手 法	HP、おしらせ版や回覧、環境美化推進協議会を通して自治会、企業等にかいせいクリーンデーへの参加を呼びかける。							
協働の内容(役割分担)	<ul style="list-style-type: none"> ・行政 かいせいクリーンデーを年2回実施する。また、当日に防災無線等により参加を呼びかける。町内パトロールを実施し、土砂やごみについて担当課及び収集業者と調整し回収をする。 ・町民 かいせいクリーンデーへの参加。 ・事業者 クリーンデー実施時期に合わせて、事業所内や周辺の美化活動を実施。 							
協働の着地点	3	(1)協働相手が自立して事業運営を行う、(2)町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3)町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4)その他						
協働の効果	地域の環境美化に努めることで、町を美化する心を育み、清潔で美しいまちづくりが図れる。							

開成町協働推進計画 実施計画 H29

事業 No.	27							
事業名	環境美化啓発事業(落書き落しキャンペーン)							
所管部課	部 名	町民サービス部			課 名	環境防災課		
総合計画上の位置付け	5	政策	自然が豊かで環境に配慮するまち					
	5	施策	良好な生活環境の保全と形成					
	2	計画	環境美化意識の向上					
関連計画等	開成町環境基本計画、きれいなまちをつくる条例							
協働の相手	中学生(文命中学校)			協働の形態	事業協力			
実施の時期	通年(不定期)			事業開始年度				
予算額	平成29年度	0千円		事業の方向性	継続			
事業の概要	町内公共施設の落書きされている箇所について、学生の地域貢献活動の一環として、事業を通じて環境美化への理解と行動を推進する。							
全体計画(目的)	まちをきれいにしようとする心を育み、清潔で美しい町づくりを実現する。							
協働の指標	指 標	落書き落しキャンペーン参加人数の増						
	目標値	年 度	H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (予定)	H29 (予定)	H30 (予定)
		数値	単位:人	-	-	-	-	-
手 法	HP、広報、おしらせ版での周知。教育機関へのPR。							
協働の内容(役割分担)	<ul style="list-style-type: none"> ・行政 日程調整、教育機関への呼びかけ、調査。 キャンペーン当日の運営、物品準備、場所の選定。 ・学校 キャンペーンへの参加。 							
協働の着地点	3	(1)協働相手が自立して事業運営を行う、(2)町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3)町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4)その他						
協働の効果	環境学習の一環として、学生の環境美化意識の向上を図ることができる。							

開成町協働推進計画 実施計画 H29

事業 No.	28							
事業名	道路緑化維持管理事業(緑地管理のボランティア)							
所管部課	部 名	まちづくり部			課 名	街づくり推進課		
総合計画上の位置付け	6	政策	都市の機能と景観が調和するまち					
	2	施策	安全・安心な道路の整備					
	③	計画	人に優しい道づくり					
関連計画等								
協働の相手	町民、町民公益活動団体、事業者			協働の形態		事業協力(アダプトプログラム)		
実施の時期	通年			事業開始年度		平成28年度		
予算額	平成29年度	0千円		事業の方向性		継続		
事業の概要	町道の緑地帯の管理について、町民等のボランティアによる里親制度を導入する。							
全体計画(目的)	町民等のボランティアにより町道の緑地帯の一部を里親として管理いただき、環境美化意識の高揚及び適切な緑地帯の管理を図る。							
協働の指標	指 標	活動場所(団体等)の増						
	目標値	年 度	H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (予定)	H30 (予定)
		数値	箇所	—	—	—	0	0
手 法	おしらせ版による広報、自治会・企業等への案内							
協働の内容(役割分担)	<p><u>行政</u> 近隣市町のボランティア制度についての調査研究結果をもとに、ボランティア制度を制定し、周知及びボランティアの募集を行う。</p> <p><u>町民等</u> 緑地帯における剪定・除草・草刈、ごみ収集等の維持管理への参加。</p>							
協働の着地点	1	(1)協働相手が自立して事業運営を行う、(2)町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3)町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4)その他						
協働の効果	ボランティアの活動に必要なものを開成町で整えることによって、協働相手の自主性を育み生かす。							

開成町協働推進計画 実施計画 H29

事業 No.	29							
事業名	公園維持管理事業(公園管理のボランティア)							
所管部課	部 名	まちづくり部			課 名	街づくり推進課		
総合計画上の位置付け	6	政策	都市の機能と景観が調和するまち					
	4	施策	公園・緑地の整備・保全					
	②	計画	身近な緑の整備・保全					
関連計画等								
協働の相手	町民、町民公益活動団体、事業者			協働の形態		事業協力(アダプトプログラム)		
実施の時期	通年			事業開始年度		平成24年度		
予算額	平成29年度	64 千円		事業の方向性		継続		
事業の概要	町内全公園において公園ボランティアによる維持管理を促進する。							
全体計画(目的)	町内にある都市公園、農村公園、児童遊園地、ポケットパークなど全ての公園を対象に、町民等のボランティアにより美化活動を行うことにより、公園への愛着心と環境美化意識の高揚が図られる。							
協働の指標	指 標	団体(人)の増						
	目標値	年 度	H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (予定)	H29	H30
		数値	団体(人)	2	5	6	10	11
手 法	おしらせ版による広報、自治会・企業等への案内							
協働の内容(役割分担)	<p>行政 新規登録団体(人)のアダプトサインの設置、登録者への用具等の支給、樹木の適正な管理等に関する研修会の開催</p> <p>公園ボランティア ゴミ収集、除草、草刈、花壇等の維持管理</p>							
協働の着地点	1	(1)協働相手が自立して事業運営を行う、(2)町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3)町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4)その他						
協働の効果	ボランティアの活動に必要なものを開成町で整えることによって、協働相手の自主性を育み生かす。							

開成町協働推進計画 実施計画 H29

事業 No.	30							
事業名	町の花あじさい維持管理事業(あじさいの里親)							
所管部課	部 名	まちづくり部			課 名	産業振興課		
総合計画上の位置付け	6	政策	都市の機能と景観が調和するまち					
	4	施策	公園・緑地の整備保全					
	③	計画	町の花あじさいの維持管理					
関連計画等								
協働の相手	あじさいの里親			協働の形態	事業協力(アダプトプログラム)			
実施の時期	通年			事業開始年度	平成20年			
予算額	平成29年度	25 千円		事業の方向性	継続			
事業の概要	町の花であるあじさいの里親に住民等になってもらい、年間を通して管理をしてもらう。							
全体計画(目的)	里親になることにより、あじさいへの愛着を深め、花の維持管理をする意識向上につなげる。また、町の花あじさいを町内外多くの方に認知されることで、開成町のイメージアップを図る。							
協働の指標	指 標	あじさいの里親になった個人・団体の数						
	目標値	年 度	H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (予定)	H30 (予定)
		数値	単位:団体	35	35	36	38	41
手 法	各団体をはじめ、町内外への広く周知するため、ホームページ等活用。							
協働の内容(役割分担)	<p>行政</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里親の方へのあじさいの管理物品を支給する。 ・町民へあじさい里親制度の周知を行う。 ・里親と町の意見交換会を開催する。 <p>里親</p> <ul style="list-style-type: none"> ・与えられた場所の定期管理、担当区域の美化作業及びあじさいに関する情報提供を行う。 							
協働の着地点	1	(1)協働相手が自立して事業運営を行う、(2)町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3)町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4)その他。						
協働の効果	あじさいの管理を里親が行うことで、維持管理費の削減に繋がる。また、里親を通じ開成町のあじさいが町内外に多くの方に認知され、町のイメージアップが期待される。							

開成町協働推進計画 実施計画 H29

事業 No.	31							
事業名	町の花あじさい維持管理事業(あじさい剪定ボランティア)							
所管部課	部 名	まちづくり部			課 名	産業振興課		
総合計画上の位置付け	6	政策	都市の機能と景観が調和するまち					
	4	施策	公園・緑地の整備保全					
	③	計画	町の花あじさいの維持管理					
関連計画等								
協働の相手	町民・各団体			協働の形態	事業協力(アダプトプログラム)			
実施の時期	年1回(7月)			事業開始年度	平成8年			
予算額	平成28年度	6千円		事業の方向性	継続			
事業の概要	あじさいまつり期間終了後、ボランティアを募り、あじさいの花の剪定をする。							
全体計画(目的)	あじさいの里内のあじさい剪定を、町民等のボランティアを募って行うことで、あじさいが町の花であることの認知度を高め、町民であることのシビックプライドを醸成し、住民の町制への参画意欲を形成する。							
協働の指標	指 標	剪定ボランティア数の増加						
	目標値	年 度	H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (予定)	H30 (予定)
		数値	単位:人	539	462	442	480	500
手 法	ホームページ等を利用した周知やあじさいまつり会場での周知の実施							
協働の内容(役割分担)	<p>行政 (1)剪定作業に必要な備品の確保 (2)剪定ボランティアの募集周知</p> <p>剪定ボランティア (1)剪定作業</p>							
協働の着地点	1	(1)協働相手が自立して事業運営を行う、(2)町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3)町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4)その他						
協働の効果	あじさいの花への愛着を高めることで、町民であることのシビックプライドを醸成し、住民の町制への参画意欲を形成する。							

開成町協働推進計画 実施計画 評価シート(H29)

事業 No.	31							
事業名	町の花あじさい維持管理事業(あじさい剪定ボランティア)							
所管部課	部名	まちづくり部	課名	産業振興課				
総合計画上の位置付け	6	政策	都市の機能と景観が調和するまち					
	4	施策	公園・緑地の整備保全					
	③	計画	町の花あじさいの維持管理					
関連計画等								
協働の相手	町民・各団体		協働の形態	事業協力(アダプトプログラム)				
実施の時期	年1回(7月)		事業開始年度	平成8年				
決算額	平成29年度	5千円	事業の方向性	継続				
事業の概要	あじさいまつり期間終了後、あじさいの花の剪定をボランティアで行う。							
全体計画(目的)	あじさいの里内のあじさい剪定を、町民等のボランティアを募って行うことで、あじさいが町の花であることの認知度を高め、町民であることのシビックプライドを醸成し、住民の町制への参画意欲を形成する。							
協働の指標	指標	剪定ボランティア数の増加						
	目標値	年度	H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (予定)
		数値	単位:人	539	462	442	488	555
手法	ホームページ等を利用した周知やあじさいまつり会場での周知の実施							
協働の内容(役割分担)	<p>行政</p> <p>(1)剪定作業に必要な備品の確保</p> <p>(2)剪定ボランティアの募集周知</p> <p>剪定ボランティア</p> <p>(1)剪定作業</p>							
協働の着地点	(1)協働相手が自立して事業運営を行う、(2)町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3)町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4)その他							
平成28年度の取り組み内容及び効果等	評価①	近年参加人数が減少傾向にあった剪定ボランティア事業であったが、イベント時に積極的にPRしてきたのが奏功し、増加傾向にある。						
	評価②	ボランティアには短時間ながら集中して剪定をしてもらうことができた。町は、熱中症対策のために炎入りキーパーを要所に配置するなどボランティアが活動しやすい環境づくりに努めた。						
	評価③	あじさいの里親には里親として管理しているあじさいを、あじさいまつり出店者には出店エリアの周辺のあじさいを剪定してもらうように作業エリアを割り振った。						
	評価④	分担箇所の剪定後、他の団体等のフォローに回る人が多くなった。						
協働を進めるための課題と対策	「体験」を求めて色々な事業に参加する人が多くなる傾向にある中、体験要素を色濃く持つあじさい剪定ボランティアの参加者数が減少を続けている。「体験」をキーワードにした事業周知を進める。							
平成28年度協働の評価	評価①	指標(目標値)に対する評価点数。	4/4点	総合評価 A 19/20点				
	評価②	目的を共有し、互いの役割分担ができたかどうかに対する評価点数	6/6点					
	評価③	協働相手の長所を理解し、協働相手の自主性を育み生かすことができたかに対する評価点数	6/6点					
	評価④	協働の着地点に向けてどの程度まで到達しているか	3/4点					
評価者	コメント	参加者は、毎年恒例行事的に参加していたにいたっている団体が主である。今後、町内企業等への協力の呼びかけに注力し、剪定ボランティアから里親へのステップアップを誘導するなど事業の運動も心がける。また、あじさいまつり出店者については受益者負担の観点から協力要請を強化する。						
	課名	産業振興課	課(室・局)長氏名	遠藤 幸一				
確認者	部名	まちづくり部	部長名	芳山 忠				

開成町協働推進計画 実施計画 H29

事業 No.	32								
事業名	商工振興支援事業(開成町阿波おどり)								
所管部課	部 名	まちづくり部			課 名	産業振興課			
総合計画上の位置付け	7	政策	個性豊かな産業と文化を育成するまち						
	1	施策	商工業の振興						
	①	計画	商工業の振興						
関連計画等	開成阿波おどり実行委員会規約								
協働の相手	開成阿波おどり実行委員会				協働の形態	実行委員会・協議会			
実施の時期	年1回				事業開始年度	平成9年			
予算額	平成29年度		2,200 千円		事業の方向性	継続			
事業の概要	開成阿波おどり実行委員会と開成阿波おどり連協会が協力して、阿波おどりの企画立案を行い、開成三大祭である「開成阿波おどり」を開催する。								
全体計画(目的)	町民相互並びに近隣地域との交流を深め、更に観光資源としても対外的にPRをし、町商工のより一層の振興を図ることを目的とする。								
協働の指標	指 標	観光客数							
	目 標 値	年 度		H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (予定)	H30 (予定)
		数値	単位:人	10,000	11,000	11,000	11,000	12,000	12,000
手 法	町民相互並びに近隣地域との交流を深め、更に観光資源としても対外的にPRをする。								
協働の内容(役割分担)	<p>行政</p> <p>(1)町内外連の阿波おどりへの誘致を行う。</p> <p>(2)実行委員会の事務及び会計を処理する。</p> <p>(3)実行委員会へ補助金を支出する。</p> <p>(4)開成町商工振興会や町内の商店等の出店場所を確保する。</p> <p>実行委員会</p> <p>(1)開成阿波おどりの企画立案を行う。</p> <p>(2)開成阿波おどりの運営に携わる。</p> <p>(3)30回の記念イベントであることを念頭においたイベントとする。</p>								
協働の着地点	1	(1)協働相手が自立して事業運営を行う、(2)町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3)町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4)その他							
協働の効果	各自治会等から多くの踊り手を確保し、町民に「連帯」感と「躍動」感を伝える機会を提供することができ、町民の事業に対する理解促進につながる。また、多くの観客が集まる祭りに、開成町商工振興会や商店等の出店場所の確保をすることで町商工業の振興に繋がる。								

開成町協働推進計画 実施計画 H29

事業 No.	33							
事業名	観光対策推進事業(開成町あじさいまつり)							
所管部課	部 名	まちづくり部			課 名	産業振興課		
総合計画上の位置付け	7	政策	個性豊かな産業と文化を育成するまち					
	4	施策	観光の推進					
	①	計画	年間を通じた観光事業の推進					
関連計画等	開成町あじさいまつり実行委員会会則							
協働の相手	開成町あじさいまつり実行委員会			協働の形態	実行委員会・協議会			
実施の時期	6月開催(実行委員会は年3回)			事業開始年度	昭和63年度			
予算額	平成29年度	4,500 千円		事業の方向性	継続			
事業の概要	町の観光資源であるあじさいを核として開成町を広く対外的にPRし、町民参加のもと、魅力と個性の創出の場として活用し、地域産業の発展につなげることを目的に、開成町あじさいまつり実行委員会を組織し、開成あじさい祭を開催する。							
全体計画(目的)	開成町あじさいまつり実行委員会会議を開催し、開成町あじさいまつりの企画立案及び運営をすることにより、町全体であじさいまつりを盛り上げる。							
協働の指標	指 標	来園者数						
	目 標 値	年 度	H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (予定)	H30 (予定)
		数値	単位:人	205,000	182,000	216,000	210,000	210,000
手 法	ホームページの活用や企業の協力、PRイベントの開催。							
協働の内容(役割分担)	<p>行政</p> <p>(1)実行委員会の事務及び会計を処理する。</p> <p>(2)実行委員会へ補助金を支出する。</p> <p>実行委員会</p> <p>(1)あじさいまつりの企画立案を行う。</p> <p>(2)あじさいまつりの運営に携わる。</p> <p>(3)30回の記念イベントであることを念頭においたイベントとする。</p>							
協働の着地点	1	(1)協働相手が自立して事業運営を行う、(2)町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3)町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4)その他						
協働の効果	あじさいまつりの企画段階から協働することによって、柔軟かつ積極的な事業運営が可能になり、行政単独では実現できない相乗効果が期待される。							

開成町協働推進計画 実施計画 評価シート(H29)

事業 No.	33							
事業名	観光対策推進事業(開成町あじさいまつり)							
所管部課	部名	まちづくり部	課名	産業振興課				
総合計画上の位置付け	7	政策	個性豊かな産業と文化を育成するまち					
	4	施策	観光の推進					
	①	計画	年間を通じた観光事業の推進					
関連計画等	開成町あじさいまつり実行委員会会則							
協働の相手	開成町あじさいまつり実行委員会		協働の形態	実行委員会・協議会				
実施の時期	6月開催(実行委員会は年3回)		事業開始年度	昭和63年度				
決算額	平成28年度	4,500 千円	事業の方向性	継続				
事業の概要	町の観光資源であるあじさいを核として開成町を広く対外的にPRし、町民参加のもと、魅力と個性の創出の場として活用し、地域産業の発展につなげることを目的に、開成町あじさいまつり実行委員会を組織し、開成あじさい祭を開催する。							
全体計画(目的)	開成町あじさいまつり実行委員会会議を開催し、開成町あじさいまつりの企画立案及び運営をすることにより、町全体であじさいまつりを盛り上げる。							
協働の指標	指標	来園者数						
	目標値	年度	H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (予定)
		数値	単位:人	205,000	182,000	216,000	210,000	187,000
手法	ホームページの活用や企業の協力、PRイベントの開催。							
協働の内容(役割分担)	<p>行政</p> <p>(1)実行委員会の事務及び会計の処理</p> <p>(2)実行委員会へ補助金を支出</p> <p>実行委員会</p> <p>(1)あじさいまつりの企画立案</p> <p>(2)あじさいまつりの運営に携わる。</p>							
協働の着地点	(1)協働相手が自立して事業運営を行う、(2)町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3)町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4)その他			1				
平成29年度の取り組み内容及び効果等	評価①	行政・実行委員会でキャンペーンを実施し多くの方に周知する事ができた。						
	評価②	行政・実行委員会で役割分担をして企画立案から運営を行い、あじさいまつりを滞りなく開催することができた。						
	評価③	実行委員会を3回開催し、実行委員の意見を集め、運営に反映をさせることができた。						
	評価④	町各種団体の協力を得られた。						
協働を進めるための課題と対策	行政の役割分担の比率が多く、実行委員会の自主性が欠けてしまっているため、引き続き役割分担を見直していく。							
平成28年度協働の評価	評価①	指標(目標値)に対する評価点数	3/4点	総合評価 B 15/20点				
	評価②	目的を共有し、互いの役割分担ができたかどうかに対する評価点数	5/6点					
	評価③	協働相手の長所を理解し、協働相手の自主性を育み生かすことができたかに対する評価点数	5/6点					
	評価④	協働の着地点に向けてどの程度まで到達しているか	2/4点					
評価者	コメント	30回の節目となるまつりのため、イベント等の充実を図り企画立案を早めに行い、各種団体等の協力のもとタイムスケジュールに沿って実施ができた。しかし、花の開花が遅く来園者数が減少したが、協働による取組への意思共有が図れたと思う。						
	課名	産業振興課	課(室・局)長氏名	遠藤 孝一				
確認者	部名	まちづくり部	部長名	芳山 忠				

開成町協働推進計画 実施計画 H29

事業 No.	34									
事業名	観光対策推進事業（瀬戸屋敷ひなまつり）									
所管部課	部 名	まちづくり部			課 名	産業振興課				
総合計画上の位置付け	7	政策	個性豊かな産業と文化を育成するまち							
	4	施策	観光の推進							
	②	計画	広域観光の推進							
関連計画等	瀬戸屋敷ひなまつり実行委員会規約									
協働の相手	瀬戸屋敷ひなまつり実行委員会			協働の形態		実行委員会・協議会				
実施の時期	年1回(2月)			事業開始年度		平成20年度				
予算額	平成29年度		0千円		事業の方向性		継続			
事業の概要	瀬戸屋敷を活用して、伝統的な年中行事であるひなまつりを後世に伝承する。									
全体計画(目的)	地域の活性化に繋がる魅力ある誘客事業を実施し、地域の産業の発展及び振興に資することを目的とする。									
協働の指標	指 標		来園者数							
	目標値		年 度		H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (予定)	H30 (予定)
			数値	単位:人	12,468	14,082	16,745	14,550	15,000	15,000
手 法		地域の活性化に繋がる魅力ある誘客事業を実施する。								
協働の内容(役割分担)	瀬戸屋敷を活用して、「瀬戸屋敷ひなまつり」を運営し、町内外から多くの来園者を誘致し、町の観光資源の発信をしている。 行政 (1)実行委員会の事務及び会計を処理する。 (2)実行委員会へ補助金を交付する。 実行委員会 (1)瀬戸屋敷ひなまつりの企画立案を行う。 (2)瀬戸屋敷ひなまつりの運営に携わる。									
協働の着地点	1	(1)協働相手が自立して事業運営を行う、(2)町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3)町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4)その他								
協働の効果	瀬戸屋敷ひなまつり実行委員会が瀬戸屋敷を活用することにより、瀬戸屋敷が町民に親しまれる観光施設となる。									

開成町協働推進計画 実施計画 H29

事業 No.	35								
事業名	職員研修事業(協働意識向上のための研修)								
所管部課	部 名	行政推進部			課 名	総務課			
総合計画上 の位置付け	8	政策	効率的な自治体経営を進めるまち						
	1	施策	効率的な自治体運営の推進						
	③	計画	適正な人事管理と人材育成						
関連計画等	開成町人材育成方針、開成町職員研修基本計画								
協働の相手	自治会長等(講師として)			協働の形態		その他(職員研修)			
実施の時期	年3回			事業開始年度		平成17年度			
予算額	平成29年度	研修負担金に含む 千円		事業の方向性		継続			
事業の概要	神奈川県市町村振興協会市町村研修センターが実施する「住民との協働研修」などの協働に係る研修を職員に受講させる。また、自治会長等を講師とした地域づくりに関する庁内研修を実施する。								
全体計画 (目的)	年3回開講される神奈川県市町村振興協会市町村研修センターの「住民との協働研修」を中堅職員の必須研修とすることで、その後従事する各種事業を住民との協働による展開に結びつけたり変容させたりなどの効果を生み、よりよいまちづくりの一助とする。 このほかの協働に係る職員研修のあっせんや企画運営など、上記研修と同様の効果をめざす。								
協働の指標	指 標		「住民との協働研修」受講人数						
	目標値		年 度	H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)	H28 (実績)	H29 (予定)	H30 (予定)
			数値	単位:人	2	5	2	1	4
手 法		研修計画の周知徹底、協働に係る研修の掘り起し							
協働の内容 (役割分担)	○必須研修…研修計画に協働に関する研修を盛り込む。職員の受講促進、受講手続、派遣 ○その他…研修の掘り起し、あっせん。企画運営								
協働の着地点	4	(1)協働相手が自立して事業運営を行う、(2)町と協働相手が継続して協力し、事業運営を行う、(3)町が実施する事業に多くの町民が参加する、(4)その他							
協働の効果	職員が協働を進める上での基礎知識の習得。 次年度以降、自治活動応援課協働推進担当が自ら庁内講師や外部講師として職員研修を行えるようになる。								